令和４年度

第６次川本町総合計画施策評価

■第６次川本町総合計画　施策評価

施策番号	施　　策　　名	主担当課	ページ
1	住民主体の地域づくりの推進	まちづくり推進課	3～7
2	地域福祉の充実	健康福祉課	8～13
3	健康づくりの推進	健康福祉課	14～19
4	地域医療の充実	健康福祉課	20～23
5	公共交通の充実	まちづくり推進課	24～27
6	移住・交流の推進	まちづくり推進課	28～37
7	農林推進業の振興	産業振興課	38～47
8	商工業・サービス業の振興	産業振興課	48～52
9	経済循環の向上	産業振興課	53～57
10	起業支援・企業誘致の推進	産業振興課	58～62
11	雇用機会の充実と安定	産業振興課	63～68
12	結婚・子育て支援の充実	健康福祉課	69～73
13	川本らしい学びの環境の充実	教育課	74～83
14	学び続けられる環境の充実	教育課	84～92
15	多様性のある地域社会の実現	まちづくり推進課	93～96
16	防災・減災対策の充実	総務財政課	97～103
17	日常の安全対策の充実	総務財政課	104～106
18	インフラ整備・環境対策の推進	地域整備課	107～115
19	効率的な行財政運営の推進	総務財政課	116～121

■重点プロジェクト評価

重点	施　　策　　名	主担当課	ページ
1	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	まちづくり推進課	122～125
2	医療・介護・福祉サービスの強化	健康福祉課	126～130
3	コンパクトタウン弓市の魅力向上	まちづくり推進課	131～134
4	地域資源を活かした付加価値の創出	産業振興課	135～140
5	保小中高の連携による教育環境の充実	教育課	141～147
6	治水対策の推進	地域整備課	148～151

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０１	**住民主体の地域づくりの推進**	P36～37	**まちづくり推進課**

施策の方針	地域でコミュニケーションが図られ、地域の課題解決に向け、積極的に 取り組めるように、たすけあい、支えあう地域運営の仕組みをつくります。
施策の方向性	・地域運営の仕組みづくりの推進 ・住民主体の地域包括ケアシステムの構築

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域運営組織の設立数 【累計値】（単位：組織）	目標値	1	1	2	3	4
	実績値	1	1			
	達成率	100%	100%	%	%	%
住民自らが地域ビジョンを策定した地区数 【累計値】（単位：地区）	目標値	2	5	5	8	8
	実績値	2	2			
	達成率	100%	40%	%	%	%
住民主体の集いの場の設立数 【累計値】（単位：箇所）	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	5	5			
	達成率	100%	100%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・地域の生活機能の維持・改善を図るための補助事業を創設し各自治会へ周知したが活用には至らなかった。 ・地域ビジョンの策定等が少し高いハードルとなっていると感じる。 ・サロン活動は順調に維持されている。引き続きアプローチを継続したい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・ビジョン策定は町の拠点エリア、弓市との関連や立地適正化計画の導入可能性の検討等も視野に入れて取組を進めること。 ・住民主体の集いの場は健康福祉課中心に、まちづくり推進課や民間事業者、住民団体と連携を強化し業務を進めること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０１	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	地域運営の仕組みづくりの推進	1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地区別ビジョンの作成	R3	地区別座談会の実施　（全10地区） 【予算】 3,080 千円　【決算】 3,080 千円	B	・地区別座談会を実施し情報の共有、意見交換を実施したが、ビジョン（活動計画）策定の効果等の共有までには至らず地域住民が主体となった活動計画の策定はなかった。
	R4	地域の生活機能の維持確保、ビジョン策定等に活用できる補助事業を創設 【予算】 1,500 千円　【決算】 0 千円	B	・自治会長会議等で周知を図ったが事業の活用がなかった。 ・複数自治会での取組など、きっかけの創出等難しい面もあると考えられるため、引き続き周知を図る。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 持続的な取り組み体制・組織の形成支援	R3	－ 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・活動計画の策定に至った団体が無かったため実績なし。
	R4	－ 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・活動計画の策定に至った団体が無かったため実績なし。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 実践活動への支援	R3	・地域住民が主体となった団体が日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始し、その活動について広報周知を中心に支援した。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・令和3年4月に地域住民が主体となった、地域のたすけあいを目的とした団体が設立。同年9月より生活支援サービスを開始。
	R4	・地域住民が主体となった団体が日常生活に必要な生活サービスを支援する取組Ｒ３年９月から開始している。その活動について広報周知を中心に支援した。 （Ｒ４年度生活支援実績１４３件） 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・除草や草刈り等、家屋の維持管理に係る支援を中心に、住民有志のボランティアが生活支援サービスを提供している。今後も互助の取り組みが推進されるよう、周知を中心とした後方での支援を行っていく。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０１	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	地域運営の仕組みづくりの推進	2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ まちづくりの担い手の育成	R3	「かわもと一く」の事業計画立案及び予算措置 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・「かわもと一く」として、中学生と地域の大人が一対一で対話することで、 将来への不安や悩みの解消を図る。また、大人は中学生との関係性をつくることで、 自分が地域の担い手であるとの自覚を芽生えさせる。その事業計画立案及び予算措置を実施した。企画の実行は令和4年度を予定。
	R4	・多世代対話活動「かわも一く」の事業の実施 【予算】 891 千円 【決算】 891 千円	B	・川本中学校２、３年生と地域の大人が１対１での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 中間支援組織の育成・運営支援	R3	・地域をサポートする住民主体の中間支援組織が設立された。 ・同組織が行う事業運営に対し事業運営支援を行った。 【予算】 1,600 千円 【決算】 1,600 千円	B	・令和3年4月に地域住民が主体となった、地域のたすけあいを目的とした団体（中間支援組織）が設立。 ・福祉分野を中心に民側の相談窓口として行政と連携し活動を展開。
	R4	・令和3年度に続き中間支援組織が実施する活動に対し運営支援（業務委託）を行った。 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・令和3年度に続き福祉分野を中心に民側の相談窓口として行政と連携し活動を展開。 ・子どもの見守り（子育て支援）についても活動の幅を広げ、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０１	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	住民主体の地域包括ケアシステムの構築	3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 集いの場づくり	R3	・住民主体の集いの場を既存も含め町内5ヶ所で開始。 ・行政と住民が連携した集いの場を町内2ヶ所で開始。 【予算】 1,600 千円 【決算】 1,600 千円	B	・住民主体の集いの場（三原、三島、馬野原、多田、尾原）、行政と連携した集いの場（弓市、因原）を開始。また、各集いの場運営者の情報共有の場を定期的に開催。 ・たすけあいの中間支援組織が実施する生活支援サービス等と連携した取組が図られている。
	R4	・昨年度に続き住民主体の5ヶ所、行政と連携した2ヶ所の開催を支援。 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・昨年度の事業に加え、子どもの見守り（子育て支援：集いの場）についても活動の幅を広げ、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住民同士のたすけあいの推進	R3	・地域住民が主体となった団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・社会福祉協議会が主体となったシルバー人材センターやボランティア会に加え、住民団体が主体となった日常生活のたすけあいの仕組みづくりが開始。徐々にサービスの認知と利用が広まっている。
	R4	・地域住民が主体となった団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民団体が主体となった日常生活のたすけあいの仕組みづくりが継続的に実施されている。利用者のニーズ等についてもきめ細やかに把握・分析されサービスの改善につながっている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 暮らしの保健室の運営支援	R3	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全32回開催された。 （巡回型14回、常設型18回） 【予算】 1,600 千円 【決算】 1,600 千円	B	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談等を行える場が設けられた。 ・一方で中間支援組織という新たな民間組織のサービス、サービス提供初年度もあり相談件数は全27件と伸び悩んだため、広報周知等を中心に引き続き支援を行う。
	R4	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全39回開催された。 （巡回型22回、常設型17回） 【予算】 356 千円 【決算】 220 千円	C	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談等を行える場が設けられた。 ・一方で、常設型保健室の来場者数はSNS等を活用し周知・発信を行ったが〇件にとどまったため、R5年度は巡回型を中心に開催する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０１	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	住民主体の地域包括ケアシステムの構築	4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民主体の地域ケア会議の確立	R3	・三原地区で実施。 【予算】 1,600 千円 【決算】 1,600 千円	B	・三原地区で実施できたが、他の地区では実施に至らなかった。 ・行政主体の同様の会議には住民主体の団体等の参画もあるため、あり方については今後検討を行う。
	R4	・三原地区、多田地区で実施 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・三原地区に加え多田地区でも実施。 ・情報共有の結果、実際の支援につながったケースもあり。 ・令和5年度は尾原地区でも実施を予定。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０２	**地域福祉の充実**	P38～39

主担当課
健康福祉課

施策の方針	公的サービスと地域での活動を組み合わせて、地域資源を有効活用でき、人が人を支える地域福祉を進めます。
施策の方向性	・介護保険・高齢者福祉の充実 ・障害者福祉の充実 ・要配慮者への支援の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
要介護認定率 【単年数値】（単位：%）	目標値	21.7	21.9	21.7	22.0	22.4
	実績値	20.9	19.9			
	達成率	103%	110%	%	%	%
相談支援事業の利用者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	210	220	230	240	250
	実績値	222	251			
	達成率	106%	114%	%	%	%
生活困窮者自立支援事業の支援計画に基づく支援により終結となった件数 【単年度数値】（単位：件）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0			
	達成率	0%	0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・要介護認定率について R4年度(R5.3.31時点）での要介護認定率は、目標値を達成した。今後も可能な限り要介護状態となる時期を遅らせることができるよう、自助・互助の推進と高齢者福祉の充実に努めていく。 ・相談支援事業の利用者数について R4年度相談者数は前年度よりも30人近く増加し、目標値を達成した。今後も関係機関と密な連携を図りながら障害者福祉の充実に努めていく。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・現状の取り組みを継続すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０２	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	介護保険・高齢者福祉の充実	1/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 介護保険制度の運営	R3	・広域保険者および構成町との会議：年4回 ・町内介護福祉関係者との会議：年11回 【予算】 90,403 千円 【決算】 88,382 千円	B	・介護保険制度が適正に運営されるよう、日々関係者と密な連携を図りながら第8期介護保険事業計画に沿って事業を実施した。 ・広域保険者や構成町と協働しながら、今後も事業運営を続けていく。
	R4	・広域保険者および構成町との会議：年4回 ・町内介護福祉関係者との会議：年12回 【予算】 96,650 千円 【決算】 92,169 千円	B	・介護保険制度が適正に運営されるよう、日々関係者と密な連携を図りながら第8期介護保険事業計画に沿って事業を実施した。 ・R5年度は第9期介護保険事業計画の策定年度となるため、関係機関とともに事業評価及び策定を行っていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 介護サービス・介護予防サービスの提供	R3	・事業対象者および要支援または要介護の認定者に対し、介護(予防)サービスを提供する※下記予算決算は要介護認定者を除いたプラン料 ・サービス提供に係るアセスメントに際し、介護等の有資格者が関与する。 【予算】 3,780 千円 【決算】 3,371 千円	B	・本人の意思を尊重した上で本人の心身の状態に適したサービスが提供できるよう、適時関係者と連携を図り、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援を行っている。
	R4	・事業対象者および要支援または要介護の認定者に対し、介護(予防)サービスを提供する※下記予算決算は要介護認定者を除いたプラン料 ・サービス提供に係るアセスメントに際し、介護等の有資格者が関与する。 【予算】 3,560 千円 【決算】 3,215 千円	B	・住み慣れた地域で本人らしい生活が営めるよう、適時関係者と連携を図りながら支援を行っている。 今後も介護サービス・介護予防サービスの供給が維持できるよう、人材確保状況等を含めた運営体制に係る情報について、関係機関や広域保険者と適宜共有を行っていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 高齢者の見守り体制の充実	R3	・緊急通報電話を貸与し、24時間365日の受報体制を整備(稼働数14) ・令和３年度の新規登録数：1件 【予算】 643 千円 【決算】 344 千円	B	・利用者より、月1回の定期交信と有事の際にいつでもSOS発信ができる安心感につながっているとの声あり。 ・必要な方にサービスが届くよう周知を続けていく。
	R4	・緊急通報電話を貸与し、24時間365日の受報体制を整備(稼働数14) ・令和４年度の新規登録数：1件 【予算】 643 千円 【決算】 339 千円	B	・利用者より、月1回の定期交信と有事の際にいつでもSOS発信ができる安心感につながっているとの声あり。 一方で、一般固定電話回線の契約がない人からの相談もあり、ニーズに応えられない事例も一部発生した。 今後の見守り体制の充実に向けて検討を行っていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０２	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	介護保険・高齢者福祉の充実	２/５

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 高齢者の日常生活支援	R3	・最大週３回まで、弁当を玄関先まで配達し安否を確認する ・実績：1527食、月平均利用者数：15人 【予算】 1,280 千円 【決算】 1,222 千円	B	・定期的な配食により、栄養状態の維持・改善につながっている。 ・見守りを兼ねている為、利用者の不調時等の早期発見や対応につながっている。 ・高齢者等が自宅で安心して生活が続けられるよう支援していく。
	R4	・最大週３回まで、弁当を玄関先まで配達し安否を確認する ・実績：1,612食、月平均利用者数：12人 【予算】 1,700 千円 【決算】 1,546 千円	B	・定期的な配食により、栄養状態の維持・改善につながっている。また、見守りを兼ねている為、利用者の不調時等の早期発見や対応につながっている。 ・R4年度は事業者より物価高騰の影響により料金値上げの相談があり、委託料を増額し個人負担金は据え置きとした。R5年度は提供体制の維持に向けて、情報共有や検討を行っていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０２	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	障がい者福祉の充実	３/５

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 障がい福祉サービスの充実	R3	・総合支援法に基づくサービスの提供（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具） ・地域生活支援事業によるサービス提供（日中一時支援、移動支援他） 【予算】 166,278 千円 【決算】 164,425 千円	B	・町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。
	R4	・総合支援法に基づくサービスの提供（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具） ・地域生活支援事業によるサービス提供（日中一時支援、移動支援他） 【予算】 166,368 千円 【決算】 164,963 千円	B	・町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。 ・令和5年度は障害福祉計画の最終年度となるため、サービスの充実にむけて、関係機関と協議を行うこととする。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 障がい者の就労支援	R3	・総合支援法に基づくサービスの提供（就労継続支援A型・B型） ・障がい者就労促進事業委託（下記金額は委託分のみ） 【予算】 2,293 千円 【決算】 2,173 千円	B	・町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。 ・障がい者就労支援事業所へ庁舎内のトイレ掃除や自治会配布文書の仕分け作業などの業務を委託し、障がい者の工賃向上による経済的自立や社会参加の促進を図っている。
	R4	・総合支援法に基づくサービスの提供（就労継続支援A型・B型） ・障がい者就労促進事業委託（下記金額は委託分のみ） 【予算】 2,305 千円 【決算】 2,304 千円	B	・障がい者就労支援事業所へ庁舎内のトイレ掃除や自治会配布文書の仕分け作業などの業務を委託し、障がい者の工賃向上による経済的自立や社会参加の促進を図っている。 ・就労継続支援A型・B型のサービス利用者はやや増加傾向となっている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 障がい者の地域移行支援	R3	・総合支援法に基づくサービスの提供（地域移行支援） 【予算】 15,872 千円 【決算】 15,212 千円	B	・町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。
	R4	・総合支援法に基づくサービスの提供（地域移行支援） 【予算】 13,592 千円 【決算】 12,437 千円	B	・町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。 ・令和4年度は新型コロナウィルス感染症の影響で予定していた啓発事業を実施できなかったため、令和5年度は実施を検討したい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０２	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	障がい者福祉の充実	4/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 地域福祉の拠点整備	R3	・地域活動支援センター事業委託（ひまわり） ・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち） 【予算】 7,179 千円 【決算】 7,179 千円	A	・R3年度より相談支援事業のサテライト相談会を月に１回、三原まちづくりセンターで実施し、遠方を理由に出にくかった方が参加されたり、参加者が福祉就労につながるなど、日中活動のサポートや社会との交流促進が図られている。 ・地域活動支援センターひまわりの建物は経年劣化が進んでおり、今後、障がい児から障がい者までの一体的なサービス提供の展開を行っていくために、新たな障がい者の拠点整備が必要。
	R4	・地域活動支援センター事業委託（ひまわり） ・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち） 【予算】 7,355 千円 【決算】 7,355 千円	A	・R3年度より実施しているサテライト相談会を今年度も毎月１回、三原まちづくりセンターで実施した。三原まちづくりセンターの協力を得て、わかばカフェを開催したりまちセンマルシェで出店するなど、参加者の活躍機会の拡大や地域社会との交流促進が図られている。 ・地域活動支援センターひまわりの建物は経年劣化が進んでおり、今後、障がい児から障がい者までの一体的なサービス提供の展開を行っていくために、新たな障がい者の拠点整備が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域生活支援体制の充実	R3	・地域生活支援拠点整備 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域生活支援拠点事業の中で、町、障がい者支援事業所、医療機関等が連携し、個別支援計画の作成を行い、緊急時に対応可能な体制の整備を進めている。
	R4	・地域生活支援拠点整備 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域生活支援拠点事業の中で、町、障がい者支援事業所、医療機関等が連携し、支援台帳の作成を行い、緊急時に対応可能な体制の整備を進めている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０２	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	要配慮者への支援の充実	5/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 生活保護及び母子・父子自立支援	R3	・生活保護制度 ・児童扶養手当 ・母子家庭自立支援給付 【予算】 88,557 千円 【決算】 87,644 千円	B	・国の制度に基づき実施。 ・相談体制を確保し生活へのサポートを行っている。
	R4	・生活保護制度 ・児童扶養手当 ・母子家庭自立支援給付 【予算】 70,522 千円 【決算】 67,843 千円	B	・国の制度に基づき実施。 ・相談体制を確保し生活へのサポートを行っている。 ・必要に応じて、関係機関と連携しながら、支援を行っている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０３	**健康づくりの推進**	P40～41

主担当課
健康福祉課

施策の方針	川本町に暮らす人がいつまでも元気でいられるように、幼少期から高齢期まで健康づくりを進めていきます。
施策の方向性	・健康寿命を伸ばす健康づくりの推進 ・食育の推進 ・心の健康づくりの推進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特定健診の受診率 【単年数値】（単位：%）	目標値	56.5 %	58.5 %	60.0 %	60.0 %	60.0 %
	実績値	44.9%	51.5%			
	達成率	79.50%	88.03%	%	%	%
平均自立期間　男性 【単年数値】（単位：歳）	目標値	78.5	78.9	79.3	79.7	80.0
	実績値	80.1	79.2%			
	達成率	102%	100.38%	%	%	%
平均自立期間　女性 【単年数値】（単位：歳）	目標値	85.2	85.4	85.6	85.8	86.0
	実績値	82.4	82.4			
	達成率	96.7%	96.48%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・特定健診の受診率について R4年度は目標達成はできなかったが、前年度に比べて受診率は増加した。人間ドックの対象要件を拡充したことが主な要因にあると考えられる。今後も受診率の向上に向けた取り組みを継続していく。 ・平均自立期間について R4年度は男性は目標達成できた。今後も普及啓発を行い、健診や介護予防事業等への参加を推進していく。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・特定健診受診率の更なる向上を図ること。 ・引き続き受診勧奨に積極的に努めること。 ・教育委員会と連携した禁煙の取り組みも積極的に行うこと。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０３	**健康づくりの推進**	P40～41	**健康福祉課**

施策の方針	川本町に暮らす人がいつまでも元気でいられるように、幼少期から高齢期まで健康づくりを進めていきます。
施策の方向性	・健康寿命を伸ばす健康づくりの推進 ・食育の推進 ・心の健康づくりの推進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
学校給食における川本町産野菜の使用割合（重量ベース） 【単年数値】（単位：%）	目標値	30.0 %	31.0 %	32.0 %	34.0 %	35.0 %
	実績値	22.6%	25.40%			
	達成率	75.3%	81.90%	%	%	%
自死率 【単年数値】（単位：人口10万対）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	31.63			
	達成率	100%	0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
	・学校給食について 目標は達成できなかったが、令和3年度より使用割合が増加している。要因として、学校給食センターに配置された栄養士と、農家の方または道の駅の担当者との協議等により、川本町産の野菜使用割合が上がることにつながったと考える。 ・自死率について 今年度、自死率を０にするという目標を達成することができなかった。自死の発生を未然に防止できるよう、自死予防の啓発や相談窓口の周知により一層力を入れていく必要がある。また、ゲートキーパー研修等を通した自死を未然に防ぐことのできる人材の育成や、講演会等を通した若年層への啓発などにも引き続き取り組んでいく必要がある。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）

評　価	最終評価（町長）

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０３	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	健康寿命を伸ばす健康づくりの推進	1／4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 各種検(健)診の受診率向上	R3	特定健診と胃がん検診・胸部CT検査を同日にセットで受診できることとした。また土日開催し受診率向上を図った。受診勧奨の個別送付回数を増やした。 【予算】 5,701 千円 【決算】 5,741 千円	A	・特定健診については受診率が減少した。集団検診の受診者数は大幅な減少はないため、個別で医療機関へ受診する個別検診受診者が減少したと考えられる。引き続き未受診者勧奨を積極的に行うとともに受診を促進するよう制度を拡充する。
	R4	・特定健診を初受診になる方の特定健診費無料 ・特定健診へのセット検診実施（胃がん・胸部CT検査、各種オプション検査） ・土日検診の実施 ・子宮・乳がん検診の無料化(一部の対象年齢) ・個別の受診勧奨送付回数を増加 【予算】 9,347 千円 【決算】 7,343 千円	B	・特定健診受診率(R4：51.5%)はR3年度と比較し受診率は上昇した。集団検診の受診者数は減少したが個別検診や医療情報提供の勧奨を実施したことにより、受診者数及び特定健診受診率は向上した。引き続き未受診者勧奨を積極的に行うとともに受診を促進する取り組みを継続していく。 ・胃・肺がん検診の受診者数は増加、大腸・子宮頸・乳がん検診の受診者数は減少している。受診率をみると肺がん検診のみ上昇している。がん検診の未受診者対策をすすめながら継続して取り組む必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 生活習慣病の予防対策	R3	生活習慣病予防としてストレッチ&ヨガ教室を、運動指導士を講師として夕方仕事終わりの時間帯に開催。 【予算】 145 千円 【決算】 116 千円	B	・定員人数に対して76.6%の参加率。参加者が固定化しないよう新規参加者の開拓も行っていく。
	R4	生活習慣病予防としてストレッチ&ヨガ教室を、運動指導士を講師として夕方仕事終わりの時間帯に開催（全１５回）。 【予算】 136 千円 【決算】 137 千円	B	・定員に対して申込率１００％。申込者の平均年齢は５４．９歳と働き盛り世代の参加も見られるが、全１５回継続しての参加は少ない。継続して参加してもらえるような働きかけが必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 介護予防・認知症予防	R3	・通所型ミニデイ(悠湯プラザ)：21自治会延べ840人参加 ・地区ミニデイ(集会所)：19自治会延べ803人参加 ・地区サロン：6地区で開催 【予算】 11,058 千円 【決算】 10,123 千円	B	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として開催中止した月があり、利用数は減少した ・すこやかに生活できるような支援を続けていく。
	R4	・通所型ミニデイ(悠湯プラザ)：19自治会延べ606人参加 ・地区ミニデイ(集会所)：14自治会延べ621人参加 ・地区サロン：6地区で開催 【予算】 6,680 千円 【決算】 6,200 千円	B	・ローテーションの見直しにより、悠湯プラザの開所日は減少した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として時間を短縮した月があり、利用数は減少した。 ・住み慣れた地域ですこやかに生活できるよう、支援を続けていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０３	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	健康寿命を伸ばす健康づくりの推進	2／4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ たばこ・アルコール対策	R3	・禁煙治療費助成の実施。 【予算】 36 千円 【決算】 24 千円	B	・禁煙治療費助成事業申請者２名。継続して事業の周知を
	R4	・禁煙治療費助成の実施。 【予算】 36 千円 【決算】 0 千円	A	・禁煙治療費助成事業申請者０名。事業を継続するとともに、助成の取り組みについて積極的な周知が必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 8020運動の推進	R3	40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象に歯周病検診を無料で実施。 【予算】 85 千円 【決算】 82 千円	B	・受診率9.9%と低い状況。年に１回未受診者へ個別に受診勧奨ハガキを送付している。チラシやまげなねっとを利用し、歯科受診の重要性について周知する必要がある。
	R4	40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象に歯周病検診を無料で実施。 【予算】 242 千円 【決算】 91 千円	B	・受診率14.4%と低い状況。年に１回未受診者へ個別に受診勧奨ハガキを送付している。広報や、まげなねっとを利用し、歯科検診、歯周病の早期発見・治療の重要性について周知する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 健康意識づくりの推進	R3	加藤病院と連携して作成した健康に関するテーマ別の啓発画や、健康レシピの調理動画等をまげなねっとで放送する。 【予算】 24 千円 【決算】 18 千円	B	・視聴率が把握できないため、視聴している年齢層や人数、効果的な放送時間帯など不明で評価が難しい。今後、この事業についてアンケートを実施するなど、評価につながるような施策を検討する必要がある。
	R4	加藤病院と連携して作成した健康に関するテーマ別の啓発画や、健康レシピの調理動画等をまげなねっとで放送する。 【予算】 24 千円 【決算】 17 千円	B	・視聴率が把握できないため、視聴している年齢層や人数、効果的な放送時間帯などは不明で評価が難しい。普及啓発を目的として実施しているためR5に実施する健康づくりアンケート結果を参考に評価したいと考える。 放送テーマについては現在課題とする内容に沿ったものに随時変更し継続して取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０３	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	食育の推進	３／４

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 規則正しい食生活の啓発	R3	生活習慣病予防教室として小学４年生、中学３年生を対象に実施。養護教諭、栄養教諭、食生活改善推進協議員と共に実施。 【予算】 50 千円　【決算】 38 千円	B	・生活習慣病について学び、バランスの良い食事や生活態度について理解する。 ・調理実習を通して実践する力を身につけることができる。各調理台に指導者を配置し、包丁の持ち方、切り方等細やかな指導を行いながら、楽しみながら実施することができている。
	R4	生活習慣病予防教室として小学４年生、中学３年生を対象に実施。「和食」「えごまわやさしい」をテーマにしたバランスの良い食事について学ぶ。 【予算】 50 千円　【決算】 30 千円	B	・栄養教諭による事前授業の中で、バランスの良い食事や生活態度についての知識を身につける。 ・調理実習では、外部講師の食生活改善推進員により、包丁の持ち方や切り方などの調理自術を実際に体験しながら学ぶ。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 地元産品の活用	R3	・学校給食で使用するエゴマ油の購入費に係る費用を町が負担。 ・また、地産地消の推進及び児童生徒への食育の充実を図るため、地元産の農産物、農産加工品の購入に要する費用を補助。 【予算】 766 千円　【決算】 712 千円	A	・エゴマ油については、ほぼ毎月提供しているが献立等の関係により提供できない月もある。 ・また、地元産の農産物及び農産加工品補助については、令和３年度は２学期以降の白米に要する費用を補助し、学校給食における町内産白米使用率100%。 ・今後も対象品目を増やして地産地消の推進を行っていく必要がある。
	R4	地産地消の推進児童生徒への食育の充実を図るため、地元産の農産物、農産加工品の購入に要する費用の補助。令和4年度はコロナの臨時金が入り、それを充当したため、予算に対して決算額が少ない。 【予算】 1000 千円　【決算】 175 千円	A	令和3年度の事業に加え、令和4年度は学校給食における農産加工品（エゴマ油、エゴマ葉パウダー、えごまかまぼこ等）を補助。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円　【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０３	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	心の健康づくりの推進	4／4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 啓発活動の推進	R3	性教育を川本中学校生徒に実施。７月に２・３年生。３月に１年生。 【予算】 73 千円 【決算】 21 千円	B	性に関する不安や悩みは解消できましたか」の質問に「とても思う・少し思う」と回答した割合。目標85%に対して実績79.4%。「自分のことが好きになりましたか」の質問に「そう思う・少しそう思う」と回答した割合。目標目標85%に対して実績76.5%。引き続き継続する。
	R4	性教育を川本中学校生徒に実施。７月に２・３年生、２月に１年生を対象に行った。 【予算】 73 千円 【決算】 21 千円	B	「性に関する不安や悩みは解消できましたか」の質問に「とても思う・少し思う」と回答した割合が、目標85%に対して実績96.7%、「自分のことが好きになりましたか」の質問に「そう思う・少しそう思う」と回答した割合が目標85%に対して実績90.3%であった。引き続き事業は継続していきたい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 自死予防対策	R3	自死予防啓発のチラシを全戸配布。また、まげなねっとで周知を行う。 【予算】 23 千円 【決算】 14 千円	B	自死率０%。引き続き啓発を行う。
	R4	自死予防啓発のチラシを全戸配布。また、まげなねっとで周知を行う。 【予算】 21 千円 【決算】 10 千円	A	R4年度は自死死亡率が31.63と上昇した。様々な媒体を通しより積極的に啓発を行う必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０４	**地域医療の充実**	P42～43

主担当課
健康福祉課

施策の方針	生活する上で欠かすことの出来ないものとして医療体制の維持を図るとともに、現在の体制を有効に活用し、不足している部分を補うための施策を進めていきます。
施策の方向性	・医療体制の確保 ・医療・保健・介護の連携強化

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内医療機関の診療科目数【単年数値】（単位：科目）	目標値	14	14	14	14	15
	実績値	14	14			
	達成率	100%	100%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・診療科目は昨年度同様に増減なく維持できている。 ・令和4年度は、重点プロジェクト実現の観点から、将来にわたって安心できる医療体制の構築のため検討を重ねた。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・引き続き新たな医療拠点も見据え医療機関と更なる連携を図っていくこと。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み評価シート

基本施策番号	０４	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療体制の確保	1/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療従事者の育成・確保	R3	町独自の事業は行うことが出来なかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	A	・教育課と連携し、先行団体を参考にして、町としての取り組みを進めていく必要がある。
	R4	町独自の事業は行うことが出来なかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	A	・保健師が島根中央高校に出向き、生徒を対象に、保健師の魅力をテーマに仕事内容等について講和を行った。 ・令和5年度3町共同で医療従事者確保をテーマにシンポジウム開催を予定しており、今後具体的に検討を進める。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町内医療体制の確保	R3	地域医療補助金として130,000千円補助 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	・地域医療補助金をほぼ医師確保事業の費用として活用され、診療科目の維持、医師確保に繋がっている。このことにより、町内の医療提供体制を維持出来ている。
	R4	地域医療補助金として130,000千円補助 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	地域医療補助金をほぼ医師確保事業の費用として活用され、診療科目の維持、医師確保に繋がっている。このことにより、町内の医療提供体制を維持出来ている。 令和4年度は、物価高騰等の影響を受けた不採算地区医療機関への支援として額を拡充している。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 周辺の医療機関との連携	R3	公立邑智病院へ負担金支出 【予算】 45,017 千円 【決算】 45,017 千円	C	・公立邑智病院へ建設改良費（3,465千円）を含む負担金を支出しており、公立邑智病院にて建設にかかる準備を進めておられる。 ・近隣の病院との連携推進については、取り組みが不足しており、今後進めていく必要がある。
	R4	公立邑智病院へ負担金支出 【予算】 45,204 千円 【決算】 45,204 千円	B	公立邑智病院にて建設にかかる準備を進めておられるが、4年度内に事業が完了しなかったため、来年度も継続。 近隣の病院との連携推進については、邑智郡3町の医療部局との定期的な会を開催している。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み評価シート

基本施策番号	０４	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療体制の確保	2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 救急医療体制の確保	R3	邑智郡医師会に対し在宅当番医制運営費の支払い 【予算】 3,099 千円 【決算】 3,099 千円	B	邑智郡3町で負担し、土日の休日診療体制を維持している。（71日_205人）
	R4	邑智郡医師会に対し在宅当番医制運営費の支払い 【予算】 3099 千円 【決算】 3099 千円	B	邑智郡3町で負担し、土日の休日診療体制を維持している。（71日_283人）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み評価シート

基本施策番号	０４	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療・保健・介護の連携強化	3/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・保健・介護連携	R3	・医療保健連携会議：1回 【予算】 15 千円 【決算】 15 千円	B	・年１回、町内の医療関係者と管内保健所が一堂に会する会議を設けている。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためリモートで開催し討議を行った。町における課題を圏域内で共有し、効果的な連携のあり方について協議を行っていく。
	R4	・医療保健連携会議：1回 【予算】 15 千円 【決算】 11 千円	B	・年１回、町内の医療関係者と管内保健所が一堂に会する会議を設けている。 ・感染症の拡大防止のためリモートで開催し討議を行った。今年度は重症化対策について町の取り組みと病院での取り組み状況について情報交換を行った。今後も町における課題を圏域内で共有し、効果的な連携のあり方について協議を行っていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域包括ケアシステムの構築	R3	・地域ケア会議：11回 ・地域ケア推進会議：１回 【予算】 72 千円 【決算】 50 千円	B	・毎月１回、町内の医療・保健・介護担当者が集い、住み慣れた地域で生活していけるような支援体制について協議を行っている。また、年１回、町内の関係法人の代表者に参集いただき町全体の課題について討議を行っている。
	R4	・地域ケア会議：12回 ・地域ケア推進会議：１回 【予算】 59 千円 【決算】 54 千円	B	・毎月１回、町内の医療・保健・介護担当者が集い、住み慣れた地域で生活していけるような支援体制について協議を行っている。また、年１回、町内の関係法人の代表者に参集いただき町全体の課題について討議を行っている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０５	**公共交通の充実**	P44～45	**まちづくり推進課**

施策の方針	地域間交通や町内交通の充実を図ることで、自家用者での移動ができない人でも、行きたいところに行けるように、町内外を円滑に移動できる交通環境を整えます。
施策の方向性	・地域間交通の維持・確保 ・町内移動手段の維持・充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
隣接する市町との地域間乗合バス路線数 【単年数値】（単位：路線）	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	3	3			
	達成率	100%	100%	%	%	%
広域都市部との地域間乗合バス路線数 【単年数値】（単位：路線）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1			
	達成率	100%	100%	%	%	%
町内移動の新たなシステムの導入数 【累計値】（単位：件）	目標値	0	0	2	2	2
	実績値	0	0			
	達成率	0%	0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・令和4年度に法律に基づく地域公共交通計画を策定した。 ・計画で定めた目標達成に向け、計画記載の各種取り組みを進めていく。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・弓市魅力化実施計画や立地適正化計画とのつながりも意識すること。 ・主要地方道川本波多線川本工区新ルート開通時には新たな交通体系となるよう意識すること。 ・デマンド交通の利用促進に繋がる取り組みを検討すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０５	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	地域間交通の維持・確保	1/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 路線バスの維持・確保	R3	・県や関係市町と協調し路線バスの維持を目的とした補助を実施した。 【予算】 15,514 千円 【決算】 14,929 千円	B	・近隣自治体と連携し地域間を結ぶ路線バスの維持を目的とした補助金を交付（おおなんバス：6,089千円　石見交通、大和観光：8,840千円）。 ・生活交通実態調査を実施。 ・令和4年度には調査結果をふまえ公共交通計画を策定し利便性等の向上を目指す。
	R4	・県や関係市町と協調し路線バスの維持を目的とした補助を実施した。 ・町の交通マスタープランとなる地域公共交通計画を策定した。 【予算】 15,329 千円 【決算】 13,756 千円	B	・近隣自治体と連携し地域間を結ぶ路線バスの維持を目的とした補助金を交付（おおなんバス：5,993千円、石見交通：5,153千円、大和観光：2,610千円）。 ・令和5年度には持続可能な公共交通体系の実現を目指し公共交通計画の取り組みを進める。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 利便性の向上に向けた協議の継続	R3	・三江線沿線地域公共交通活性化協議会での意見交換、答申を実施。 【予算】 200 千円 【決算】 200 千円	B	・三江線沿線地域公共交通活性化協議会での広域的な検討、取組の実施（負担金：200千円） ※R3実施：網形成計画の改定及び改定に係る住民意識調査の実施協力
	R4	・三江線沿線地域公共交通活性化協議会での意見交換、答申を実施。 【予算】 200 千円 【決算】 200 千円	B	・三江線沿線地域公共交通活性化協議会での広域的な検討、取組の実施（負担金：200千円）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０５	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	町内移動手段の維持・充実	2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 公共交通の運行の見直し	R3	・生活交通実態調査の実施 【予算】 3,850 千円 【決算】 3,850 千円	B	・令和3年度に行った実態調査結果をふまえ、令和4年度に地域公共交通計画を策定予定。 ・策定した計画に基づき、利便性が高く、効率性の高い移動手段の再構築を目指す。
	R4	・地域公共交通計画（法定計画）を策定 ※策定主体：川本町地域公共交通協議会 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・地域公共交通計画を策定。 ・令和5年度には持続可能な公共交通体系の実現を目指し公共交通計画の取り組みを進める。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町内の公共交通の維持・確保	R3	・デマンドタクシーの運行 【予算】 4,816 千円 【決算】 4,816 千円	B	・自家用車や免許を保有していない方等の町内の公共交通手段としてデマンドタクシーの運行を実施。利用効果等を見極めながら継続して町内交通の維持に取り組む。
	R4	・デマンドタクシーの運行 【予算】 4,816 千円 【決算】 4,816 千円	B	・自家用車や免許を保有していない方等の町内の公共交通手段としてデマンドタクシーの運行を実施。利用効果等を見極めながら継続して町内交通の維持に取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域内の移動手段の確保	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度策定予定の地域公共交通計画の内容を踏まえ、将来にわたり持続可能な交通のあり方と併せ検討を進める。
	R4	・地域公共交通計画（法定計画）を策定 ※策定主体：川本町地域公共交通協議会 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・令和4年度に地域公共交通計画を策定。 ・具体的取組について令和5年度から関係各所と調整を図る。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０５	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	町内移動手段の維持・充実	3/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 免許返納者等への支援	R3	・高齢者フリーパスの交付 ・バスカード購入補助金の交付 ・タクシー利用助成の実施 【予算】 1,045 千円 【決算】 1,045 千円	B	・免許を返納した返納者や、元から免許を保有していない方に対し一定の利便性が確保された公共交通体系の維持を引き続き実施する。 ・一方で財政的負担等も踏まえ効率性を意識した取組に努める。
	R4	・高齢者フリーパスの交付 ・バスカード購入補助金の交付 ・タクシー利用助成の実施 【予算】 1,307 千円 【決算】 1,307 千円	B	・免許を返納した返納者や、元から免許を保有していない方に対し一定の利便性が確保された公共交通体系の維持を引き続き実施する。 ・一方で財政的負担等も踏まえ効率性を意識した取組に努める。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 人材の確保・育成	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・現時点で町内公共交通やタクシー事業を委託している事業者で運転手確保の需要等はなし。 ・今後の公共交通のあり方を進めるうえで事業者の要望があれば確保に向けた支援を行う。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・現時点で町内公共交通やタクシー事業を委託している事業者で運転手確保の需要等はなし。 ・今後の公共交通のあり方を進めるうえで事業者の要望があれば確保に向けた支援を行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０６	**移住・交流の推進**	**P46～48**

主担当課
まちづくり推進課

施策の方針	観光資源や地域資源を磨き、発信するとともに、町外の人との多様なつながりをつくる体制を強化することで、川本町の価値に共感する人の輪の拡大に努めます。
施策の方向性	・定住環境の整備 ・相談支援体制の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町の住宅支援制度の利用者数（令和3年度からの累計値）【累計値】（単位：件）	目標値	7	15	22	30	37
	実績値	6	13			
	達成率	86%	87%	%	%	%
相談事業を経た年間Ｉターン件数【単年数値】（単位：件）	目標値	10	10	15	15	20
	実績値	19	11			
	達成率	190%	110%	%	%	%
相談事業を経た年間Ｕターン件数【単年数値】（単位：件）	目標値	4	4	5	6	6
	実績値	0	14			
	達成率	0%	350%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・移住相談や相談を経由して移住した実績は順調に推移しているが、県統計により抽出される数値（「5年以上継続して居住」）要件だと数値が伸びない。 ・令和4年度は県と連携のもとUターンの契機となる施策を開始したため、継続して取り組みを実施しUターンの促進を図りたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・民間と連携した住宅施策を継続すること。 ・住生活基本計画の達成との関連を意識し取組を行うこと。 ・住宅確保には、空き家を活用した取り組みも行うこと。

評　価	最終評価（町長）
A	・人口減少対策に向けて、あらゆる施策を総合的、横断的に取り組むこと。 ・遊休町有地の活用も検討すること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０６	**移住・交流の推進**	**P46～48**

主担当課
まちづくり推進課

施策の方針	観光資源や地域資源を磨き、発信するとともに、町外の人との多様なつながりをつくる体制を強化することで、川本町の価値に共感する人の輪の拡大に努めます。
施策の方向性	・定住環境の整備 ・相談支援体制の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間Ｉターン者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	20	20	25	25	30
	実績値	7	3			
	達成率	35%	15%	%	%	%
年間Ｕターン者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	10	10	13	15	15
	実績値	8	1			
	達成率	80%	10%	%	%	%
町内の関係案内所を通じたマッチング件数 【単年数値】（単位：人）	目標値	0	5	10	10	15
	実績値	0	25			
	達成率	0%	500%	%	%	%

評　価	担当課評価

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）

評　価	最終評価（町長）

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	定住環境の整備	1/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 定住促進住宅の整備	R3	－ 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・新型コロナウイルスの影響で令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に2棟の建設を予定。また、民間事業者と連携した住宅施策のあり方について検討を進める。
	R4	因原地区に2棟を建設 【予算】 67,194 千円　【決算】 66,111 千円	B	・因原地区に2棟を建設。 ・2世帯（うち18歳未満3人）のIターン実績。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 住まい確保の支援	R3	・住まいづくり応援事業の実施 【予算】 12,570 千円　【決算】 12,570 千円	B	・住宅購入助成事業（新築：1件　中古購入：5件）。 ・住環境確保支援のため引き続き事業を実施する。
	R4	・住まいづくり応援事業の実施 【予算】 8,709 千円　【決算】 8,451 千円	B	・住宅購入助成事業（新築：1件　中古購入：5件） ・住環境確保支援のため引き続き事業を実施する。 ※ただし、令和6年度から一部要件見直し予定
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 住まい情報の発信	R3	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」との連携 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・かわもと暮らしへの情報の集約化等により住まい情報の安定的な受発信が可能となった。
	R4	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」との連携 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・「住まい相談」＝かわもと暮らしが町内でも徐々に認知され、空き家バンク登録情報や民間アパート情報を含め住まいの情報が集約化されマッチングの機会が増えている。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	定住環境の整備	2/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 空き家の利活用の推進	R3	・空き家バンク制度の運営 ・空き家バンク利活用促進事業費補助の実施 【予算】 783 千円 【決算】 783 千円	B	・令和3年度空き家バンク登録相談：18件　登録：空き家4件空き地3件 ・利活用促進事業費補助（家財撤去2件　ハウスクリーニング2件） ・空き家バンクへの登録から利活用までを促し流動化できるよう取組を継続。
	R4	・空き家バンク制度の運営 ・空き家バンク利活用促進事業費補助の実施 【予算】 2,500 千円 【決算】 2,139 千円	B	・令和4年度空き家バンク登録相談：29件　登録：空き家11件空き地1件 ・利活用促進事業費補助（家財撤去7件　ハウスクリーニング4件 相続登記2件） ・空き家バンクへの登録から利活用までを促し流動化できるよう取組を継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 民間資産の活用による住宅整備	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度は実績なし。 ・戸建て賃貸住宅等も視野にいれた補助事業の拡充を令和4年度に実施予定。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度は実績なし。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	相談支援体制の充実	3/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ブランド戦略・PR戦略づくり	R3	・かわもと暮らしを中心としたPR活動の実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・新型コロナウイルスの影響により具体的なPR機会（定住フェア等）はなし。 ・オンライン開催にてテーマ設定（薪ストーブのある暮らし　など）を設け一定の集客あり（60名）。
	R4	・かわもと暮らしを中心としたPR活動の実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・県外対面式相談会参加　5回　オンライン4回 ・計105名の相談受付 ・計13回の移住体験プログラム受入等によりPRを実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 定住コーディネートの推進	R3	・かわもと暮らしの運営 【予算】 14,692 千円 【決算】 14,692 千円	B	・3名の定住相談員体制により充実した相談体制の構築ができている。 ・また、住まいや仕事など移住定住に不可欠な要素に対しそれぞれ担当を持ち、専門性も高めた取組を行っている。
	R4	・かわもと暮らしの運営 【予算】 14,584 千円 【決算】 14,584 千円	B	・3名の定住相談員体制により充実した相談体制の構築ができている。 ・住まいや仕事など移住定住に不可欠な要素に対しそれぞれ担当を持ち、専門性も高めた取組を行っている。加えて、職業紹介イベントなども主催しており、活動の幅も広げている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域おこし協力隊制度の活用促進と定着支援	R3	・かわもと暮らしによる協力隊相談体制の整備 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度からかわもと暮らしが地域おこし協力隊の相談業務を開始。月1回の定例面談のほか、活動補助金の申請サポートを行った。 ・スキルアップにつながる研修情報の提供など相談のワンストップ化による効果も現れているため、継続し実施する。
	R4	・例月個別面談の実施 ・初任者向け研修会の開催 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・昨年に続きかわもと暮らしにて協力隊の例月面談（相談受付）を実施。 ・外部研修への案内に加え、かわもと暮らしが主催し初任者研修を行うなど、活動の幅を広げている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	相談支援体制の充実	4/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ マッチングサービス	R3	・かわもと暮らしによる就職相談窓口の開設、中学校でのジョブカフェイベントの開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・かわもと暮らしにて職業紹介事業を実施。 ・ハローワークや事業者と連携した人材確保、移住希望者とのマッチングに加え、中学校での職業紹介イベントを開催。
	R4	・中学校、島根中央高校でのジョブカフェイベントの開催 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・昨年度に続き中学校での職業紹介イベントのほか、島根中央高校でのイベントも開催。 ・一般求職のほか、若年層への企業PR活動も行っている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 情報発信	R3	・かわもと暮らしのホームページのリニューアル ・空き家、空き地バンク情報の一元化 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・移住定住サイト「かわもとぐらし」のリニューアルに伴い住まい情報等の一元化を実施。 ・かわもと暮らしにてＬＩＮＥ、Ｔｗｉｔｔｅｒ等のSNSによる暮らしや住まいの情報発信を実施。
	R4	・かわもと暮らしのホームページによる住まい（空き家、民間住宅等）、仕事、移住相談等の一元情報の発信 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・移住定住サイト「かわもとぐらし」による情報の一元発信を継続。 ・かわもと暮らしにてＬＩＮＥ、Twitter等のSNSによる暮らしや住まいの情報発信を実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	関係人口の受け入れ体制の充実	5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 関係人口に関する戦略づくり	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に向け県と連携した事業提案に応募し採択された。
	R4	・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。 ・移住・定住・交流促進事業（（一財）地域活性化センター）を活用した大学生インターンシップモデル事業を実施 【予算】 6,220 千円 【決算】 5,970 千円	B	・高校生とのつながり創出モデル事業 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設 （登録者数：８７名） 県外でのイベントの実施 （東京０名・広島１７名） 町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査 ・移住・定住・交流促進事業 2名の受け入れサポート＋R5年度1名の受入決定 PRのための動画作成
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 関係案内所の創設	R3	・かわもと暮らしによる窓口機能の整備。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・移住定住、観光協会なども含めたワンストップ窓口機能として組織運営。 ・地域ニーズの把握等までは行ったが具体的な事業化やマッチングには至らず。 ・ふるさと島根定住財団が運営する関係人口サイトマッチングサイト「しまっち」にレールバイクイベントを登録。
	R4	・大学生インターン事業や高校生つながり創出モデル事業においてかわもと暮らしが受入窓口となり実施した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・各事業でかわもと暮らしが窓口となり受入サポートを行った。移住・定住の窓口機能を有しており、住まい相談等円滑な対応ができることが確認できた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 高校卒業生との関係維持（卒業生交流会、都心部でのイベント）	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に県と連携した取組にとり事業実施を予定。
	R4	・高校生とのつながり創出モデル事業の実施 【予算】 4,220 千円 【決算】 3,970 千円	B	・高校生とのつながり創出モデル事業【再掲】 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設　（登録者数：８７名） 県外でのイベントの実施（東京０名・広島１７名）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	関係人口の受け入れ体制の充実	6/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 定期的な交流機会づくり	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・かわもと暮らしによる公式ＬＩＮＥ登録促進を実施。 ・令和4年度以降高校卒業生とのつながりと併せ具体的な交流の機会づくりを実施予定。
	R4	【再掲】 ・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。 ・移住・定住・交流促進事業（（一財）地域活性化センター）を活用した大学生インターンシップモデル事業を実施 【予算】 6,220 千円 【決算】 5,970 千円	B	・高校生とのつながり創出モデル事業 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設 （登録者数：８７名） 県外でのイベントの実施 （東京０名・広島１７名） 町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査 ・移住・定住・交流促進事業 2名の受け入れサポート＋R5年度1名の受入決定 PRのための動画作成
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 町外の教育機関との連携	R3	・実施可能な大学との協働事業などについて検討中 ・大学生の体験を聞きと高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施可能な大学との協働事業について検討中。 ・島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R4	・実施可能な大学との協働事業などについて検討 ・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施可能な大学との協働事業について検討。 ・島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	観光・交流の充実	7/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 観光・交流コンテンツの充実	R3	・体験プログラムの実施による誘客(いわみん) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内実践者による体験プログラムの提供。 ・さらなる実践者の発掘、育成に取り組む。 ・県助成制度を活用した合宿誘致を図る。
	R4	・新規体験プログラムの実施による誘客（いわみん） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・石見川本駅を活用した体験プログラムを実施。 ・新たな資源、人材の発掘に引き続き取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 関連市町村と連携した広域観光の推進	R3	・江の川流域広域観光連携推進協議会への参画 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・協議会HPによる情報発信、郡内3町のオンラインツアーの開催等、町単独では困難な事業を実施。 ・誘客ツアーの催行、集客イベントの開催等に取り組む。
	R4	・江の川流域広域観光連携推進協議会への参画 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・誘客ツアーの催行、集客イベントの開催等に取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 観光客の受け入れ環境の充実	R3	・各施設の修繕 ・指定管理業者との協議 【予算】 64,450 千円 【決算】 63,772 千円	B	・施設の老朽化等に伴う修繕を行い、安定的な施設運営を図った。
	R4	・各施設の修繕・整備 ・アウトドアイベント（観光協会　笹遊里） 【予算】 32,878 千円 【決算】 32,853 千円	B	・施設の老朽化等に伴う修繕を行い、安定的な施設運営を図った。 ・観光協会と連携した施設利用イベントの実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	０６	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	観光・交流の充実	8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 観光の担い手育成	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体的取組は行っていない。
	R4	・地域おこし協力隊の委嘱（1名） 【予算】 2,200 千円 【決算】 2,200 千円	B	・観光協会のスタッフとして1名配属した。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 姉妹縁組都市との交流充実	R3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施 【予算】 718 千円 【決算】 0 千円	B	・坂町との姉妹都市交流活動の取組であるが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、未実施となっている。 ・姉妹都市交流の充実に向けて、継続して取組が必要である。
	R4	・坂町・川本町特産品フェア ・ようよう祭り 【予算】 351 千円 【決算】 66 千円	B	・従来型のイベント実施。 ・継続した取組、情報交換が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０７	**農林水産業の振興**	P50～52	**産業振興課**

施策の方針	新たな就労者の確保や作業の効率化、生産基盤の保全などを進め、持続可能な農林水産業の確立を目指します。
施策の方向性	・農業の高付加価値化の推進 ・農業基盤の整備・保全 ・林業の振興 ・水産業の振興 ・担い手の確保・育成

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
エゴマ10アールあたり販売額 【単年度値】（単位：円）	目標値	55,500	64,750	74,000	83,250	92,500
	実績値	36,200	40,984			
	達成率	65.2%	63.29%	%	%	%
有害鳥獣被害額 【単年度値】（単位：千円）	目標値	1,600	1,500	1,400	1,200	1,000
	実績値	2,055	2,326			
	達成率	28.4%	55.1%	%	%	%
荒廃竹林の整備面積 【単年度値】（単位：アール）	目標値	200	100	100	100	100
	実績値	0	33			
	達成率	0%	33.0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・実証圃では、数種類の肥料による害虫の誘因状況の実証により、肥料が誘因物とならないことが判明した。このことにより、使用する肥料の制限がなくなった。 ・有害鳥獣被害防止対策は、既存の防止対策の他に、猿のルートセンサスや被害状況調査をおこない、被害状況の把握をおこなった。令和５年度については、GPSによる詳細なルートセンサスの解明と大型捕獲檻による個体数の削減を実施する。 ・荒廃竹林の整備については、町内で２箇所0.3haの竹林整備をおこなった。また、森林組合に、他の竹林の調査も依頼している。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・エゴマの販路拡大への支援についても研究すること。 ・有害鳥獣対策について、引き続き捕獲・防御・追払いの３施策を推進すること。

評　価	最終評価（町長）
A	・一次評価に加えて、本町の農林水産業を持続可能なものとするため、不可欠となる新たな所得対策と担い手確保対策を検討すること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０７	**農林水産業の振興**	P50～52	**産業振興課**

施策の方針	新たな就労者の確保や作業の効率化、生産基盤の保全などを進め、持続可能な農林水産業の確立を目指します。
施策の方向性	・農業の高付加価値化の推進 ・農業基盤の整備・保全 ・林業の振興 ・水産業の振興 ・担い手の確保・育成

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
新たな森林管理システム実施面積【累計値】（単位：ヘクタール）	目標値	10	15	20	25	30
	実績値	2	0			
	達成率	20%	0%	%	%	%
新規就農者数【単年度値】（単位：人）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	2			
	達成率	0%	200.0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
	・新たな森林管理システムは、令和４年度については、実施面積はないが、森林組合と精査をした結果、三島地区（中学校裏）の森林を選定し、現在、地権者や現地確認をおこなっている。調査結果は、６月末に提出され、提出後は地権者との折衝を実施していく。 ・新規就農者については、地域おこし協力隊から、エゴマによる自営就農が１名、親からの承継による畜産就農が１名、合計２名の新規就農者が確保ができている。今後は、コロナ過の終了により、都市圏での就農フェアー等に参加をおこない、更なる新規就農者確保をおこなう。
評　価	**一次評価（副町長、教育長、総務課長）**
評　価	**最終評価（町長）**

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業の高付加価値化の推進	1/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 循環型農業・有機農業の推進	R3	・土づくり育成事業の実施 ・環境保全型農業直接支払事業の実施 【予算】 2,600 千円 【決算】 2,350 千円	B	土づくり育成補助金は、有機堆肥への補助をおこなっており、有機農業の推進を図っている。 環境保全型農業直接支払事業は、化学合成農薬を５割以上、低減している農家へ補助しており、循環型農業の推進を図っている。
	R4	・土づくり技術導入補助金の交付 ・環境保全型農業直接支援対策交付金の交付 【予算】 2,610 千円 【決算】 1,969 千円	B	取組の実施により有機農業へ取り組んでいる営農団体もいることから、有機農業の維持に寄与する取組であり、継続することが重要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 水田農業の振興	R3	・経営所得安定対策等推進事業の実施 ・特別栽培米生産拡大事業の実施 【予算】 1,362 千円 【決算】 1,362 千円	B	水田農業の推進を図るため、経営所得安定対策推進事業の活用をおこなった。 また、JAが推進する特色のある米づくりの推進の一翼であるハーブ米の栽培に対して、補助をおこなった。
	R4	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,162 千円 【決算】 1,150 千円	B	取組が町内全体の水田活用状況の把握や、水田活用の支援等へとつながっており、水田農業の振興のために継続して実施する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ エゴマの高品質化の推進	R3	・奨励作物拡大支援補助金 ・島根県と連携した圃場確認 ・モンオビヒメヨトウ対策に伴う島根県農業技術センターとの共同施策（令和4年度実証圃設置） 【予算】 12,500 千円 【決算】 8,265 千円	B	県の専門機関と連携し、高品質化・高収量を目的に、害虫対策を協議してきた。その結果、令和４年度で、実証圃の検証をおこなっている。
	R4	・奨励作物拡大支援補助金の交付 ・エゴマ害虫防除実証ほ業務の実施 【予算】 12,720 千円 【決算】 7,741 千円	B	補助金はエゴマ生産を支える重要な制度であり、継続は必須。 また実証ほ業務の実施により、害虫防除に関する一定の知見を得られた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業の高付加価値化の推進	2/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 畜産の振興	R3	・畜産予防注射補助事業 ・繁殖雌牛更新補助事業 【予算】 450 千円 【決算】 207 千円	B	町内の畜産農家に対して、補助をおこなった。 また、令和４年度に新規就農者を目指す、若手畜産家と就農相談をおこない、新規就農支援をおこなった。
	R4	・畜産予防注射補助事業 ・繁殖雌牛更新補助事業 【予算】 450 千円 【決算】 401 千円	B	町内の畜産農家に対して、支援をおこなうことは必要である。 また、若手畜産家と経営相談をおこない、新規就農支援をおこなった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ エゴマと他産品のコラボレーション商品の開発の推進	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和４年度において、コラボレーションできる商品の調査予定。
	R4	えごま鴨だしラーメンの販売（民間事業者により実施） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	民間事業者を中心に新たな商品開発が実施された。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業基盤の整備・保全	3/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 農地の保全・管理の推進	R3	・中山間直接支払事業補助金 ・多面的機能支払交付金事業 【予算】 33,862 千円 【決算】 32,192 千円	B	多面的機能支払交付金事業については、町内１０団体の一元化を図り、広域化することにより事務の簡素化及び新たな事業への取組が行われた。
	R4	・中山間地域等直接支払交付金 ・多面的機能支払交付金 【予算】 33,837 千円 【決算】 33,444 千円	B	取組によって25集落組織が農地の保全・管理を実施している。農地の保全・管理推進のため、継続して実施することが重要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 先進技術を活用した省力化の推進	R3	・農業経営安定支援事業 ・三原地区３法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 314 千円 【決算】 314 千円	A	三原地区の農事組合法人の３法人の連携により、ドローンの共同防除が本格始動となった。内容精査の結果、従来の作業と比較すると約６割減の省力化が図れた。
	R4	・三原地区３法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	昨年度と同様に、３法人連携により、ドローンの共同防除を実施した。令和４年度において、若手オペレーターが１名増え、またT10のドローンを購入し、2台体制により、３法人以外の外部農地への防除も実施する運びとなった。担い手不在集落への支援等を視野にいれた支援が必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 農地・農業施用設整備の推進	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和３年度において、ハウス等の希望者がいなかったが、幅広く調査した結果、ハウス希望者１名、牛舎希望者１名があり、令和４年度において、支援予定である。
	R4	－ 【予算】 6,600 千円 【決算】 0 千円	B	認定新規就農者が、ハウスを設置予定であったが、資材価格にお高騰により断念している。令和５年度については、新規就農者が牛舎を建設予定であり、引き続き支援をおこなう必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業基盤の整備・保全	4/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 鳥獣被害対策の推進	R3	有害鳥獣対策事業の実施 【予算】 6,232 千円 【決算】 6,073 千円	A	有害鳥獣被害防止の対策として、電気柵等の補助をおこなっているとともに、有害鳥獣被害に強い作物（ピーマン）の推進もJAと協働しておこなった。
	R4	有害鳥獣対策事業の実施 【予算】 8,520 千円 【決算】 8,514 千円	B	有害鳥獣被害防止の対策として、既存事業の支援とともに、猿のルートセンサスや各地域の被害状況調査をおこない、町内の被害状況の把握をおこなった。それらを基に、令和５年度については、GPSによる詳細なルートセンサスの解明と大型捕獲檻による個体数の削減を実施するため継続して支援が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	林業の振興	5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 循環林業を目指した森林計画の再構築	R3	森林経営管理法に基づく森林施業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	谷戸地区において、初めて森林経営管理法に基づき、2haの森林施業をおこなった。今後においても、類似森林の掘り起こしを森林組合とおこなっている。
	R4	森林経営管理法に基づく森林施業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	森林組合と対象地域を調査した結果、三島地区（中学校裏山）を選定調査森林とし、令和5年6月末までに調査結果が出される予定であり、その後において、施業をおこなう予定。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 作業道の整備	R3	森林組合との作業道の選定 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	また、町内の森林団地を精査し、搬出・販売を視野に入れた、作業道の修繕箇所の選定をおこない、令和4年度に予算計上をおこなっている
	R4	森林組合との作業道の選定 【予算】 400 千円 【決算】 400 千円	B	町内の森林団地を、森林組合と現地確認をおこない、作業道（多田・円山）の修繕をおこなった。 今後も、森林組合を協働しながら、森林施業に不可欠な路網整備を推進していく必要がある。
	R5	4 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	水産業の振興	6/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 江川漁業協同組合の支援	R3	・江川漁業振興協議会負担金 【予算】 46 千円 【決算】 46 千円	B	江川漁業への負担金
	R4	・江川漁業振興協議会負担金 ・親魚養成事業負担金 【予算】 692 千円 【決算】 692 千円	B	江川漁業への負担金 江の川沿線の市町村が、鮎の親魚の養成の支援をおこなっている。江の川の資源環境の向上に向けた、広域的な取り組みと考えるため、継続して支援が必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	担い手の確保・育成	7/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 多様な就業モデルの構築	R3	地域おこし協力隊就農プランの作成 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	エゴマによる就農プランを作成し、地域起こし協力隊を募ったところ１名の募集があり、体験研修をおこなったが辞退となった。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	コロナ過により、都市圏の就農フェアー等に参加することができず、地域おこし協力隊の募集をおこなうことができなかった。しかし、コロナ過が終了したことにより、就農フェアーに参加をおこない、新規就農者の確保をおこなう予定である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 新規農業者、認定農業者の確保・育成	R3	・既存地域おこし協力隊及び新規就農者の就農支援 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	既存の地域起こし協力隊が令和４年３月で終了するにあたり、就農相談を毎週おこない、令和４年度には新規就農者のなった。また、親から承継予定の畜産農家の担い手と毎週、就農相談をおこない、令和４年度には新規就農者となった。
	R4	・新規就農者への営農相談及び支援 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和４年度は、２名の新規就農者を確保しており、今後の営農相談等を定期的に関係機関（島根県）とおこなった。畜産の新規就農者については、定期的に関係機関と営農相談会を開催し、令和５年度に牛舎の増築をおこなう予定となった。今後も、新規就農者を伴走支援をしていく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 農業経営サポート体制の強化	R3	・三原地区３法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	三原地区の農事組合法人の３法人の連携により、ドローンの共同防除が本格始動となった。内容精査の結果、従来の作業と比較すると約６割減の省力化が図れた。
	R4	・三原地区３法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	昨年度と同様に、３法人連携により、ドローンの共同防除を実施した。令和４年度において、若手オペレーターが１名増え、またT10のドローンを購入し、2台体制により、外部の農地への防除も実施する運びとなった。しかし、美郷町のような「農業経営サポート体制」を構築していくことは、更なる検討が必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０７	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	担い手の確保・育成	8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 利用権設定農地の確保	R3	・農地中間管理機構事業人件費（会計年度職員） 【予算】 2,516 千円 【決算】 2,516 千円	B	農地中間管理機構と連携した、利用権設定の推進による農地確保を図った。
	R4	・農地中間管理機構事業人件費（会計年度職員） 【予算】 2,628 千円 【決算】 2,628 千円	B	農地中間管理機構と連携し、利用権設定の推進による農地確保を図った。農地の保全・管理、また荒廃農地の削減を図る上で、必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
０８	**商工業・サービス業の振興**	P54～55	**産業振興課**

施策の方針	町民の暮らしを支える商工業・サービス業を維持し、生活利便機能と雇用の維持、町の拠点エリアの魅力向上を図ります。
施策の方向性	・地元事業者への支援の充実 ・新たなサービス業の振興 ・町の拠点エリアの魅力向上

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の起業件数（令和3年度からの累計値） 【累計値】（単位：件）	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1			
	達成率	100%	33.3%	%	%	%
弓市地区での起業・開業者数（令和3年度からの累計値） 【累計値】（単位：件）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	1	1			
	達成率	100%	50.0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・新規はなかったものの、地域おこし協力隊員(現役、卒業者ともに)による起業が見込まれている。交付金を活用した補助金、起業・創業に関する支援策、県によるセミナー等の周知を行い、確実な起業に結びつける。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・地域おこし協力隊員の確保と卒業後の町内起業に向け、相談・支援に取り組むこと。 ・第三者承継を含め、町内事業者の事業維持・継続に向け、事業承継についても注力し取り組むこと。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０８	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	地元事業者への支援の充実	1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 事業者の経営安定支援	R3	・小規模事業者経営改善資金利子補給金交付 (25件) ・災害対策特別資金利子補給(4件) 【予算】 1,200 千円 【決算】 693 千円	B	・融資の償還を行う事業者の経営安定の一助となっている。
	R4	・小規模事業者経営改善資金利子補給金交付(18件) ・災害対策特別資金利子補給(4件) 【予算】 906 千円 【決算】 686 千円	B	・償還を行う事業者の経営安定の一助となっている
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 事業承継の支援	R3	・川本町商工会との協議 ・島根県との協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内事業所の減少対策として引き続き実態把握と対策に取り組む。
	R4	・川本町事業承継推進協議会への参画 ・島根県、引継ぎセンターとの協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・島根県、商工会と連携し支援制度の周知等に引き続き取り組む
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 商店街の振興	R3	・かわもと景気回復応援券の発行（新型コロナ） 発行数：63,620枚（3,181部） 利用実績：62,542枚（98.3%） 【予算】 29,976 千円 【決算】 31,271 千円	B	・交付金を活用した消費喚起策となった。 ・商工会と連携した振興策に取り組む。
	R4	・かわもと景気回復応援券の配布【新型コロナ】 配布額：42,857,000円 利用実績額：41,600,500円（97.0%） ・電子決済普及事業【新型コロナ】 まげなポイント利用額：13,051,008円 【予算】 73,386 千円 【決算】 72,872 千円	B	・交付金を活用した消費喚起となった ・引き続き商工会と連携した振興策に取り組む
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０８	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興	2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・福祉事業及び健康関連産業の育成	R3	・医療、介護事業者の実態ニーズ把握方法の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・医療・介護事業者の実態を把握し、需要ニーズ及び町内事業者との関わりを進める。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体な取り組みは行っていない
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② コミュニティビジネス開発支援	R3	・地域商業等支援事業 （移動販売開業補助：0件） 【予算】 4,614 千円 【決算】 4,614 千円	B	・買い物不便者の実態把握が必要。
	R4	・地域商業等支援事業（移動販売開業補助） 申請：0件 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・引き続き補助制度の活用により起業、開業の支援を行う
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 事業者の相談支援体制の強化	R3	・商工会を中心とした事業者の窓口対応。 【予算】 5,285 千円 【決算】 5,285 千円	B	・商工会と連携した事業者の相談対応。 ・商工会との定期的な情報共有。
	R4	・商工会を中心とした事業者の窓口対応 【予算】 5,220 千円 【決算】 5,220 千円	B	・商工会と定期的な協議の場を持ち情報共有を行う
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０８	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興	3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 特定地域づくり事業協同組合の運営支援	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・組合設立について検討を進めたが、事業者へのヒアリング等から現時点では需要が乏しいため設立を見送った。 ・国や県等と情報交換を行いながら引き続き検討を進める。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度に続き全国や近隣の導入事例を見ながら検討を進めたが、事業者ニーズが不足している等の理由から導入には至っていない。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０８	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興	4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 空き店舗対策の充実	R3	・商工会による空き店舗データーベースＨＰ「つながる、かわもと」の運営 空き店舗掲載件数：4件 【予算】 3,870 千円 【決算】 1,964 千円	B	・空き店舗を活用した進出事業者の情報収集。 ・新たな活用可能な空き店舗の把握。
	R4	・商工会による空き店舗データーベースＨＰ「つながる、かわもと」の運営 空き店舗掲載件数：4件 ・商工会を窓口とした空き店舗相談対応 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・新たな活用可能空き店舗の把握
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 旧JR石見川本駅周辺の利活用の検討	R3	・観光協会によるレールバイクイベント等の実施 ・交流人口拡大推進事業補助金（かわもと暮らし） 【予算】 26,500 千円 【決算】 19,210 千円	B	・イベント実施による賑わい創出。
	R4	・観光協会による駅活用イベントの実施 ・交流人口拡大推進事業補助金（かわもと暮らし） 【予算】 15,050 千円 【決算】 15,050 千円	B	・継続的なイベント実施による賑わい創出
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ まちの魅力化助成の導入	R3	・レールバイクイベントへの高校生スタッフの参加。 ・弓市ストアの開催。 【予算】 950 千円 【決算】 950 千円	B	・商店街、駅舎等を活用したイベント実施者の発掘。 ・イベント実施に対する助成制度の検討。
	R4	・レールバイク、アウトドアイベント、イルミネーション点灯式への高校生スタッフの参加 【予算】 950 千円 【決算】 950 千円	B	・商店街との関わり方の検討。 ・助成制度の検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
０９	**経済循環の向上**	P56～57

主担当課
産業振興課

施策の方針	域内経済の活性化を図るため、町内消費者や事業所・施設などによる町内調達を推進し、町内での商取引の拡大促進を図るとともに、町内産品の町外への販売促進を図り、経済循環を高めます。
施策の方向性	・地元事業者への支援の充実 ・新たなサービス業の振興 ・町の拠点エリアの魅力向上

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
電子決済導入事業者（店舗）数【累計値】（単位：件）	目標値	20	60	70	75	80
	実績値	20	61			
	達成率	100%	101.7%	%	%	%
道の駅への新規出荷組合員数【累計値】（単位：人）	目標値	1	1	1	1	3
	実績値	2	3			
	達成率	200%	300.0%	%	%	%
道の駅かわもとの売上高【単年度値】（単位：百万円）	目標値	152.8	152.8	152.8	168.1	183.4
	実績値	139.3	151.4			
	達成率	91.16%	99.1%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・交付金を活用した事業の影響もあり電子決済を導入した事業者は目標値に届いた。 ・道の駅の売上は計画策定時の数値に近づいており、次年度以降も更なる増加を目指し、施設の魅力向上となる取り組みを行い来店者増を図る。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・電子決済普及事業では、町外の方を対象としたポイント利用の普及についても検討すること。 ・お土産の新商品開発にむけた、具体的な計画をたてること。

評　価	最終評価（町長）
B	・地域経済の循環性を一層高めることにより、地域外から付加価値を呼び込み、地域内の付加価値の創出につながるような取り組みを検討すること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０９	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	医療機関を中心とする経済循環の強化	1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・介護関連物資の町内調達の強化	R3	・町内調達に関する実態把握調査方法の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・調査を実施し現状の把握が必要。
	R4	・実態把握、調査方法の検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・関連施設における実態と対応可能策の検討
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町内事業者の共同受注の仕組みの構築	R3	・町内調達に関する実態把握調査方法の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・調査を実施し現状の把握が必要。
	R4	・商工会との協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内事業者の現状と動向の把握。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０９	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	道の駅を中心にした経済循環の拡大	2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域ブランドの発信拠点としての機能充実	R3	・SNS等を通じた情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・指定管理業者によるSNSによる情報発信。 ・道の駅店内表示(商品ポップ)の作成。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・新たな商品開発の検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 「道の駅」への出荷者の確保・育成	R3	・生産者出荷組合との意見交換。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・指定管理者を交えた意見交換を行い、現状、ニーズの把握。
	R4	・生産者出荷組合との意見交換。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域農業再生協議会を通じた意見交換による活動の実施、検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０９	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	新たな経済循環の形成	3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 産業連関の把握	R3	・現状把握方法の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・商工会と連携した町内消費等の現状把握方法を検討する。
	R4	・商工会との協議。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・商工会と連携した町内消費等の現状把握方法を検討する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地産地消の推進	R3	・学校給食における町内調達率の調査実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・医療、福祉施設への調査を実施し、現状の把握が必要。
	R4	・実態把握、調査方法の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・関連施設における域内消費の実態把握を検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 観光における経済循環の向上	R3	・江の川流域広域観光連携推進協議会による誘客企画。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町ならではの体験プログラム等の開発。
	R4	・江の川流域広域観光連携推進協議会による誘客ツアー、いわみんの実施。 ・観光協会、各施設における電子決済導入。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・旧三江線、駅舎等を活用したイベント等の実施。 ・来訪者の消費喚起策の検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	０９	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	新たな経済循環の形成	4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 新しい物流の仕組みづくり	R3	・スクールバスを活用した出荷方法の実証実験（ピーマン） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・JA、生産者と連携した実証実験を実施。 ・農産物以外の商品、サービスの提供を検討する。 ・運送事業者との協議。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・継続的な実証事業の実施 ・ピーマン農家の出荷作業の効率化
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・企業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１０	**起業支援・企業誘致の推進**	P58～59	**産業振興課**

施策の方針	起業支援・町外からの企業誘致により、町に新たな力や人材を取り込み、新たな産業の育成を目指します。
施策の方向性	・起業支援の充実 ・企業誘致の推進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の起業件数（令和3年度からの累計値）【再掲】【累計値】（単位：件）	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1			
	達成率	100%	33.3%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	起業が見込まれる地域おこし協力隊の相談、支援に取り組み着実な起業に結びつける。 新たな起業者の発掘、企業の進出を促す制度や環境整備を検討する。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・地域おこし協力隊員の卒業後の町内起業に向け、相談・支援に取り組むこと。 ・地域おこし協力隊制度を活用した事業承継の取り組みについても検討すること。 ・誘致企業の雇用者増加にむけて広報等の支援を行うこと。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１０	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	起業支援の充実

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 弓市ビジネスチャレンジコンペティションの継続	R3	・既存事業者の事業継続に注力のため実施せず。 【予算】 152 千円 【決算】 0 千円	C	・新規起業者等の募集ではなく、既存事業者への支援、事業継続策を実施する。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	・具体な取り組みは行っていない
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 起業支援	R3	・しまね産業振興財団等による支援事業、セミナー等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業型地域おこし協力隊への継続的な支援、情報提供。
	R4	・しまね産業振興財団等による支援事業、セミナー等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業者となりうる人材の発掘と継続的な支援及び情報提供の実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 商工業担い手育成支援事業の強化	R3	・起業型地域おこし協力隊への支援。 【予算】 18,600 千円 【決算】 18,600 千円	B	・任期満了、卒業後の協力隊への継続的な関わり、情報提供。
	R4	・起業型地域おこし協力隊への支援 【予算】 13,966 千円 【決算】 13,966 千円	B	・任期満了後の隊員との継続的な関わり ・起業者となりうる人材の発掘
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１０	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	起業支援の充実	2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ コワーキングスペースの整備推進	R3	・物件の選定、整備等の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・コワーキングスペースに対するニーズ把握。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体な取り組みは行っていない
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 子ども達の起業マインドの養成	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体的取組は実施せず。 ・学びの場づくり、機会づくりの検討を進める。
	R4	・高校「まちごとキャンパス学習」による事業所体験。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業した事業者との継続的な関わりが必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１０	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	企業誘致の推進	3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 株式会社三協の関連企業の誘致の推進	R3	・三協との協議、情報共有の実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・三協のニーズ、必要な支援策等の検討。
	R4	・三協との協議、情報共有（広報紙の発行）。 ・植樹イベントの実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・継続的な協議、効果的な支援策の検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② IT系企業のサテライトオフィス等の誘致の推進	R3	・かわもとテレワークスペースOto-LaVoへの新規入居(1件) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・島根県等と連携した進出企業の把握。 ・サテライトオフィスに必要な物件選定、整備等の検討。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体な取り組みは行っていない
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ ターゲットを絞った誘致活動の推進	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体的取組は実施せず。 ・ターゲットとする業種の選定を進める。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体な取り組みは実施していない。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１０	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	企業誘致の推進	4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 誘致企業の人材確保支援	R3	・島根県人材育成コーディネーターとの協議。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・企業のニーズ把握。 ・県と連携した企業側への協力依頼。
	R4	・島根県人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・継続的なガイダンスの開催と参加呼びかけ。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 情報通信網の充実	R3	FTTH施設の維持管理。 【予算】 72,233 千円 【決算】 71,228 千円	B	・町内一円にFTTHが導入済みのため、現在は既存施設の維持管理が中心。 ・今後、最新の通信技術の導入の検討が必要。
	R4	・FTTH施設の維持管理。 【予算】 74,125 千円 【決算】 73,679 千円	B	・町内一円にFTTHが導入済みのため、現在は既存施設の維持管理が中心。 ・今後、最新の通信技術の導入の検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１１	**雇用機会の充実と安定**	P60～61

主担当課
産業振興課

施策の方針	事業者が人材を確保できるように支援するとともに、すべての人が働きやすく、活躍できるような就労環境の実現を目指します。
施策の方向性	・事業者の人材確保の支援 ・子育て世代が働きやすい環境づくり ・多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援 ・誰もがいきいき働ける職場づくり

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内企業ガイダンスへの参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	40	45	50	55
	実績値	0	62			
	達成率	－ %	155.0%	%	%	%
「かわもと暮らし」における就業相談件数 【単年度値】（単位：人）	目標値	10	10	15	15	20
	実績値	10	3			
	達成率	100%	30.0%	%	%	%
「夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業」申請件数 【累計値】（単位：件）	目標値	2	10	20	30	40
	実績値	2	4			
	達成率	100%	40.0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・町内企業ガイダンスの開催が、求職者と企業とのマッチング、高校生の将来的なＵターン就業機会の創出となった。 ・多様な就労について、就労者及び事業者への意識啓発に取り組む。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・事業者が人材を確保できるよう、島根県などと連携を図り、既存の取り組みの拡充を意識して継続すること。 ・学生への情報提供を強く意識した取り組みを継続すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１１	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	事業者の人材確保の支援	1/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高校生への町内就職情報等の提供	R3	・雇用促進協議会による会員事業所と進路指導教諭とのガイダンス実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・学校側への継続的なアプローチ。 ・中高生向け町内企業ガイダンスの実施計画。
	R4	・雇用促進協議会による企業と高校との意見交換会の開催。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・企業と学校をつなぐ場の提供。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 新規雇用促進や離職防止支援	R3	・企業人材確保育成支援事業(0件) 【予算】 500 千円 【決算】 0 千円	C	・事業者のニーズを把握し活用しやすい補助制度等の検討が必要。
	R4	・企業人材確保育成支援事業(1件) 【予算】 200 千円 【決算】 91 千円	C	・商工会と連携し、事業者のニーズを把握し活用しやすい補助制度等の検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 企業と連携した人材確保支援	R3	・人材確保コーディネーターとの協議。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・事業者のニーズ把握。 ・企業ガイダンス等の実施が必要。
	R4	・人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・継続的な企業ガイダンスの開催。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１１	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	子育て世代が働きやすい環境づくり	2/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 意識改革の推進	R3	・島根県等が主催するセミナー開催の周知。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・雇用促進協議会による継続的な取り組みが必要。
	R4	・島根県等が開催する研修、セミナー開催の周知。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・雇用促進協議会、商工会を通じて制度やセミナー開催等の周知、参加促進を図る。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 就業規則の改定に向けた支援	R3	・国や県制度、法律改正等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・商工会やハローワークと連携した事業者への継続的な情報発信。
	R4	・国や県制度、法律改正等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・商工会やハローワークと連携した事業者への継続的な情報発信。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１１	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援	3/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高齢者の再就職支援	R3	・ハローワーク求人情報の公開(町HP、雇用促進協議会HP) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ハローワーク等と連携した高齢者に特化した取り組みの検討が必要。
	R4	・ハローワーク求人情報の公開(町HP、雇用促進協議会HP) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ハローワーク等と連携し、高齢者の就労に対する意識や求職状況の把握が必要
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 事業者の意識啓発	R3	・県、技術校などの情報提供。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・高齢者雇用に関する制度、支援策等の情報収集。
	R4	・県、技術校などの情報提供。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・高齢者雇用に関する制度、支援策等の情報収集及び発信
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 事業者の意識啓発及び雇用支援	R3	・企業情報2021の発行 【予算】 30 千円 【決算】 30 千円	B	・雇用促進協議会への負担金支出。 ・雇用促進協議会による小中高生向け会員企業情報誌を発行。
	R4	・町内企業ガイダンスの開催 ・高校との意見交換会（雇用促進協議会） 【予算】 30 千円 【決算】 30 千円	B	・継続的な企業ガイダンスの開催。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１１	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援	4/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 相談体制の充実	R3	・相談体制の検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・他課、関係機関等と連携した体制づくりを進める。
	R4	・相談案件の把握。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・他課、関係機関等と連携した体制づくりの検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１１	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	誰もがいきいき働ける職場づくり	5/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ワークライフバランスの推進支援	R3	・雇用促進協議会を通じて会員事業所への情報提供。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・島根県や関係機関が実施するセミナー等を周知。
	R4	・雇用促進協議会を通じて会員事業所への情報提供。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・島根県や関係機関が実施するセミナー等を周知。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② テレワーク環境の整備支援	R3	・町内テレワークニーズの把握方法検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内事業所、施設等のテレワーク利用実態を把握する必要がある。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・具体な取り組みは行っていない
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１２	**結婚・子育て支援の充実**	P62～64

主担当課
健康福祉課

施策の方針	川本町で生まれ、育つ子ども達と育てる保護者が、川本で子育て出来て良かったと感じることができるように、きめ細かな子育て支援を進めます。
施策の方向性	・結婚・出産・子育てしやすい環境の充実 ・健やかに子育ちする環境の充実 ・地域で支える環境の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間出生者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	20	20	20	20	20
	実績値	16	16			
	達成率	80%	80.0%	%	%	%
保育所待機児童数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
	達成率	100%	100%	%	%	%
地域住民主体の子育て拠点施設の年間利用者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	250	250	300	350	400
	実績値	0	10			
	達成率	0%	4.0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	子育てしやすい環境の充実に向けて、経済的支援を継続しているほか、絵本のお届け事業の実施、令和５年度は新たに子育て支援アプリの導入、子どもの居場所づくりを展開するために子ども食堂実施予定の団体に補助を行う予定である。健やかに子育ちする環境、地域で支える環境の充実に向けて、今後も関係機関と連携して取り組む必要がある。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・移住や定住施策を関連付けた出生者数増加に向けて、全庁的な取り組みを行うこと。

評　価	最終評価（町長）
A	・移住や定住施策を関連付けた出生者数増加に向けて、経済的支援、及び中間支援組織のさらなる活用を視野に入れた、伴走型支援の充実に向けた取り組みを行うこと。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１２	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	結婚・出産・子育てしやすい環境の充実	1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 結婚支援の充実	R3	・しまね縁結びサポートセンターが実施する、マッチングサイト「しまコ」登録支援イベントへの広報協力 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・近隣市町での「しまコ」登録支援イベントの町内広報にも協力し、町内からも近隣市町への同イベントに参加実績あり。 ・民間事業者が実施するイベント補助はコロナ禍もあり活用なし。 ・引き続き縁結びサポートセンターと連携した広域での支援を行う。
	R4	・しまね縁結びサポートセンターが実施する、マッチングサイト「しまコ」登録支援イベントへの広報協力 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・近隣市町での「しまコ」登録支援イベントの町内広報にも協力し、町内からも近隣市町への同イベントに参加実績あり。 ・民間事業者が実施するイベント補助はコロナ禍もあり活用なし。 ・引き続き縁結びサポートセンターと連携した広域での支援を行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 妊娠、出産及び不妊への支援の充実	R3	・赤ちゃん訪問16件(対象児16名中) ・産後ケア事業　利用実人数5名 ・一般不妊治療費助成2件 ・特定不妊治療費助成3件 ・不育治療費用助成0件 ・男性不妊検査費助成0件 【予算】 2,186 千円 【決算】 955 千円	B	乳児の産後全数訪問を行うことで母子の健康状態を把握することができた。不妊治療に臨まれた結果妊娠された方もいるため、今後も不妊治療を受ける方に対して支援を継続する。
	R4	・妊婦一般健康診査費用14回分無料 ・産婦健康診査費用5,000円/回　実績24件 ・妊婦歯科健診　実績10件 ・赤ちゃん訪問16件(対象児16名中) ・産後ケア事業　利用実人数3名延6回 ・一般不妊治療費助成　1件 ・特定不妊治療費助成　2件 ・生殖補助医療費助成　1件 ・不育治療費用助成　0件 ・男性不妊検査費助成　0件 【予算】 5,017 千円 【決算】 1,969 千円	B	乳児の産後全数訪問を行うことで母子の健康状態を把握することができた。 令和４年度は不妊治療の制度も変わり新たに生殖補助医療費の助成も開始し、実績も１名あった。不妊治療に臨まれた結果妊娠された方もいるため、今後も不妊治療を受ける方に対して支援を継続する。 安心して妊娠・出産できる体制づくりとして、妊婦歯科健診や妊婦健診の助成も継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 保育サービスの充実	R3	・各保育所において、延長保育、一時保育、障がい児保育を実施 【予算】 2,686 千円 【決算】 2,056 千円	B	・様々なニーズに対応するため、各保育所において各種保育サービスを実施した。 ・地域交流活動事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。
	R4	・各保育所において、延長保育、一時保育、障がい児保育を実施 【予算】 1,970 千円 【決算】 2,708 千円	B	・様々なニーズに対応するため、各保育所において各種保育サービスを実施した。 ・地域交流活動事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１２	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	結婚・出産・子育てしやすい環境の充実	2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 経済的負担の軽減	R3	・保育料の完全無償化、完全給食事業 ・子ども医療費（高校卒業まで）の全額助成 【予算】 13,836 千円 【決算】 13,457 千円	B	・保育料の完全無償化、完全給食、子ども医療費の全額助成を継続して実施することにより、経済的負担軽減を図った。
	R4	・保育料の完全無償化、完全給食事業 ・子ども医療費（高校卒業まで）の全額助成 【予算】 22,496 千円 【決算】 21,581 千円	B	・保育料の完全無償化、完全給食、子ども医療費の全額助成を継続して実施することにより、経済的負担軽減を図った。 保育料の完全無償化（予算額11,528千円、決算額10,638千円） 完全給食（予算額2,338千円、決算額2,558千円） 子ども医療費の全額助成（予算額8,630千円、実績額8,385千円）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 乳幼児健診体制の充実	R3	・新生児聴覚検査費用無料化 ・産婦健康診査助成5,000/回 ・乳児一般健康診査費助成 ・乳幼児健診(集団)の実施/年6回 ・４歳児健診の実施 年2回 ・発達クリニックの実施年３回 【予算】 4,120 千円 【決算】 2,740 千円	B	・法に基づく健診以外に児の成長発達を確認するため2歳児、4歳児健診などを町独自で実施し、児の成長発達を確認し、支援が必要な子や家庭に対し関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要がある。
	R4	・新生児聴覚検査費用無料化 ・乳児一般健康診査費助成 ・乳幼児健診(集団)の実施/年6回 ・４歳児健診の実施 年2回 ・発達クリニックの実施年３回 【予算】 1,276 千円 【決算】 1,001 千円	B	・児の健診や発達クリニックにて児の発育・発達における異常の早期発見につながっている。 ・法に基づく健診以外に児の成長発達を確認するため2歳児、4歳児健診などを町独自で実施し、児の成長発達を確認し、支援が必要な子や家庭に対し関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 小児保健医療の充実	R3	採算性が困難な地域である川本町での医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院に財政的支援を実施 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	国の財政支援として、コロナ禍においても地域医療を支える不採算地域の公的病院等への基準単価が引き上げられたことにより、50,000千円の増額支援を行った。
	R4	採算性が困難な地域である川本町での医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院に財政的支援を実施 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	令和3年度同様、支援額を増額し財政支援を継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１２	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	健やかに子育ちする環境の充実	3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子どもの健康づくり	R3	・乳幼児相談の実施　令和3年度11回実施 ・歯科保健におけるフッ化物塗布、フッ素洗口の実施 【予算】 186 千円 【決算】 160 千円	B	・児の発育・発達における異常の早期発見や保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子の、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらえている。今後も内容の充実を図りながら継続していく。 ・むし歯予防において、早期からのフッ化物塗布が有効であるため、フッ化物塗布、フッ素洗口を無料化し、実施を推進している。
	R4	・乳幼児相談の実施　12回実施 ・小児生活習慣病予防教室　小・中学校実施 ・歯科保健におけるフッ化物塗布(3歳.4歳. 5歳以上の在宅児が対象)　実績22件 ・フッ素洗口の実施(保育所年中・年長) ・歯の健康教室（保育所）⇒中止 【予算】 274 千円 【決算】 118 千円	B	・出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらえている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。 ・むし歯予防において、早期からのフッ化物塗布が有効であることから、フッ化物塗布・洗口は実施を継続していく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 幼児教育環境の充実	R3	・保育所、学校、地域、保護者や関係機関と連携しながら、幼児教育事業の充実を図る。 【予算】 919 千円 【決算】 512 千円	B	町内３保育所で実施予定であった地域活動事業については、コロナの影響で中止となった。家庭での絵本の読み聞かせを通した親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学３年生までの子供に絵本を届けた。
	R4	・保育所、学校、地域、保護者や関係機関と連携しながら、幼児教育事業の充実を図る。 【予算】 327 千円 【決算】 231 千円	B	町内３保育所で実施予定であった地域活動事業については、昨年同様コロナの影響で中止となった。 家庭での絵本の読み聞かせを通した親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学３年生までの子供に絵本を届けた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 配慮を要する子どもや家族への支援の充実	R3	・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち） 【予算】 1,179 千円 【決算】 1,179 千円	B	・障がい者相談新事業により、相談体制の整備を行っている。 ・令和３年度に自立支援協議会に発達支援部会を設置し、関係機関が連携して、支援体制の充実を図り、気になるケースについて適宜電話や訪問で対応した。
	R4	・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち） 【予算】 1,355 千円 【決算】 1,355 千円	B	・障がい者相談新事業により、相談体制の整備を行っている。 ・令和３年度に自立支援協議会に発達支援部会を設置し、令和４年度は関係機関の支援者向け研修を行った。今後も連携した支援体制の充実を図ることとしている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１２	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	地域で支える環境の充実	4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子どもの居場所づくり	R3	放課後居場所づくりに加え、幼児も対象としたファミリーサポートセンター事業の実施に向けた体制整備を推進 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和３年度は具体的な取り組みは行えなかったが、令和４年度に子育て支援について民間グループとの協議を行う。
	R4	住民主体の子育て拠点整備のための取り組みの支援 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 子育て中の親子交流・相談の場づくり	R3	・乳幼児相談の実施　令和3年度11回実施 【予算】 90 千円 【決算】 80 千円	B	・児の発育・発達における異常の早期発見や保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子の、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらえている。今後も内容の充実を図りながら継続していく。
	R4	・乳幼児相談の実施　令和4年度12回実施 【予算】 274 千円 【決算】 118 千円	B	・出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらえている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域全体・全ての世代での子育て支援	R3	拠点施設を整備し、住民組織や医療機関等との連携を図ることにより子育て支援機能を充実。地域住民が主体的に運営に関わる仕組みを構築し、地域全体で支える環境づくりを推進。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和３年度は具体的な取り組みは行えなかったが、令和４年度に子育て支援について民間グループとの協議を行う。
	R4	住民組織や医療機関等との連携を図ることにより子育て支援機能を充実。地域住民が主体的に運営に関わる仕組みを構築し、地域全体で支える環境づくりを推進。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。 ・病児病後児保育等の具体的な取り組みについては、医療機関等と検討を継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１３	川本らしい学びの環境の充実	P66～68

主担当課
教育課

施策の方針	小学校、中学校、高校が１校ずつ町内にあるという特色を活かして、川本の子ども達の成長を地域全体で支えていく取り組みを進めていきます。
施策の方向性	・地域や社会に開かれた教育の推進 ・学ぶ意識の向上・確かな学力の育成 ・教育環境の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した児童の割合（小学生）【単年度値】（単位：%）	目標値	93.0	94.0	95.0	96.0	97.1
	実績値	88.0	93.0			
	達成率	94.6%	98.9%	%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（中学生）【単年度値】（単位：%）	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.2
	実績値	72.0	90.0			
	達成率	85.7%	105.9%	%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（高校生）【単年度値】（単位：%）	目標値	57.8	58.8	59.9	60.9	62.0
	実績値	66.0	68.3			
	達成率	114.2%	116.2%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	学校においては、ふるさと教育として、地域の方と一緒に行う活動内容を教育委員会及び派遣教育主事を交えて、工夫しながら取り組んでいる。また、かわもとあそラボを中心に、地域活動にもボランティアとして加わり多世代の交流を図っている。今後も、地域と学校、教育委員会とが連携していくことが必要である。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・学校運営協議会（コミュニティスクール）の導入に向けての取り組みを強化すること。 ・保小中高連携の取り組みについて、継続して推進すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１３	川本らしい学びの環境の充実	P66～68

主担当課
教育課

施策の方針	小学校、中学校、高校が１校ずつ町内にあるという特色を活かして、川本の子ども達の成長を地域全体で支えていく取り組みを進めていきます。
施策の方向性	・地域や社会に開かれた教育の推進 ・学ぶ意識の向上・確かな学力の育成 ・教育環境の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
情報を、勉強したことや知っていることと関連付けて理解していると回答した中央高校３年生の割合 【単年度値】（単位：%）	目標値	83.0	85.0	88.0	90.0	95.0
	実績値	74.7	79.1			
	達成率	90.0%	93.1%	%	%	%
小中学校に配置されたタブレット端末を学習活動に活用した日数の割合 【単年度値】（単位：%）	目標値	20	29	38	47	55
	実績値	46.5	74.5			
	達成率	232.5%	256.9%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
	学校、教育委員会と定期的に協議し、ＩＣＴ機器の利用促進を図っている。また、机の天板を拡張し、授業でのタブレット端末が使用しやすい環境整備を行った。学校においても、システムの研修会を行うなど、利用促進が図られている。ただし、小学校低学年は、タブレット活用よりも優先する指導が必要なため、活用が進んでいない状況にある。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）

評　価	最終評価（町長）

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	地域や社会に開かれた教育の推進	1/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備	R3	・第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。 ・第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保小中高、社会教育関係者と連携し育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。 ・今年度の目的である連携体制が構築できたため、今後は関係機関の連携に向けて協議を進めていく必要がある。
	R4	・第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築。 ・教育講演会の開催。 【予算】 65 千円 【決算】 65 千円	B	・保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。 ・学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、島根大学、鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域資源を活かした教育の推進	R3	・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校） ・かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名） ・川本町ふるさとカルタの作成（500セット） 【予算】 1,789 千円 【決算】 1,577 千円	B	・総合的な時間を生かして、小学校はエゴマの栽培を体験し、パワーポイント活用し取 り組みについてまとめ、他の学年に発表した。中学校は江川太鼓を体験し、文化祭や 老人ホームで披露した。 ・小学生を対象に、町内３カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や 中高校生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。 ・地域教材として、川本町の魅力（自然、文化・暮らし、歴史、観光）に関する事柄を 集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見す ることができる。
	R4	・総合的な時間を生かした地域学習の実施 （小中学校） ・かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全5回、延べ54名） ・川本町ふるさとカルタの販売数（260セット） 【予算】 900 千円 【決算】 497 千円	B	・総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、インタビューを行い、パンフレットを作成した。 ・小学生を対象に、町内4カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や大学生との交流し、関係性を作った。 ・川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動で実施するなど普及活動に努めた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 家庭教育支援の推進	R3	・K-POP（親子体験プログラム）（３回実施） 【予算】 104 千円 【決算】 75 千円	B	・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者同士で繋がり不安や疑問を解消する。
	R4	・K-POP（親子体験プログラム）（４回実施） 【予算】 112 千円 【決算】 112 千円	B	・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者同士で繋がり不安や疑問を解消する機会を提供できた。 また、新たに計画したプログラムを実施し、新たな人材の出番を創出することができた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	地域や社会に開かれた教育の推進	2/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ キャリア教育の充実	R3	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業計画及び予算措置 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域の大人と中学生とが１対１で対話することで「ふるさとを愛し、地域課題に当事者意識を持ち地域づくりに貢献する」人材の育成を図る目的の事業を令和４年度から開始するにあたり、予算措置に向けて必要な書類等を準備を進め、予算化した。
	R4	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 【予算】 891 千円 【決算】 891 千円	B	・川本中学校２、３年生と地域の大人が１対１での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域活動の参画支援	R3	・かわもとあそラボの取り組み支援 【予算】 2,231 千円 【決算】 2,231 千円	B	・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。
	R4	・かわもとあそラボの取り組み支援 【予算】 5,450 千円 【決算】 5,450 千円	B	・中高校生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成	3/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 基礎学力の育成	R3	・派遣指導主事1名の配置による学校支援。 ・英検ジュニアチャレンジ会（3回） ・英語検定、英検jr検定費用助成。 【予算】 2,995 千円 【決算】 2,446 千円	A	・児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。 ・英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数6名のうち3名は次のグレード（シルバー）の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。 ・次年度以降は、意欲ある子どもたちをさらに支援するために、幼児期から取り組める算数・数学検定や漢字検定を英語費用助成制度に加えることとし、支援を拡大する。
	R4	・「共に学び合う授業を目指して」校内研究会（学び合い研修」（3回） ・派遣指導主事1名の配置による学校支援 ・英検ジュニアチャレンジ会（3回） ・英語検定、算数・数学検定、漢字検定費用助成 ・算数・数学検定、漢字検定会場設置 ・英検jr検定費用助成 ・学力育成会議の設置・運営 【予算】 3,587 千円 【決算】 2,923 千円	B	・児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。 ・英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数15名のうち11名は次のグレード（シルバー）の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。 ・「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」21名、「漢字検定」39名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、学ぶ意欲のある町民に対して、事前学習や検定料助成を検討する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 保小中高の連続性を意識した学力向上の推進【教育】	R3	・第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。 ・第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。 【予算】 480 千円 【決算】 0 千円	B	・保小中高、社会教育関係者と連携し、育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。 ・学び合い学習に伴う研修を3回実施する予定であったが、新型コロナ感染症拡大防止のため未実施となった。
	R4	・第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築。 ・教育講演会の開催。 【予算】 65 千円 【決算】 65 千円	B	・保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。 ・学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、島根大学教授と鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 魅力ある高校カリキュラムの構築	R3	ふるさと学、まちごとキャンパス学習など地域や民間企業の協力のもと実施。ふるさと学においては、令和３年度は実施場所を川本町内に固定せず、美郷町の地域や民間企業に協力により実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域や民間企業などと協働した授業を実施 コンソーシアム協働チームによる令和５年度入学者からスタートするカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・地域の特性を活かした魅力あるカリキュラム構築に向け、継続して取り組みを実施。
	R4	ふるさと学、まちごとキャンパス学習など地域や民間企業の協力のもと実施。ふるさと学においては、令和４年度も引き続き実施場所を川本町内に固定せず、美郷町の地域や民間企業に協力により実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域の特性を活かした魅力あるカリキュラム構築に向け、継続して取り組みを実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成	4/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 心身の健康づくりと体力の向上	R3	・子育てサポートセンターでの体験活動 ・スポーツ講演会の開催 ・カヌー体験教室の開催 【予算】 226 千円 【決算】 226 千円	B	・12月に、侍ジャパンの清水コーチを招いて講演会を実施。（参加者：140名） ・2030島根国体に向けたジュニア育成事業としてカヌー体験教室を開催（参加者：17名） 引き続き、体力向上に向けて事業の実施が必要である。
	R4	・子育てサポートセンターでの体験活動 ・スポーツ講演会の開催 ・スポレク広場の開催 【予算】 273 千円 【決算】 265 千円	B	・子育てサポートセンターで、小学校低学年を対象に運動教室を3回実施。（参加者：延べ24名） ・３月に、スポーツ講演会として、バスケットボール選手を招いて実施。（体験会参加者33名） ・KSCを中心に、スポレク広場を開催し、クラブやニュースポーツの普及活動を行った。（参加者75名）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 部活動の魅力化	R3	・部活動地域指導者活用支援事業。 ・中学校部活動遠征費補助事業。 【予算】 641 千円 【決算】 528 千円	B	・吹奏楽部では、地域の指導者を招聘して演奏指導等を受けた。外部指導者を積極的に活用していくため、中学校と連携して方向性を検討する体制を構築する必要がある。
	R4	・部活動地域指導者活用支援事業 ・中学校部活動遠征費補助事業 【予算】 2,334 千円 【決算】 2,171 千円	B	・吹奏楽部では、地域の指導者を招聘して演奏指導等を受け、第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会（中学校A部門）出場することができた。また、バレー部も、新たに地域の指導者を招聘して指導等を受けた。外部指導者を積極的に活用していくため、中学校と連携して方向性を検討する体制を構築する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 大学連携の推進	R3	・実施可能な大学との協働事業などについて検討 ・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	実施可能な大学との協働事業について検討。 島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R4	・実施可能な大学との協働事業などについて検討 ・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	実施可能な大学との協働事業について検討。 島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成	5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
⑦ 外国語に親しむ環境づくり	R3	・英検ジュニア検定助成と英検ジュニアチャレンジ会の実施(3回) ・英語検定助成制度の活用 ・外国語指導助手(ALT)2名配置 【予算】 10,780 千円 【決算】 10,392 千円	B	・川本小学校に在籍する児童を対象に、英語力および学習意欲の向上を推進するため、 検定助成を実施。また、講師によるチャレンジ会(無料学習会)を３回開催し、希望者 に対して、学習の仕方や出題のポイントなどを学ぶ機会を提供した。 ※参加者6名(ブロンズ4名、ゴールド2名) ・川本小・中学校の児童生徒、町内在住の高校生を対象に英語検定助成を実施した。対 象者には学校を通じて申請書類を送付し、周知を徹底した。小・中学校の児童生徒は 合否について確認しているが、高校生についても合否を確認するよう手法を検討する 必要がある。 ※助成者87名(中学生68名、高校生19名) ・ALT2名(小・中学校各1名)を児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に 配置。ALTは、児童生徒が英会話に触れる機会を増やすため、コミュニケーションを 積極的に行い、児童生徒の外国語能力向上を図った。
	R4	・英検ジュニア検定助成と英検ジュニアチャレンジ会の実施(3回) ・英語検定助成制度の活用 ・外国語指導助手(ALT)2名配置 【予算】 11,584 千円 【決算】 10,164 千円	A	・川本小学校に在籍する児童を対象に、英語力および学習意欲の向上を推進するため、検定助成を実施。また、講師によるチャレンジ会(無料学習会)を３回開催し、希望者に対して、学習の仕方や出題のポイントなどを学ぶ機会を提供した。 ※参加者15名(ブロンズ13名、シルバー2名) ・川本小・中学校の児童生徒、町内在住の高校生を対象に英語検定助成を実施した。対象者には学校を通じて申請書類を送付し、周知を徹底した。小・中学校の児童生徒は合否を確認しているが、高校生の合否を確認するための手法の検討が必要である。 ※助成者81名(中学生57名、高校生24名) ・ALT2名(小・中学校各1名)を児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に配置。ALTは、児童生徒が英会話に触れる機会を増やすため、コミュニケーションをとっている。児童生徒の外国語能力向上を図るために、地域で外国語に触れる機会の創出を図りたい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実	6/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 教職員の資質向上（人材育成）	R3	・小中学校教職員合同研修会（8月） 【予算】 100 千円 【決算】 44 千円	B	・小中学校の教職員を対象に教育委員会主催の研修会を実施しており、令和3年度は「子どもを支えるということ/保護者を支えるということ」についての研修を実施した。 ・今回は、保育所、高校からも参加があり、研修終了後にアンケートをとり、研修テーマの要望などを確認した。 ・小中学校で同じ課題に向き合う良い機会であるので、今後も継続して取り組みたい。
	R4	・小中学校教職員合同研修会（8月） 【予算】 100 千円 【決算】 43 千円	B	・小中学校の教職員を対象に教育委員会主催の研修会を実施しており、今年度は「通常学級にいる「気になる子どもたち」-その発達的理解と教育指導」についての研修を実施した。 ・コロナ対策として、オンラインでの開催となったが、保育所、高校からも参加があり、教育関係者で同じ研修を受ける機会をもてた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 学びを支える指導体制の充実【教育】	R3	■小学校：学習支援員3名、生活支援員1名、 理科観察実験支援員1名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■中学校：学習支援員3名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■小中学校：ICT支援員1名 【予算】 26,636 千円 【決算】 24,692 千円	A	・支援員の配置によって担任のサポートや児童1人1人へのきめ細かな対応が可能となっている。特別支援学級の児童の支援や介助にあたる生活支援員の役割は大変重要である。また、スクール・サポート・スタッフを配置し、学習プリントの印刷・配布準備などを支援員が担うことで、きめ細やかな指導や教材研究等に注力できる指導体制づくりを図った。 ・中学校では教科担任と学習支援員が連携をとりながら、個々の学習支援と教員のサポートにあたっている。また、学級に入りづらい生徒の対応にあたる場面もある。生徒の基礎的・基本的な学習の定着と充実を図るため、現在の体制を継続したい。 ・教職員のＩＣＴ活用サポートを推進するため、小中学校にＩＣＴ支援員を配置し、事前準備や後片付け、校内で使用するシステム作成により教員をサポートし、教職員の負担軽減を図った。
	R4	■小学校：学習支援員3名、生活支援員2名 理科観察実験支援員1名、 スクール・サポート・スタッフ1名 ■中学校：学習支援員3名、 スクール・サポート・スタッフ1名 ■小中学校：ICT支援員1名 【予算】 28,725 千円 【決算】 27,227 千円	A	・支援員の配置によって担任のサポートや児童1人1人へのきめ細かな対応が可能となっており、きめ細やかな指導や教材研究等に注力できる指導体制づくりが図れた。 ・教職員のＩＣＴ活用サポートを推進するため、ＩＣＴ支援員を1名配置しているが、ＩＣＴ機器の活用促進を図るためには、大変重要な役割となっており、小中学校にそれぞれ1名配置が望ましい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実	7/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
③ 高校の寄宿舎環境の充実	R3	・寮専属コーディネーターの配置（２名） ・感染症対策及び生活環境の向上として、トイレ改修（洋式化）の実施 【予算】 97,827 千円 【決算】 94,027 千円	B	・生徒の成長と生活を支えるための、専任職員配置と施設環境改善を実施。 ・学習交流センター、まちごと魅力化センター合計79名の寄宿生を受入。 ・寄宿舎の魅力向上に向け、寄宿舎生活を通じ生活力、コミュニケーション能力の向上や地域との交流場面の創出に向けた取り組みを実施。
	R4	・寮専属コーディネーターの配置（２名） ・ICT機能の充実として学習交流センター・魅力化センターともにWIFI機器を導入 ・学習交流センターに自転車小屋を設置 【予算】 80,249 千円 【決算】 78,369 千円	B	・生徒の成長と生活を支えるための、専任職員配置と施設環境改善を実施。 ・学習交流センター、まちごと魅力化センター合計６８名の寄宿生を受入。 ・寄宿舎の魅力向上に向け、寄宿舎生活を通じ生活力、コミュニケーション能力の向上や地域との交流場面の創出に向けた取り組みを実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
④ 児童・生徒の通学環境の充実	R3	・通学路安全点検（5月）、通学路安全推進会議（9月）。 ・スクールバス運行。 【予算】 31,449 千円 【決算】 29,720 千円	B	・登下校に利用する通学路を児童と関係機関が確認、対応策の検討をすることで、児童生徒が安心安全に登下校することにつながっており、今後も継続していきたい。 ・小中学校児童生徒、高校生が安心してスクールバスを利用できるよう、学校の意向を反映した時刻表づくり、運転手の管理、委託業者との調整を継続していく必要がある。
	R4	・通学路安全点検（5月）、通学路安全推進会議（9月）。 ・スクールバス運行。 【予算】 31,376 千円 【決算】 30,011 千円	B	・登下校に利用する通学路を児童と関係機関が確認、対応策を検討・実施することで、児童生徒の通学環境の改善を図っている。 ・小中学校児童生徒、高校生が安心してスクールバスを利用できるよう学校、乗務員と情報を共有し、改善を進めている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域支援体制の充実	R3	・県外から入学した高校生76名を61世帯のまち親を配置。 ・交流機会の場として12月6日まち親交流会を実施（3年生限定で実施） 【予算】 35 千円 【決算】 27 千円	B	令和３年度県外からの入学生のおいても、全てにまち親の配置を実施。 コロナの影響で会場の密を避けるため、まち親交流会は３年生限定で実施。 まち親や地域との交流機会の増加が、川本への愛着増につながる事から、高校後援会が主催とした、まち親との交流場面創出に取り組む。
	R4	・県外から入学した高校生20名を16世帯のまち親を配置。 ・交流機会の場として①12月21日（3年生）、②2月3日（1,2年生）まち親交流会を実施 【予算】 35 千円 【決算】 28 千円	B	令和4年度県外からの入学生においても、すべてにまち親の配置を実施。 コロナの影響で会場の密を避けるため、まち親交流会は3年生と1,2年生で日にちを分けて実施。 まち親や地域との交流機会の増加が、川本への愛着増につながる事から、コンソーシアムが主催とした、まち親との交流場面創出に取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１３	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実	8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
⑥ 学校危機管理対策の充実	R3	・川本町立学校の緊急時の防災基準の作成。 ・川本町スクールサポートセンター担当者会 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水の警報が発令されたときの休校や登下校時間の変更等の措置の判断基準を定め、学校と共有した。 ・総務財政課職員や教育委員会職員を講師に、水害時の避難所運営、感染症対策などについて、町の方針等を小中学校の教頭、事務職員、教育委員会で構成する川本町スクールサポートセンター担当者会において情報共有し、学校における対応策を検討した。
	R4	・川本町スクールサポートセンター担当者会 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・総務財政課職員や教育委員会職員を講師に、水害時の避難所運営、教職における異物混入対応などについて、町の方針等を小中学校の教頭、事務職員、教育委員会で構成する川本町スクールサポートセンター担当者会において情報共有し、学校における対応策を検討した。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑦ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	R3	・小中学校長寿命化調査。・教育情報化推進計画策定、実施。 ・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（1回）。 【予算】 3,367 千円 【決算】 3,373 千円	B	・小中学校を今後10年間使用していくうえでの修繕内容について調査を実施し、調査結果に基づいて修繕を実施する。 ・学校でのICT活用を推進していくために、教育情報化推進計画を策定し、学校に対して説明を実施した。学校においては、取組レベル指標を基に、進捗状況を確認している。 ・学校施設の建て替えを含めた今後の学校のあり方を検討していくため、検討委員会を設置し、検討委員会を開催した。令和5年2月を目途に答申をまとめていく。
	R4	・川本町立学校改修事業 ・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（3回） ・教育情報化推進計画の推進 【予算】 41,250 千円 【決算】 41,250 千円	B	・学校改修事業は、物価の高騰により全項目の改修が完了しなかった。 ・学校施設の建て替えを含めた学校のあり方を検討するため、学校視察、地域公聴会を行い、検討委員会において審議を進め、令和5年5月を目途に答申をまとめる。 ・ICT機器の有効活用を図るため、教育委員会、学校担当者において、教育情報化推進計画の見直しに進め、活用促進を図っている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１４	**学び続けられる環境の充実**	P70～72	**教育課**

施策の方針	子どものときから、高齢者になっても、主体的に活動し学び続けられる取り組みを進めて、いつまでもいきいきと暮らしていくことが出来る環境を充実させていきます。
施策の方向性	・社会教育の充実 ・文化活動等の充実・文化財の保護 ・生涯スポーツの推進 ・読書活動の充実 ・国際交流の促進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
公民館活動の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	400	450	500	550	600
	実績値	374	481			
	達成率	93.5%	106.9%	%	%	%
体力・運動能力調査の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	55	60	65	70	75
	実績値	50	34			
	達成率	90.9%	56.7%	%	%	%
読書の好きな子どもの割合 （小学生） 【単年度値】（単位：%）	目標値	85.0	88.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	83.0	86.0			
	達成率	97.6%	97.7%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・公民館活動の新規事業として、町内外から多彩な講師をお招きし、様々な角度から「美容」と「健康」をテーマに学ぶ講座を実施し、子育て世代のネットワーク（関係性）を築き、新たな人材の出番づくりを行うことができた。 ・体力、運動能力調査については、目標値より、低い数値になったが、参加される方は毎年、体力の状態（年齢等）や今後どの部分を鍛えればいいのかを把握することができ、満足度は高い状況にある。 ・ニュースポーツ体験として、「誰でもできる簡単なスポーツ」と「筋力トレーニング」をかけ合わせ実施した。事業の回数を増やすとともに、参加者も増え、日ごろから運動する習慣に結びつくことが期待できる。また、そこに参加した人を対象に測定会につなげる工夫が今後、必要となる。 ・読書に関しては、目標値に近い割合を示しており、引き続き、学校図書館司書とも連携を密にし、取り組みを進めていきたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・社会教育活動の充実、生涯スポーツの推進に取り組むこと。 ・各種事業の参加者増加に向けて、創意工夫して取り組むこと。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１４	**学び続けられる環境の充実**	P70～72	**教育課**

施策の方針	子どものときから、高齢者になっても、主体的に活動し学び続けられる取り組みを進めて、いつまでもいきいきと暮らしていくことが出来る環境を充実させていきます。
施策の方向性	・社会教育の充実 ・文化活動等の充実・文化財の保護 ・障害スポーツの推進 ・読書活動の充実 ・国際交流の促進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
読書の好きな子どもの割合 （中学生） 【単年度値】（単位：%）	目標値	83.0	84.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	88.0	71.0			
	達成率	106.0%	84.5%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
	・中学生になると勉学と部活動が本格的になり、読書をする時間がとれない現状ではあるが、学校図書館司書や生徒主体の委員会とも連携を図り、本の提供を含めて相談等に応じていきたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）

評　価	最終評価（町長）

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	社会教育の充実	1/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域づくりを担う人材育成	R3	・かわもと魅了化team定例会（月１回） ・かわもとあそラボの取り組み支援 【予算】 2,231 千円 【決算】 2,231 千円	A	・教育課、観光協会、かわもと暮らし、あそラボ、三原まちセンの担当者が集まり月１回定例会を開催し、各事業について内容の検討や振り返り等を行い、横断的に協力できる体制を構築している。 ・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。
	R4	・かわもと魅了化team定例会（月１回） ・かわもとあそラボの取り組み支援 【予算】 5,450 千円 【決算】 5,450 千円	B	・教育課、観光協会、かわもと暮らし、あそラボ、三原まちセンの担当者が集まり月１回定例会を開催し、各事業について内容の検討や振り返り等を行い連携した事業展開を図ることができている。 ・中高校生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域資源を活かした教育の推進	R3	・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校） ・かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名） ・川本町ふるさとカルタの作成（500セット） 【予算】 1,789 千円 【決算】 1,557 千円	B	・総合的な時間を生かして、小学校はエゴマの栽培を体験し、パワーポイント活用し取り組みについてまとめ、他の学年に発表した。中学校は江川太鼓を体験し、文化祭や老人ホームで披露した。 ・小学生を対象に、町内３カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や中高校生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。 ・地域教材として、川本町の魅力（自然、文化・暮らし、歴史、観光）に関する事柄を集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見することができる。
	R4	・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校） ・かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全5回、延べ54名） ・川本町ふるさとカルタの販売数（260セット） 【予算】 900 千円 【決算】 497 千円	B	・総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、インタビューを行い、パンフレットを作成した。 ・小学生を対象に、町内4カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や大学生との交流し、関係性を作った。 ・川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動で実施するなど普及活動に努めた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ キャリア教育の充実（再掲）	R3	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業計画及び予算措置 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域の大人と中学生とが１対１で対話することで「ふるさとを愛し、地域課題に当事者意識を持ち地域づくりに貢献する」人材の育成を図る目的の事業を令和４年度から開始するにあたり、予算措置に向けて必要な書類等を準備を進め、予算化した。
	R4	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 【予算】 891 千円 【決算】 891 千円	B	・川本中学校２、３年生と地域の大人が１対１での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	文化活動等の充実・文化財の保護	2/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 趣味や生きがいの場づくりと活動支援	R3	・悠々大学開講（全9回、延べ159名）　【中央公民館】 ・サロン事業の実施（全11回、延べ135名）　【西公民館】 ・三原まちセンマルシェの実施（来場者208名）【三原まちセン】 【予算】 563 千円　【決算】 275 千円	B	・50歳以上の町民を対象に趣味や教養に関する生涯学習の機会の提供。 ・西公民館区の特に男性をターゲットに西公民館を利用しやすいように健康づくりや介護予防、運動系事業を月１回実施した。 ・サークル活動団体の成果発表や子どもの遊び場の提供等地域のネットワークを生かし、出番づくりとリーダーの人材育成を図った。また、中高校生もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々と交流し関係性づくりを図った。
	R4	・悠々大学開講（全8回、延べ154名）【中央公民館】 ・美と健康講座（全6回、延べ118名）【三原＆西公民館】 ・三原まちセンマルシェの実施（2回、来場者235名）【三原まちセン】 【予算】 134 千円　【決算】 106 千円	B	・50歳以上の町民を対象に趣味や教養に関する生涯学習の機会の提供。 ・町内外から多彩な講師をお招きし、様々な角度から「美容」と「健康」をテーマに学ぶ講座を実施し、子育て世代のネットワーク（関係性）を築くことができた。 ・サークル活動団体の成果発表や子どもの遊び場の提供等地域のネットワークを生かし、出番づくりとリーダーの人材育成を図った。また、中高校生もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々と交流し関係性づくりを図った。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 郷土芸能・伝統文化などの継承	R3	・無観客配信収録（未実施） ・神楽展示への技術提供 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・新型コロナウイルス感染症の町内感染拡大により、実施が困難となった。 ・伝統芸能文化を継承するために、発表の場は必須であり町民が伝統芸能に触れる機会を提供していく必要がある。
	R4	・無観客配信収録　実施 【予算】 780 千円　【決算】 780 千円	B	・新型コロナウイルス感染症により活動を自粛された団体の発表の場を設ける。伝統芸能文化の継続と次世代育成のため、今後定期的な会館利用も考える必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 文化芸術鑑賞との参加の機会創出	R3	・映画鑑賞事業として「しまね映画祭」への参加、優秀映画鑑賞、悠邑名画シアターの再開。 ・ＮＨＫとの共催による公開収録の誘致。 ・他館との連携による大型公演の誘致。 【予算】 3,926 千円　【決算】 2,183 千円	B	・生の舞台で様々な芸術を鑑賞出来る施設として、より多くの文化芸術だけでなく、風土や町民性に寄り添った分野の鑑賞機会を創出することが必要。
	R4	・映画鑑賞事業として「しまね映画祭」への参加、優秀映画鑑賞、悠邑名画シアターの開催。 ・ＮＨＫのど自慢の誘致。 ・音楽座ミュージカル公演実施 【予算】 8,541 千円　【決算】 8,473 千円	B	・新型コロナウイルス感染対策で、さまざまな制限があったが、多くのお客様に来館していただき、文化芸術にふれ楽しんで頂いた。 ・大規模文化施設としての活用方法の見直しと、集客方法の見直しが必要。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	文化活動等の充実・文化財の保護	3/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 文化施設の利活用の推進	R3	・悠邑ふるさと会館のＰＲ動画を作成。吹奏楽団の演奏会に併せて作成することで、技術や設備も紹介することが出来た。 ・収録したＤＶＤを県内外の演劇や音楽関係団体に提供し、今後の利用に繋げる。 【予算】 300 千円 【決算】 220 千円	A	・感染症拡大による行動制限のため、他県団体によるモデル事業としての利用促進が実現出来なかったため、Ｒ４年度以降ではＰＲ動画を活用した利用促進戦略を観光協会と連携して実施する。
	R4	・前年度に悠邑ふるさと会館のＰＲ動画を作成。 随時県内外の劇団や音楽団体へ提供する。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・Ｒ５年度も観光協会と連携し、会館利用促進を図る。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 文化財保護	R3	・丸山城跡 除草業務委託（年２回） 除伐業務委託（年１回） 遊具撤去業務委託 ・イズモコバイモ保全管理業務委託 【予算】 1,763 千円 【決算】 1,641 千円	B	・丸山城跡について、除草作業を実施することにより遊歩道が歩きやすくなり、除伐作業により山頂はもとより麓からの眺めもよくなり、登城者が増えている。 ・イズモコバイモの生育保護及び草刈り等による周辺環境の適正な管理により、開花時の見学者へよりよい観察環境を提供している。
	R4	・丸山城跡 除草業務委託（年２回） 除伐業務委託（年１回） ・イズモコバイモ保全管理業務委託 【予算】 250 千円 【決算】 79 千円	B	・丸山城跡について、除草作業を実施することにより遊歩道が歩きやすくなり、除伐作業により山頂はもとより麓からの眺めもよくなり、登城者が増えている。 ・イズモコバイモの生育保護及び草刈り等による周辺環境の適正な管理により、開花時の見学者へよりよい観察環境を提供している。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	生涯スポーツの推進	4/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① スポーツ施設の整備	R3	・体育施設の維持管理 ・川本運動公園の管理 【予算】 13,283 千円 【決算】 12,769 千円	B	・社会体育施設照明器具ＬＥＤ化業務（川本西体育館・武道館・町民球場） ・川本運動公園中継ポンプ制御盤取替工事 ・川本運動公園受電設備気中開閉器取替等修繕 ・利用者の確保に向け、引き続き施設の整備が必要である。 ・適切な管理により利用者が増えることは、健康増進等にも繋がる。
	R4	・体育施設の維持管理 ・川本運動公園の管理 【予算】 20,634 千円 【決算】 20,111 千円	B	・川本町民プールハウス修繕 ・川本町民プールシェルター改修工事 ・川本町民球場常用電力ケーブル新設工事 ・川本公園管理棟改修工事 ・川本西グラウンド防球ネット改修工事 ・引き続き施設の整備及び適切な管理が必要を行い、利用者が増加することは健康増進等にもつながる。 ・毎月、各体育施設の点検を実施
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② スポーツ活動への支援	R3	・ニュースポーツの振興 ・かわもとスポーツクラブの支援 ・カヌー体験教室の開催 【予算】 414 千円 【決算】 282 千円	B	・ボッチャの道具を購入し、公民館活動等で指導を実施。 ・かわもとスポーツクラブへ社会体育事業の委託をし、広報誌の作成により、ＰＲ活動の支援をした。また、事務局支援として、各種団体等の調整役を行った。 ・2030島根国体に向けたジュニア育成事業として、カヌー体験教室を開催した。（参加者：17名） 活動状況を把握し、引き続き支援が必要である。
	R4	・ニュースポーツの普及活動 ・かわもとスポーツクラブの支援 【予算】 330 千円 【決算】 328 千円		・公民館活動として、月1回2会場にてニュースポーツの体験活動を実施。（全16回、延べ41名参加） ・KSCへ社会体育事業を委託。新規事業として、スポレク広場を開催し、75名参加。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ スポーツイベントの開催及び支援	R3	・スポーツ講演会の開催 ・川本町一周駅伝大会の開催 【予算】 307 千円 【決算】 307 千円	B	・侍ジャパンの清水コーチを招いて講演会を実施。（参加者：140名） ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、一周駅伝を開催。開催時期をずらしたため参加チームが少なかった。令和4年度については、例年の時期に開催を予定する。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大等により、イベントが中止となっている。工夫しながら開催や支援をしていく。
	R4	・春夏秋冬を楽しむウォーキングの開催（全4回） ・川本町一周駅伝競争大会の開催 ・スポーツ講演会の開催 【予算】 496 千円 【決算】 429 千円	B	・全4回。会場を変えながらウォーキングを実施（延べ106名参加） ・11月に、一般の部、自治会の部、中学校の部として、駅伝競走大会を開催。(11チーム参加) ・3月に、スポーツ講演会として、バスケットボール選手を招いて実施。(体験会参加者33名)
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	生涯スポーツの推進	5/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ スポーツ指導者の確保・育成	R3	・かわもとスポーツクラブ等関係団体との連携 ・現状把握 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・現在、困っている競技団体はないと思われるが、指導者が高齢の競技団体もあり、今後指導者の確保や育成が必要となってくる。 ・部活動指導者の地域移行の動きもあるので、競技団体と一緒になって進めていかないといけない。
	R4	・かわもとスポーツクラブ等関係団体との連携 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・クラブによっては、指導者が高齢化しているところもあり、今後指導者の確保や育成が必要となる。 ・スポーツクラブの活動の周知を検討する必要がある。 ・部活動指導者の地域移行の動きもあるため、クラブと学校、教育委員会とが一緒になって検討を進めていかないといけない。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	読書活動の充実	6/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 本に親しむ意識の向上や機会の充実	R3	・おはなし会（４回実施） ・館内のテーマ展示（不定期） ・読書に関するアンケート調査実施（保育所、小中学校） ・お楽しみ袋の実施（３冊セット） 【予算】 14,564 千円 【決算】 13,505 千円	B	・小学生と幼児向けに長期休みを利用しておはなし会と図書館で本を借りるイベント を実施した。また、三原まちセンマルシェにも参加し、館内以外でも実施した。 ・図書館内に季節に応じたテーマや小中学生に向けにおすすめの本を展示し、 利用者が目に付きやすく手に取りやすいよう工夫した。 ・保育所と小中学校に読み聞かせや読書の状況に関するアンケート調査を行い、結果を 基に住民サービスの向上を図った。 ・お楽しみ貸出袋として、普段自分で選ぶことがない本との出会いを提供している。
	R4	・おはなし会（年２回） ・あおぞら図書館まつりの開催 ・館内のテーマ展示（不定期） ・読書に関するアンケート調査実施（保育所、小中学校） 【予算】 14,072 千円 【決算】 14,017 千円	B	・小学生と幼児向けに長期休みを利用しておはなし会と図書館で本を借りるイベントを実施した。（延べ30名参加） ・産業祭りとのコラボ企画である「あおぞら図書館」では、新たな読み聞かせボランティアグループも加わり、ニュースポーツ体験も併せて行い、親子連れで参加する取り組みとなった。 ・保育所と小中学校に読み聞かせや読書の状況に関するアンケート調査を行い、結果を基に住民サービスの向上を図った。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 図書館機能の充実	R3	・スマートフォンアプリ（貸し出しサービスの向上）開始 ・公民館に図書コーナーの設置（２カ所） 【予算】 3,730 千円 【決算】 3,660 千円	B	・非接触による感染リスク軽減と住民サービスの向上を図るため、アプリを開発し、利用者番号を登録することで 図書館利用者カードの代わりとして使え、本を借りられるサービスを開始した。 ・西公民館と三原まちづくりセンターに図書館コーナーを設け、身近なところで本を借りれるようにしている。定期的に本の入れ替えも実施している。
	R4	・スマートフォンアプリの普及 ・図書館システムの運用及び保守 ・公民館に図書コーナーの設置（２カ所） 【予算】 3,676 千円 【決算】 3,676 千円	B	・非接触による感染リスク軽減と住民サービスの向上を図るため、スマートフォンアプリを開発し、普及啓発を行っている。利用者からの満足度も高く、登録件数も増えている。（登録件数２３１件） ・西公民館と三原まちづくりセンターに図書館コーナーを設け、身近なところで本を借りれるようにしている。（絵本も同様）定期的に本の入れ替えも実施している。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１４	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	国際交流の推進

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① グローバルな意識の醸成	R3	・外国語指導助手(ALT)2名配置 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・コロナ禍のため、国際交流活動が制約される中で、英会話教室や保育所訪問など地域における国際交流活動に参加した。多文化共生に対する理解を育むため、啓発活動を啓発していく必要がある。
	R4	・外国語指導助手(ALT)2名配置 ・産業祭への参加 【予算】 10,464 千円 【決算】 9,511 千円	B	・３年ぶりの産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育ち・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１５	**多様性のある地域社会の実現**	P74～75

主担当課
まちづくり推進課

施策の方針	すべての町民がお互いの人権を尊重し、性別・人種・国籍・宗教・価値観の違いや障がいの有無に関わらずお互いを認め合い、それぞれの幸福を追求できる多様性のある地域社会の実現を目指します。
施策の方向性	・人権意識の定着 ・男女共同参画の推進

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
人権講演会等への参加者数【単年度値】（単位：人）	目標値	200	300	400	450	500
	実績値	297	200			
	達成率	148.5%	66.7%	%	%	%
町の審議会等への女性の参画率【単年度値】（単位：%）	目標値	21.9	24.0	26.2	28.4	30.6
	実績値	20.2	24.8			
	達成率	92.2%	103.3%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・施策の方針目標を目指し、引き続き意識的な女性の参画や意識啓発に向けた取組を進める。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・引き続き意識的な女性の参画や意識啓発に向けて取組を進めること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１５	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	人権意識の定着	1/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 学校教育での取り組みの充実	R3	・川本町同和担当者会の開催（年３回） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かせている。
	R4	・川本町同和担当者会の開催（年３回） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かせている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域社会や家庭における取り組みの充実	R3	・人権サロン及び人権講座の実施（川本西公民館・三原まちづくりセンター） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・川本西公民館及び三原まちづくりセンターで町民向けのサロンや講座を開催。 ・まだまだ人権に関心を持つ住民が少ないため、広報や周知の方法を工夫し、引き続き取組が必要である。
	R4	・人権サロン及び人権講座の実施（川本西公民館・三原まちづくりセンター） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・川本西公民館及び三原まちづくりセンターで町民向けのサロンや講座を開催。 ・まだまだ人権に関心を持つ住民が少ないため、広報や周知の方法を工夫し、引き続き取組が必要である。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ グローバルな意識の醸成（再掲）	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和３年度は取組が出来ていないが、国際交流協会等と連携し、理解を求めていく必要あり。 ・学びの場づくりや啓発活動について、次年度以降取組が必要である。
	R4	・外国語指導助手(ALT)2名配置 ・産業祭への参加 【予算】 10,464 千円 【決算】 9,511 千円	B	・３年ぶりの産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１５	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	人権意識の定着	2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 相談・支援体制の充実	R3	・人権担当職員が窓口となって対応（教育課では、相談案件なし） ・川本町同和担当者会の開催（年３回） ・人権のつどい等、研修会の実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かせている。 人権研修について、担当職員を含めて教職員等に案内し、意識の高揚に努めている。
	R4	・人権担当職員が窓口となって対応（教育課では、相談案件なし） ・川本町同和担当者会の開催（年３回） ・人権のつどい等、研修会の実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かせている。 人権研修について、担当職員を含めて教職員等に案内し、意識の高揚に努めている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１５	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	男女共同参画の推進	3/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 男女共同参画推進計画の改定と実行	R3	・第3次川本町男女共同参画推進計画の策定。 【予算】 224 千円　【決算】 224 千円	B	・第3次川本町男女共同参画推進計画の行動計画に基づき、目標達成に向けた取組を実施する。
	R4	・第3次川本町男女共同参画推進計画に基づき取り組みを実施した。 【予算】 270 千円　【決算】 131 千円	B	・第3次川本町男女共同参画推進計画の行動計画に基づき、目標達成に向けた取組を実施した。 ・男女共同の意識啓発に係るパンフレットを作成し全戸に配布した。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 意識改革に向けた取り組みの充実	R3	－ 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・各学校等では個別に開催されているが、連携した取組は実績なし。 ・サポーターも交えた連携のあり方を検討する。
	R4	－ 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・意識啓発に係るパンフレットを作成し配布した。 ・学校と連携した町民向けの講習会等の開催は行うことができなかった。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 活躍できる場の拡充	R3	・県などが主催するセミナー等をおおち・さくら地域雇用促進協議会を通じて会員事業所へ周知 【予算】 530 千円　【決算】 30 千円	B	・雇用促進協議会と連携した講習会の開催や情報提供に取り組む。
	R4	・県などが主催するセミナー等をおおち・さくら地域雇用促進協議会を通じて会員事業所へ周知 ・企業人材確保育成支援補助金（1件） 【予算】 230 千円　【決算】 121 千円	C	・雇用促進協議会と連携した講習会の開催や情報提供に取り組む。 ・企業人材確保育成支援補助金については、より効果的な内容となるよう見直す必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１６	**防災・減災対策の充実**	P76～78	**総務財政課**

施策の方針	一つでも多くの災害発生のリスク軽減に努めるとともに、災害時にも被害が最小限に抑えられ、災害への不安が軽減されるような安全に暮らせる環境づくりを進めます。
施策の方向性	・治水・治山対策の推進 ・地域防災力の向上 ・消防機能の充実 ・危機管理体制の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
治水対策未実施地区数 【単年度値】（単位：地区）	目標値	3	3	3	3	2
	実績値	3	3			
	達成率	0%	100.0%	%	%	%
防災士の数 【累計値】（単位：人）	目標値	4	6	8	9	10
	実績値	3	3			
	達成率	75.0%	50.0%	%	%	%
自主防災組織の訓練（研修）の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	300	400	500	600	800
	実績値	302	403			
	達成率	100%	100.8%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・治水対策については、工事着工前の用地取得、補償に入っており順調に進んでいる。 ・防災士、防災組織の訓練等については、概ね進んでいる。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・防災避難訓練等を通じ防災意識の向上を図ること。 ・災害時の情報伝達にＤＸを大いに活用すること。 ・新型コロナウイルス感染症が５類になったので、町民に向けて避難訓練への参加を積極的に促し、参加者増加を図ること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	治水・治山対策の推進	1/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 河川における対策の推進	R3	国・県に対して、堤防未整備地区の解消に向けた要望活動を行う。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・谷地区・尾原地区（久料谷）については、国事業による仮説対策工事が進み、今後の計画についても協議検討が進んでいる。
	R4	国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 31,000 千円 【決算】 2,075 千円	B	・瀬尻・久料谷地区、谷地区における治水対策については事業化、今後は弓市地区における川本暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 流域における対策の推進	R3	・因原地区堤防の排水ポンプの更新。 ・尾原地区への緊急排水ポンプの整備（１台） 【予算】 14,317 千円 【決算】 14,316 千円	A	・因原地区上流部の内水排除対策が必要であり、また、尾原地区の緊急排水ポンプの増設が必要なため、拡充。
	R4	・因原地区への緊急排水ポンプの新規整備(1台) ・尾原地区への緊急排水ポンプの追加整備(計3台) 【予算】 15,000 千円 【決算】 14,999 千円	B	・設置後稼働する事案がなかったため、現状維持。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 土砂災害対策の推進	R3	国・県と連携し対応を検討する。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・国・県と連携し、情報の共有を図りながら、必要な措置を講じていく。
	R4	国・県と連携し対応を検討する。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・国・県と連携し、情報の共有を図りながら、必要な措置を講じていく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	地域防災力の向上	2/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域防災計画などの充実	R3	国や県、関係機関からの情報を活用し、現実に見合った計画の更新を進め、実災害時に活かせる計画の策定を行う。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・関係機関からの情報を受け、実災害に備えた計画となるよう見直しを行い、関係機関とも情報共有をしている。
	R4	国や県、関係機関からの情報を活用し、現実に見合った計画の更新を進め、実災害時に活かせる計画の策定を行う。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・関係機関からの情報を受け、実災害に備えた計画となるよう見直しを行い、関係機関とも情報共有をしている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 自主防災組織の機能向上	R3	自治会を中心とした自主防災組織の充実を図ると共に、防災に関するリーダーとなる人材の育成を行う。 【予算】 1,150 千円 【決算】 1,077 千円	B	・新型コロナウイルス感染症拡大により、防災士研修会が中止されたため、支出は無かったが。今後も防災士育成補助金の活用は必要である。
	R4	自治会を中心とした自主防災組織の充実を図ると共に、防災に関するリーダーとなる人材の育成を行う。 【予算】 108 千円 【決算】 0 千円	B	・新型コロナウイルス感染症により、開催時期が変動し、防災士講習の参加者が得られなかったため、支出は無かった。しかし、希望される方も出ているため、継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 防災意識の向上	R3	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会を対象に防災に関する講習会を実施。また、保・小・中の職員を対象とした研修会を実施した。これらは住民からの希望により実施しており、意識の向上の表れと感じる。
	R4	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会は伸び悩んでいるが、自治会単位での避難体制について相談が出始めている。また、小学校4年生の授業で防災について授業を行った。これらは住民からの希望により実施しており、世代を問わず意識の向上の表れと感じる。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	地域防災力の向上	3/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 要配慮者支援体制の充実	R3	要配慮者の避難を円滑に進めるため、個別避難計画の作成など、自治会や福祉関係団体と連携い着手。 【予算】 35 千円　【決算】 35 千円	B	・各関係団体と連携し、個別避難計画等の作成を進めている。また、自治会毎に実情に合った計画を作成するため、個別の協議も実施していく必要がある。
	R4	要配慮者の避難を円滑に進めるため、個別避難計画の作成など、自治会や福祉関係団体と連携い着手。 【予算】 140 千円　【決算】 0 千円	B	・個別避難計画の作成について、新たな進捗ができなかったが、関係機関と連携し進めていく。また、自治会毎に避難者名簿の作成など動きが見られている。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
⑤ 避難所の機能充実	R3	段ボールベットや間仕切り等の整備や非常食の整備。 ※施設整備については、所管課で対応 【予算】 932 千円　【決算】 908 千円	B	・避難所での備蓄品については、賞味期限や状態を管理しながら、補充や更新が必要となる。
	R4	・段ボールベットや間仕切り等の整備や非常食の整備。 ※施設整備については、所管課で対応 【予算】 3,364 千円　【決算】 3,069 千円	B	・避難所での備蓄品については、賞味期限や状態を管理しながら、補充や更新が必要となる。 ・避難所の環境整備事業として、ＴＶ環境整備を行った。今後も実施する必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
⑥ 情報伝達手段の充実	R3	防災無線や放送サービス、ＳＮＳやＨＰ等を活用し、より分かりやすく、迅速に情報伝達を行う仕組みづくり。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	A	・多様な方法で情報発信を行う仕組みはできてきたが、それぞれに入力作業等が必要になっている。そのため、少ない作業でカバー出来る方法の検討が必要である。また、テレビでの情報発信をおり簡素化できる仕組みを構築する必要がある。
	R4	防災無線や放送サービス、ＳＮＳやＨＰ等を活用し、より分かりやすく、迅速に情報伝達を行う仕組みづくり。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	A	・防災行政無線の更新に併せ、一つの入力作業で、防災無線・ＳＮＳ・ＨＰ等への出力ができる仕組みづくりを検討を継続する。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	消防機能の充実	4/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 常備消防の機能・充実	R3	江津邑智消防組合と情報を共有し、計画的な運営・機器整備を行う。 【予算】 137,071 千円 【決算】 137,071 千円	B	・引き続き江津邑智消防組合と連携し実施していく。
	R4	江津邑智消防組合と情報を共有し、計画的な運営・機器整備を行う。 【予算】 141,087 千円 【決算】 141,087 千円	B	・引き続き江津邑智消防組合と連携し実施していく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 非常備消防体制の充実	R3	消防団員の確保に努め、非常備消防体制を確保する。 【予算】 13,349 千円 【決算】 12,286 千円	A	・消防団員の処遇改善（報酬など）を行うため、拡充とする。
	R4	消防団員の確保に努め、非常備消防体制を確保する。 【予算】 19,833 千円 【決算】 17,654 千円	B	・消防団員の処遇改善（報酬など）を行った。現状維持。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	危機管理体制の充実	5/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 迅速に対応できる体制づくり	R3	研修会等を開催し、住民意識の醸成に併せた研修会の実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民一人ひとりのタイムラインの作成に向けた情報発信を充実させるため、研修会等を行う必要があったが、取り組みまで至らなかった。
	R4	研修会等を開催し、住民意識の醸成に併せた研修会の実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民一人ひとりのタイムラインの作成に向けた情報発信を充実させるため、研修会等を行う予定としていたが、地域ごとの説明の場の要望が出ているため、実施に向け調整する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 業務継続計画の作成及び作成支援	R3	業務継続計画を策定。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・計画の見直しを行いながら、継続して計画の改定を行う
	R4	業務継続計画を策定。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・計画の見直しを行いながら、継続して計画の改定を行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 復旧体制の構築	R3	関係機関を始め、協力団体との連携強化。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・電気等のライフラインの復旧を迅速に行う為、今後も新たな支援団体の模索を進める必要がある。
	R4	関係機関を始め、協力団体との連携強化。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・電気等のライフラインの復旧を迅速に行う為、今後も新たな支援団体の模索を進める必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１６	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	危機管理体制の充実	6/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 災害時の精神的ケアの充実	R3	災害時の体制について内部検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保健師によるケア体制や、仁寿会との連携も含め、今後も検討が必要。
	R4	災害時の体制について内部検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・保健師によるケア体制や、仁寿会との連携も含め、今後も検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 新たな感染症対策	R3	対策会議の開催。 情報収集・発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ＨＰや告知放送による対策の呼びかけや、対策会議を頻繁に行い、緊急事態を回避するための準備を進めた。
	R4	対策会議の開催。 情報収集・発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	・新型コロナウイルスが5類になったことで、対策会議の廃止など縮小方向にあるため、事業の見直しが必要
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ テロ対策等の充実	R3	・緊急時の職員の参集方法の構築。 ・Jアラートによる緊急放送体制の維持。 【予算】 3,957 千円 【決算】 3,955 千円	B	・職員の参集メールの構築を行い運用中、また、防災無線の保守管理を継続する
	R4	・緊急時の職員の参集方法の構築。 ・Jアラートによる緊急放送体制の維持。 【予算】 2,885 千円 【決算】 2,555 千円	B	・職員の参集メールの構築を行い運用中、また、防災無線の保守管理を継続する。 ※防災行政無線については、機器更新がＲ６年度から必要となる。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１７	**日常の安全対策の充実**	P80～81	**総務財政課**

施策の方針	交通事故や犯罪などが起きない、安心して暮らせる環境づくりを進めます。
施策の方向性	・交通安全対策の充実 ・防犯対策の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の交通事故死者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
	達成率	100%	100%	%	%	%
町内の詐欺被害件数 【単年度値】（単位：件）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	1	0			
	達成率	0%	100.0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・春と秋の交通安全週間や毎月１日には街頭指導を行っている。なお運動期間中は、自動車パレード、出陣式、街頭指導を実施した。 ・ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、広報啓発活動が主となったが、今後は安全教室など対面での啓発を行いたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・警察など関係機関と連携し、交通安全運動の充実・防犯意識の啓発に取り組むこと。 ・保育所等での安全教室の取り組みも強化すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１７	基本施策名	日常の安全対策の充実	施策の方向性	交通安全対策の充実	1/2

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 交通安全運動の充実	R3	・春と秋の交通安全週間や毎月１日に行う街頭指導。 ・警察署と連携した交通安全啓発。 【予算】 206 千円　【決算】 193 千円	B	・今後も継続していく必要がある。
	R4	・春と秋の交通安全週間や毎月１日に行う街頭指導。運動期間中は、自動車パレード、出陣式、街頭指導を実施。 ・警察署と連携した交通安全啓発。 【予算】 331 千円　【決算】 156 千円	B	・今後も継続していく必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② ライフステージに応じた交通教育の充実	R3	川本警察署と協力して事業を展開。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・今後も年代に応じた交通安全教室などの事業実施を継続していく必要がある。
	R4	川本警察署と協力して事業を展開。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・今後も年代に応じた交通安全教室などの事業実施を継続していく必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 交通安全対策の実施	R3	標識やカーブミラーなどの更新・新設必要箇所などの状況確認を、警察署と連携して実施。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・必要に応じてカーブミラーや標識の設置について警察署と連携して管理していく
	R4	標識やカーブミラーなどの更新・新設必要箇所などの状況確認を、警察署と連携して実施。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・必要に応じてカーブミラーや標識の設置について警察署と連携して管理していく
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１７	基本施策名	日常の安全対策の充実	施策の方向性	防犯対策の充実	2/2

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 見守り活動の充実	R3	・青色防犯パトロール隊の活動。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・子どもの見守りには欠かせない活動であるため、引き続き人員確保を進める。
	R4	・青色防犯パトロール隊の活動。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・子どもの見守りには欠かせない活動であるため、引き続き人員確保を進める。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 防犯啓発活動の充実	R3	県及び郡の防犯連合会と連携した活動。 【予算】 233 千円 【決算】 233 千円	B	・引き続き連携して活動していく。
	R4	県及び郡の防犯連合会と連携した活動。 【予算】 233 千円 【決算】 233 千円	B	・引き続き連携して活動していく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 防犯設備の整備促進	R3	・防犯灯の設置補助及び防犯カメラの管理。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 534 千円 【決算】 400 千円	B	・継続して見守り環境を維持する。
	R4	・防犯灯の設置補助及び防犯カメラの管理。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 561 千円 【決算】 244 千円	B	・継続して見守り環境を維持する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
１８	インフラ整備・環境対策の推進	P82～84	地域整備課

施策の方針	住み慣れた地域で暮らし続けられる生活基盤を整えます。
施策の方向性	・中心市街地の機能強化 ・道路の維持・整備 ・上下水道の維持・整備 ・情報通信網の活用 ・居住環境の充実 ・環境対策の充実

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
弓市地区の居住者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	785	776	768	760	752
	実績値	717	747			
	達成率	91.3%	96.3%	%	%	%
改良計画路線の改良率 【累計値】（単位：%）	目標値	52.4	52.7	52.9	54.0	55.1
	実績値	52.4	52.4			
	達成率	100.0%	99.4%	%	%	%
汚水処理人口普及率 【累計値】（単位：%）	目標値	65.5	65.9	66.4	66.8	67.2
	実績値	63.5	64.6			
	達成率	96.9%	98.0%	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・弓市の居住者数は川本堤防との関連性があり、早期完成に向け要望を行って行く。 ・田原絵堂線道路改良について工事着工。 ・汚水処理普及について、合併処理浄化槽の普及に努める。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・立地適正化計画の策定に向けて内容の検討を行うこと。 ・合併処理浄化槽の普及に向けて調査研究すること。

評　価	最終評価（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	中心市街地の機能強化	１/８

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 都市マスタープラン等の作成	R3	谷地区治水事業に係る谷地区のまちづくり計画を策定。 【予算】 1,203 千円 【決算】 1,203 千円	B	弓市を中心としたマスタープラン策定に向け検討。
	R4	立地適正化計画策定に向けての検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	立地適正化計画策定に係る補助事業に関し、国への概算要望、本要望を実施。令和５年度当初予算計上。令和５年度から２ケ年にわたり策定を予定。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 生活サービス施設の維持・充実	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	中心市街地の生活サービス機能の維持・充実を図るため、マスタープランを中心とした立地適正化計画策定に向け検討。
	R4	立地適正化計画策定に向けての検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	立地適正化計画策定に係る補助事業に関し、国への概算要望、本要望を実施。令和５年度当初予算計上。令和５年度から２ケ年にわたり策定を予定。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	道路の維持・整備	２/８

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 国道・県道の整備促進	R3	国・県への事業促進要望活動。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	主要地方道川本波多線（川本バイパス）の事業化が決定となり、早期完成に向け要望活動を継続する。
	R4	国・県への事業促進要望活動。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	主要地方道川本波多線川本工区の早期完成、国道２６１号冠水対策に向け要望活動を継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町道、農林道の維持・改善	R3	中倉日向線（L=1.04Km）：開通 As舗装 A=5,025㎡、ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ L=332m、区画線 L=2,218m 【予算】 30,623 千円 【決算】 30,623 千円	B	町道等の改良を進めると共に、町道・農林道の維持修繕を継続する。
	R4	田原絵堂線（測量・設計） 【予算】 100,100 千円 【決算】 40,712 千円	B	町道等の改良を進めると共に、町道・農林道の維持修繕を継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 交通安全対策の充実	R3	ガードパイプ L=20.0m 側溝蓋設置 L=40.0m 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	通学路点検結果等に基づく交通安全対策の継続。
	R4	因原仏谷線 伐採 【予算】 1,320 千円 【決算】 1,320 千円	B	・通学路点検結果等に基づく交通安全対策の継続。 ・進捗率５０．０％（目標５６．２％）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	上下水道の維持・整備	３/８

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 上水道の維持管理の充実	R3	各水道施設維持管理における業務委託。 【予算】 9,983 千円 【決算】 9,982 千円	B	職員数の減少により、直営による維持管理が困難なため外部委託を継続。
	R4	各水道施設維持管理における業務委託。 【予算】 10,376 千円 【決算】 10,347 千円	B	職員数の減少により、直営による維持管理が困難なため外部委託を継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 下水道の普及促進	R3	個人が設置する合併処理浄化槽設置費に対する補助。 ７人槽：２件、５人槽：４件 【予算】 3,980 千円 【決算】 3,980 千円	B	農業集落排水処理事業区域（三原地区）を除く町内全域について、合併処理浄化槽の普及により汚水処理人口普及率を高めていく必要がある。
	R4	個人が設置する合併処理浄化槽設置費に対する補助。７人槽：０件、５人槽：２件 【予算】 6,415 千円 【決算】 1,160 千円	B	農業集落排水処理事業区域（三原地区）を除く町内全域について、合併処理浄化槽の普及により汚水処理人口普及率を高めていく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	情報通信網の活用	４/８

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ハード施設の維持・向上の推進	R3	FTTH施設の維持管理。 【予算】 72,233 千円 【決算】 71,228 千円	B	・光通信サービスや有線テレビの放送を行うためには、必要な施設維持を継続。
	R4	FTTH施設の維持管理。 【予算】 74,125 千円 【決算】 73,679 千円	B	・光通信サービスや有線テレビの放送を行うためには、必要な施設維持を継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 他分野への活用促進	R3	・IP告知システム端末更改業務（画面付告知端末の導入） 100台 【予算】 17,468 千円 【決算】 16,899 千円	C	医療機関や見守り対象者に画面付き告知端末を設置のため、端末購入はR3で終了。 今後、新たな防災や各種相談での活用方法を検討。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	防災や各種相談等での活用方法を検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 放送サービスの充実	R3	まげなねっと112CHの番組作成（サブチャンネルによる県議会の生放送、町の行事の放送機会の確保） 【予算】 1,533 千円 【決算】 1,533 千円	B	・町内のイベントや行事などの地域情報番組や県ケーブルテレビ協会との連携により番組を放送。 ・また、災害時にも災害情報等の情報発信を実施。 ・今後も町民の利便性を高めるため、番組作成は継続。
	R4	まげなねっと112CHの番組作成（サブチャンネルによる県議会の生放送、町の行事の放送機会の確保） 【予算】 1,720 千円 【決算】 1,575 千円	B	・町内のイベントや行事などの地域情報番組や県ケーブルテレビ協会との連携により番組を放送。 ・災害時の情報発信強化のため、LGテロップ導入。 ・今後も町民の利便性を高めるため、番組作成は継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	居住環境の充実	5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 住生活基本計画の作成	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和４年度策定予定のため継続。
	R4	住生活基本計画を策定（令和４年度） 【予算】 5,000 千円 【決算】 4,840 千円	D	・住生活基本計画を策定した。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町営住宅の更新や多様な住宅の整備促進	R3	・八幡平団地1号棟2号棟の屋上防水工事の実施。 ・八幡平団地3号棟の戸別改善工事の実施。 ・公営住宅等長寿命化計画の策定。 【予算】 62,588 千円 【決算】 61,592 千円	B	長寿命化計画に基づき、屋上防水工事や戸別改善工事を実施した。戸別改善については、新型コロナウイルスの影響により資材が納品できなかったことからＲ４に繰越て実施する。今後も、計画に基づきながら対応していく。
	R4	・八幡平団地3号棟の戸別改善工事の実施。 【予算】 92,063 千円 【決算】 91,934 千円	B	長寿命化計画に基づき、戸別改善工事や解体除去を実施した。特に戸別改善については、新型コロナウイルスの影響により資材の納品が懸念されたが、年度内に完成することができた。今後も、計画に基づきながら対応していく。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 空き家対策の充実	R3	・老朽危険空き家除却支援事業補助金を構築 老朽危険空き家除却支援事業補助金実績１件（上限1,000千円） 【予算】 1,259 千円 【決算】 1,011 千円	B	老朽危険空き家除却支援事業補助金制度を構築し、１件の実績があった。 毎年２件分の予算を計上し、事業の周知を行う。
	R4	・老朽危険空き家除却支援事業補助金を構築 老朽危険空き家除却支援事業補助金実績１件（上限1,000千円） 【予算】 2,000 千円 【決算】 0 千円	B	老朽危険空き家除却支援事業補助金制度を構築、今年度は実績がなかった。 毎年２件分の予算を計上し、事業の周知を行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	居住環境の充実	６/８

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 公園・子どものあそび場の充実	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	今後のマスタープランの策定に併せ公園施設等の整備を検討。
	R4	立地適正化計画未策定のため、現時点では該当無し 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	今後の立地適正化計画の策定に併せ公園施設等の整備を検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 景観対策の推進	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	今後のまちづくりと並行しながら景観づくりの方向性を検討。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	今後のまちづくりと並行しながら景観づくりの方向性を検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	環境対策の充実	7/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ごみや廃棄物の適正処理の推進	R3	・ごみ分別アプリ、生ごみ堆肥化装置補助により、普及啓発やごみの減量化をはかる。 ・事務組合負担金（ごみ・し尿処理の運営費、ごみ処理施設整備費）により、適正な処理を推進する。 【予算】 425,612 千円 【決算】 425,319 千円	B	・冊子「家庭ごみの分別と出し方のしおり」の配付や、スマートフォンによるごみ分別アプリを通じ、ごみの分別やリサイクル活動等の促進に努めている。 ・ごみの減量化に向け、引き続き生ごみ堆肥化装置設置事業補助を実施する必要がある。 ・新可燃ごみ処理施設の供用開始に伴い、適正な施設の運営に向け、引き続き整備や運営に係る経費を負担する必要がある。
	R4	・ごみ分別アプリ、生ごみ堆肥化装置補助により、普及啓発やごみの減量化をはかる。 ・事務組合負担金（ごみ・し尿処理の運営費、ごみ処理施設整備費）により、適正な処理を推進する。 【予算】 118,546 千円 【決算】 118,497 千円	B	・冊子「家庭ごみの分別と出し方のしおり」の配付や、スマートフォンによるごみ分別アプリを通じ、ごみの分別やリサイクル活動等の促進に努めている。 ・ごみの減量化に向け、引き続き生ごみ堆肥化装置設置事業補助を実施する必要がある。 ・ごみ処理施設の適正な施設の運営に向け、引き続き整備や運営に係る経費を負担する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地球温暖化対策の推進	R3	太陽光発電等導入促進事業補助の実績はなかった。 【予算】 800 千円 【決算】 0 千円	B	太陽光発電等導入促進事業補助金については、地球温暖化防止に向け、引き続き実施する必要がある。
	R4	太陽光発電等導入促進事業補助は１件あるが、年度内で完了できないことから令和5年度での繰越となった。 【予算】 140 千円 【決算】 0 千円	B	太陽光発電等導入促進事業補助金については、地球温暖化防止に向け、引き続き実施する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 不法投棄対策の充実	R3	自治会とも連携し、注意看板や防犯カメラを設置し、予防対策を図る。 【予算】 70 千円 【決算】 5 千円	B	看板やカメラを設置した箇所は抑止効果があることから、継続して実施する。
	R4	自治会とも連携し、注意看板や防犯カメラを設置し、予防対策を図る。 【予算】 69 千円 【決算】 5 千円	B	看板やカメラを設置した箇所は抑止効果があることから、継続して実施する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取組に評価シート

基本施策番号	１８	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	環境対策の充実	8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 自然環境の保護・保全	R3	水質調査の実施時期を改め、7月・10月に実施。調査回数については変更なし。 【予算】 27 千円 【決算】 27 千円	B	定期的な検査により水質汚染状況を把握している。今後も水質環境の維持に向け継続して実施する。
	R4	例年実施している3河川（濁川、三谷川、祖式川）の水質調査を6月、10月の2回実施した。加えて、１河川（田水川）について調査を追加し、年1回10月に実施した。 【予算】 55 千円 【決算】 55 千円	B	定期的な検査により水質汚染状況を把握している。加えて、水浴場としての利用があったことから、１河川調査を追加し水質汚染状況を把握した。今後も水質環境の維持に向け継続して実施する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 効率的な行財政運営を推進します
基本方針	効率的な行財政運営を推進

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１９	**効率的な行財政運営の推進**	P86～87

主担当課
総務財政課

施策の方針	財政健全化を推進するとともに、町民から信頼される役場の実現に向けた行政を推進します。
施策の方向性	・公共施設等総合管理計画の推進 ・行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進 ・持続可能な財政基盤の確立

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
公共施設の総延べ床面積 【単年度値】（単位：千㎡）	目標値	66	65	64	63	62
	実績値	67	65			
	達成率	98.5%	98.5%	%	%	%
自らが希望して専門研修に参加した職員の割合 【単年度値】（単位：%）	目標値	43.8	56.2	68.8	81.3	100.0
	実績値	49.2	45.9			
	達成率	112.3%	81.70%	%	%	%
広聴活動等で受けた意見を施策に反映した件数 【単年度値】（単位：件）	目標値	15	30	30	30	30
	実績値	－	－			
	達成率	－	－	%	%	%

評　価	担当課評価
B	・選択研修の参加率では目標値の達成は出来なかったが、町が実施する行う人権研修や倫理研修などを含めると、全職員（休職、育休中除く）が研修に参加しており、職員の研修意欲は高く、積極的な参加姿勢が伺える。 ・専門的な知識を得られる選択研修などへ参加しやすい仕組みをつくり、行財政運営につなげていきたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
B	・引き続き全職員が研修参加するよう促進すること。 ・有利な起債の活用、新たな借入を抑制する意識を持つこと。 ・大型事業の実施にあたり、事業のスクラップ＆ビルドが必要。

評　価	最終評価（町長）
B	・今後、治水対策を始めとして大幅な財政需要が見込まれる中、持続可能な財政運営を実現するため、有利な起債の活用と不断の事業のスクラップ＆ビルドに心がけること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

施策評価シート

第６次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 効率的な行財政運営を推進
基本方針	効率的な行財政運営の推進

基本施策番号	基本施策名	記載ページ
１９	**効率的な行財政運営の推進**	P86～87

主担当課
総務財政課

施策の方針	財政健全化を推進するとともに、町民から信頼される役場の実現に向けた行政を推進します。
施策の方向性	・公共施設等総合管理計画の推進 ・行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進 ・持続可能な財政基盤の確立

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
積立金現在高 【単年度値】（単位：百万円）	目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績値	2,425	2,495			
	達成率	105.4%	108.5%	%	%	%
地方債現在高 【単年度値】（単位：百万円）	目標値	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
	実績値	5,483	5,431			
	達成率	87.5%	88.4%	%	%	%
町税の徴収率 【単年度値】（単位：%）	目標値	95.00	95.05	95.10	95.15	95.20
	実績値	95.90	96.10			
	達成率	100.9%	101.1%	%	%	%

評　価	担当課評価
	・選択研修の参加率では目標値の達成は出来なかったが、町が実施する行う人権研修や倫理研修などを含めると、全職員（休職、育休中除く）が研修に参加しており、職員の研修意欲は高く、積極的な参加姿勢が伺える。 ・専門的な知識を得られる選択研修などへ参加しやすい仕組みをつくり、行財政運営につなげていきたい。

評　価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）

評　価	最終評価（町長）

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１９	基本施策名	効率的な行財政運営の推進	施策の方向性	公共施設等総合管理計画の推進	1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① アセットマネジメントの推進	R3	・アセットマネジメント取り組み方針に基づいた総資産量の適正化を目指し、公共施設維持管理システムの活用により建物施設の総延床面積の縮減を目指す。 ・公共施設維持管理システムの運用 【予算】 880 千円　【決算】 880 千円	B	・各課の公共施設維持管理担当者に対して施設点検マニュアル及び公共施設維持管理システムの運用研修を行い、今後の施設管理の事務的な流れを確立した。 ・各担当者が各公共施設の基本項目のほか、施設の修繕履歴や維持管理費等の情報をシステムに入力したが、現時点では建物施設の延べ床面積の縮減には繋がっていない。
	R4	・アセットマネジメント取り組み方針に基づいた総資産量の適正化を目指し、公共施設維持管理システムの活用により建物施設の総延床面積の縮減を目指す。 ・公共施設維持管理システムの運用 【予算】 660 千円　【決算】 660 千円	B	・各担当者が施設の修繕履歴や維持管理費等の情報をシステムに入力し、施設の適正管理に繋げた。 ・定住促進住宅を新たに建設した一方で、神田団地、古布毛団地、井ノ迫団地の除却を行い、総延床面積の縮減に繋がった。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 長寿命化・予防保全推進	R3	・施設毎の戸別施設計画を策定し、予防保全の観点に基づき安全性の確保と延命化に向けた対策を進める。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・公共施設点検マニュアルに基づき、各公共施設の施設点検を行った。 ・この施設点検結果に基づき、令和４年度以降順次予防修繕を行う。
	R4	・施設毎の戸別施設計画に基づいた安全性の確保と延命化に向けた対策を進める。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・令和３年度の点検結果に基づき、予防修繕を行った。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 民間活力の導入	R3	・民間活力を施設の整備や管理に積極導入するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用した公共サービスの提供を推進する。 ・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案募集 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案を募集したところ、小売電気事業者１社から価格交渉力に特化した電力最適購入について提案があり、採択を行った。
	R4	・民間活力を施設の整備や管理に積極導入するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用した公共サービスの提供を推進する。 ・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案募集 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・R3年度に採択した電力最適購入について、ウクライナ情勢により、新規契約が不可となったため、契約に至っていない。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１９	基本施策名	効率的な行財政運営の推進	施策の方向性	行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 職員の意識改革と資質向上	R3	・職員の能力開発を進めるための人事評価制度の運用や、資質向上に向けた研修等を推進 ・人事評価研修の開催 ・各種研修への積極的な参加勧奨 【予算】 1,642 千円 【決算】 1,163 千円	B	・全職員を対象に人事評価研修を開催し、特別職も含む４３名が参加した。 ・人事評価研修は評価者と被評価者に分かれての研修とし、人事評価の基本的な知識を再確認することができた。 ・コロナ感染防止の観点から全国研修への参加は行わなかったが、県自治研修所や県総合事務組合が開催する選択研修に延べ４２名と多くの職員が参加し、職員数あたりの参加率は県内自治体でもトップであった。
	R4	・職員の能力開発を進めるための人事評価制度の運用や、資質向上に向けた研修等を推進 ・人事評価研修の開催 ・各種研修への積極的な参加勧奨 【予算】 2,036 千円 【決算】 1,624 千円	B	選択研修の情報などを発信し研修への積極的参加を促した。また、町独自研修として人権研修や倫理研修を実施し、全職員（休職・育休中除く）が何らかの研修に参加することができた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② ICT活用の推進	R3	・議会、庁議ペーパーレス化事業 （タブレット30台） 【予算】 3,675 千円 【決算】 3,675 千円	A	・議員、管理職にタブレットを配布し、議会・庁議のペーパーレス化を実施 ・今後は、デジタル化の推進にあわせ、内部手続き等でのペーパーレス化やICTを活用した業務改善の実施が必要
	R4	・ペーパーレス会議システム利用料 ・庁舎内ICT機器の整備（窓口用PC,タブレット、モニター） 【予算】 1,410 千円 【決算】 1,410 千円	A	・ペーパーレス会議システムによりペーパレスの取り組みを実施 ・窓口用PCやタブレットを配備し、デジタル化の取り組みを推進
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 業務の組織機構の効率化	R3	・町民との協働の推進、組織力の維持・向上を図り、事務事業の企画・改善を進める。 ・自治会長会議、まちづくり意見交換会の開催 ・庁議の定期開催 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・自治会長会議の実施やまちづくり意見交換会の開催等により、町民との協働推進を図った。 ・庁議等の定期開催により事務運営について情報の共有を図った。
	R4	・町民との協働の推進、組織力の維持・向上を図り、事務事業の企画・改善を進める。 ・自治会長会議の開催（３回） ・テーマを設定したまちづくり意見交換会の開催（３回） ・庁議の定期開催 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・これまでの開催内容を見直し、意見交換するテーマを設定し、まちづくり意見交換会を開催し、参加者が増え多様な意見交換の場づくりに取り組んだ。 ・庁議等の定期開催は継続して取り組み、事務運営について情報の共有を図った。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１９	基本施策名	効率的な行財政運営の推進	施策の方向性	行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進

3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民に開かれた行政運営の推進	R3	・広報かわもとの発行 ・HP、SNSでの定期的な情報発信 ・まちづくり意見交換会の開催（3回） ・地区別座談会の開催（10地区） 【予算】 6,295 千円 【決算】 5,894 千円	A	・多くの町民がスマートフォンを所有していることから、スマートフォンへのプッシュ通知（LINE・アプリ）の導入により、情報発信の強化が必要。 ・また、より見やすく、編集が容易なHPの改修の検討も必要。
	R4	・広報かわもとの発行 ・HP、SNSでの定期的な情報発信 ・まちづくり意見交換会の開催（3回） 【予算】 11,467 千円 【決算】 7,267 千円	A	・多くの町民がスマートフォンを所有していることから、スマートフォンへのプッシュ通知が必要。 ・発信する情報、対象者、活用するツールを整理し、的確な情報発信が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

主な取り組み　評価シート

基本施策番号	１９	基本施策名	効率的な行財政運営の推進	施策の方向性	持続可能な財政基盤の確立

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 健全な財政運営の推進	R3	・第三次行財政改革大綱を改定し、健全な財政運営に努めるとともに、町民への情報公開を推進する。 ・地方公会計に基づく財務書類の作成と町ＨＰへの公表。 【予算】 2,530 千円 【決算】 2,530 千円	B	・令和２年度決算に基づく固定資産台帳の整備及び財務書類の作成を行い、町公式ＨＰに公表した。 ・財務書類に基づく分析結果をふまえて予算編成方針の策定を行い、健全な財政運営に向けた取り組みの参考とした。
	R4	・地方公会計に基づく財務書類の作成と町ＨＰへの公表。 【予算】 2,530 千円 【決算】 2,530 千円	B	・令和３年度決算に基づく固定資産台帳の整備及び財務書類の作成を行い、町公式ＨＰに公表した。 ・財務書類に基づく分析結果をふまえて予算編成方針の策定を行い、健全な財政運営に向けた取り組みの参考とした。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町税等の賦課徴収の推進	R3	・適正な賦課と納税意識の高揚を促すと共に、納付方法の多様化により納税者の利便性を高め、期限内納付の推進に努める。 ・コンビニエンスストア及び決済アプリPayPay納付の運用開始。 【予算】 208 千円 【決算】 199 千円	B	・従前の口座振替や金融機関での窓口納付に加えて、コンビニ及びPayPayでの納付を可能としたことで、納税者の利便性を高め期限内納付の推進に繋げることが出来た。
	R4	・適正な賦課と納税意識の高揚を促すとともに納付方法の多様化により納税者の利便性を高め、期限内納付の推進に努める。 ・令和３年度から開始したコンビニエンスストア及びPayPayアプリ納付の促進を図る。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・コンビニ納付やPayPayアプリ納付利用促進のため、各税目納付書送付時に利用案内を促した。また、令和5年4月から「ＱＲコード」を利用した運用を行い、納税手段の拡大を行うため、地方税共同機構や金融機関等との調整を行った。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ ふるさと納税等の増大対策	R3	・ポータルサイトの追加(楽天) ・ガバメントクラウドファンディング、災害寄附の実施。 【予算】 14,371 千円 【決算】 14,176 千円	B	・寄附額の総計が3千万円を超え、平成30年度に次ぐ2番目となった。 ・引き続き新規返礼品、魅力的な返礼品の開発に取り組む。 ・寄附を活用した事業実施の検討を進める。
	R4	・ポータルサイトの追加検討（R5.6月開始：ANAのふるさと納税） ・雑誌への広告掲載（『農産物を買Walker2023』） ・返礼品提供事業者研修会の開催 ・新規返礼品の追加（23品） 【予算】 11,699 千円 【決算】 11,698 千円	B	・寄附の活用実績を町HPや寄附者宛てのメルマガで情報発信するなど、使途について共感を得る工夫が必要。 ・引き続き返礼品の開拓・見直しを行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０１	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	P92～P95

主担当課
まちづくり推進課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
住民自らが地域ビジョンを策定した地区数（累計） （単位：地区）	目標値	2	5	5	8	8
	実績値	2	2			
	達成率	100%	40%	%	%	%
住民主体の集いの場の設置数（累計） （単位：ヶ所）	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	5	5			
	達成率	100%	100%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・複数の地域が連携し、地域の生活機能の維持・改善や地域ビジョン策定に取り組む補助事業を創設したが利用が無かった。 ・地域ビジョンの策定については補助事業を中心に引き続き広報周知を図る一方で、立地適正化計画等の動きと連動し地域づくりに波及を図りたい。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
B	・ビジョン策定は町の拠点エリア、弓市との関連や立地適正化計画への導入可能性の検討等も視野に入れて取組を進めること。 ・その上で拠点となる公共施設など、ハード施策も見据えること。 ・住民主体の集いの場は健康福祉課中心に、まちづくり推進課や民間事業者、住民組織と連携を強化し業務を進めること。

【外部評価】
・集落の生活機能維持確保に活用可能な補助制度の活用実績がないということだが、社会福祉協議会が主催するミニデイの地域単位での補助申請を促す等、補助金の活用について何らかの突破口が必要である。 ・高齢者が生活していくうえでは、インフラが使える地域に、どう人を集めていくかが課題であると考える。空き家を活用する等、他自治体の取り組みも参考にする必要がある。

評　価	【最終評価】（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０１	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	（1）	集いの場の運営を軸とした、生活支援が身近なところで持続できる仕組みづくり

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 三原モデルの横展開（住民主体の集いの場づくりの推進）	R3	・地区別座談会の実施。（全10地区） ・町内全域のたすけあいの仕組み（生活支援サービス）開始。 【予算】 4,680 千円 【決算】 4,680 千円	B	・地区別座談会にて情報の共有、意見交換を行ったが、住民主体の地域運営組織の新規設立、地区計画の策定には至らなかった。 ・住民主体の団体による生活支援サービスが開始された。 ・住民主体の取組が創出されるよう継続して支援。
	R4	・町内全域のたすけあいの仕組み（生活支援サービス）の継続。 ・社会福祉協議会主催ミニデイサービスとの連携 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・住民主体の団体による生活支援サービスを継続して支援した。 ・子どもの見守りなど、住民主体の立場から福祉支援において幅広く活動を展開された。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 集いの場をつなぐ買い物対策	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施に向け令和3年度事業者側、サロン運営側にヒアリングを実施。 ・ヒアリング結果では、現時点では民業の採算性やサロンでの必要性の面から早急な需要は無い結果となった。 ・買い物支援のあり方を含め状況を注視しながら検討を継続。
	R4	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・買い物支援の実態についてサロン運営者や関係機関からヒアリングを実施。家族等による支援や移動販売で対応できているケースが多い現状であった。 ・集いの場での定期的な購買機会は、コーヒーの日、スープの日に加え、R4年5月よりサテライト型相談の場にキッチンカー巡回が加わり4箇所となっている。 ・尾原地区の集いの場では、前年度から始まった無償の産直市が定着している。 ・買い物支援の早急な需要は低いと判断するが、今後も継続的に検討を行っていく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 自治機能の再編	R3	・地区別座談会にて自治会運営の現状等を確認。 ・Ｒ３年度においては、自治機能の再編について各自治会と検討する場面はなかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地区別座談会にて集落、自治会の現状や自治会間での連携について確認。 ・集落間、自治会間での共同作業の確認をはじめ、将来の自治機能のあり方について引き続き検討を進める。 ・自治機能の再編について特に取り組む事はできなかったが、高齢化に伴う担い手不足等により自治機能を維持することが困難な自治会もあるのは事実である。 ・自治会との意見交換を行いながら、検討を行う必要がある。
	R4	・集落の生活機能維持確保に活用可能な補助制度を新設した。 【予算】 1,500 千円 【決算】 0 千円	B	・結果として補助制度の活用実績なし。 ・活用検討の契機となるような機会創出を工夫したい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０１	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	（１）	集いの場の運営を軸とした、生活支援が身近なところで持続できる仕組みづくり	２／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民主体の活動起こしに向けた助成事業	R3	・地区別座談会でのヒアリングをもとに助成事業の骨子を作成 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度から助成事業を創設し広く利用を募る。
	R4	【再掲】 ・集落の生活機能維持確保に活用可能な補助制度を新設した。 【予算】 1,500 千円 【決算】 0 千円	B	【再掲】 ・結果として補助制度の活用実績なし。 ・活用検討の契機となるような機会創出を工夫したい。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０１	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	（２）	買い物、通院に不便なく利用できる交通体系の構築	３／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 生活交通実態調査	R3	・生活交通実態調査の実施 【予算】 3,850 千円 【決算】 3,850 千円	D	・生活交通実態調査を行い、効果や課題等の抽出が終わり次の取組へ移行するため本取組は終了。
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住民主体のたすけあい交通等の試行	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民主体の地域運営組織との協議や、令和4年度策定予定の地域公共交通計画策定検討において導入や試行について検討を進める。
	R4	・地域公共交通計画のアクションプラン、評価指標に住民主体（多様な交通）について記載した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民主体の地域運営組織とたすけあい交通について意見交換を実施 ・地域公共交通計画に記載 ・導入について検討を継続していく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域交通の再設計	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度策定予定の地域公共交通計画にて再設計を検討する。
	R4	・地域公共交通計画にて持続可能な交通のあり方を明記。 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・地域公共交通計画に記載したアクションプラン、目標の実現に向け各関係機関と連携、調整のもと取り組みを推進していく必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０２	医療・介護・福祉サービスの強化	P96～P99

主担当課
健康福祉課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
平均自立期間（男性） （単位：歳）	目標値	78.5	78.9	79.3	79.7	80.0
	実績値	80.1	79.2			
	達成率	102.0%	100.4%	%	%	%
平均自立期間（女性） （単位：歳）	目標値	85.2	85.4	85.6	85.8	86.0
	実績値	82.4	82.4			
	達成率	96.7%	96.5%	%	%	%
地域住民主体の子育て拠点施設の年間利用者数 （単位：人）	目標値	250	250	300	350	400
	実績値	0	10			
	達成率	0.0%	4.0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・地域住民主体の子育て拠点について 令和5年度以降の活動の立ち上げの取り組みをした。 ・平均自立期間について 男性は目標達成できた。現行の取り組みを継続し、適時必要なサービスが住民に供給される体制づくりに努めていく。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
B	・引き続き令和3年度に策定した「医療介護福祉サービスの強化基本プラン」に基づき、官民連携し事業を推進すること。

【外部評価】

・たすけあい川本の活動は、誰でも参加できるよう実施しており、子育て中のお母さんも参加してくれる。暮らしの保健室は、待っているのではなく、たすけあい川本から出向いて積極的に活動していくことがより多くの方へ参加してもらえることに繋がる。
・遊びの広場での活動を行う際には、子ども支援員の資格をもったスタッフが常駐できるよう資格取得を行っていく必要がある。
・医療従事者を確保するため、職業説明会を中学校や高校で開催すると効果的だと考える。

評　価	【最終評価】（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０２	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	（１）	病院機能と一体となった福祉・子育てのワンストップ拠点の整備

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 病院機能と一体となった福祉・子育てのワンストップ拠点の整備	R3	・基本方針を定めた基本プランを策定した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・基本プラン実現に向けて令和４年度以降、仁寿会・関係団体と協議しながら、拠点の整備を目指す。
	R4	・病児病後児保育等の具体的な整備についての検討を継続した 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・仁寿会、庁内関係部署と協議を継続。 ・資材調達等の問題から建物建設スケジュールが遅延しているが、完成時に拠点整備が可能となるよう目指す。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０２	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	（２）	地域と専門機関が連携した地域包括ケアシステムの構築	２／４

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 暮らしの保健室の運営	R3	・巡回型暮らしの保健室の開催(14回：6地区) ・常設型暮らしの保健室の開催(18回：シーピース) 【予算】 410 千円　【決算】 263 千円	B	・巡回型と常設型、２つの手法を活用することで少しずつではあるが認知度は高まってきている。 ・現状で継続し、効果評価を行っていく。
	R4	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全39回開催された。 （巡回型22回、常設型17回） 【予算】 356 千円　【決算】 220 千円	C	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談等を行える場が設けられた。 ・一方で、常設型保健室の来場者数はSNS等を活用し周知・発信を行ったが伸び悩んだため、R5年度は巡回型を中心に開催する。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 住民主体の「地域ケア会議」の確立	R3	・任意団体主催による地域ケア会議を開催(0回) 【予算】 145 千円　【決算】 0 千円	B	・地域住民によるケア会議が未実施となった要因と次年度の実施計画や開催の意思について確認が必要。
	R4	・任意団体主催による地域ケア会議を開催（２地区） 【予算】 72 千円　【決算】 10 千円	B	・任意団体と地域包括支援センターで住民主体の地域ケア会議を開催し、各地区の現状、課題について共有できた。次年度は、１地区拡大し各地区の課題を関係機関と協議していきたい。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円　【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０２	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	（３）	子育て支援体制の強化、運営の仕組みづくり	３／４

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子育て支援体制の強化	R3	家庭での絵本の読み聞かせを通した親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学３年生までの全員へ絵本を届けた。町内各保育所を対象とした地域子育て支援活動補助については、新型コロナ対策で事業が中止となった。 【予算】 919 千円 【決算】 512 千円	B	令和３年度は基本方針を定めた「基本プラン」を策定した。令和４年度以降、病児保育の実施等、プランの実現を目指す中で、子育て支援体制の強化を図っていく。
	R4	絵本のお届け事業は継続。 住民主体の子育て拠点整備の支援を行った。 【予算】 327 千円 【決算】 231 千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 拠点施設の運営の仕組みの再編	R3	すこやかセンター閉鎖に伴う、子育てサポートセンターの一時移転先について、教育課、社会福祉協議会と協議により、川本小学校へ移転することとなった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和３年度は基本方針を定めた「基本プラン」を策定した。令和４年度以降、関係団体等との協議により、プラン実現に向け、拠点施設の運営の仕組みの再編を目指す。
	R4	小学生の居場所事業は小学校空教室、在宅児の居場所は定期的に会館で開催した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	関係団体等との協議により、プラン実現に向け、拠点施設の運営の仕組みの再編を目指す。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０２	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	（４）	医療・福祉の担い手の確保・育成	４／４

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療従事者の確保	R3	公的病院等支援補助金を拡充し、医師確保を図った。 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	コロナ禍においても、病院機能を維持し、地域医療提供体制を確保するため、不採算地区病院への支援として特別交付税基準額の引き上げに伴い、50,000千円の増額補正を行った。
	R4	公的病院等支援補助金にて財政支援を行うことにより、医師確保を図った。 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	昨年度に引き続き、非常勤医師確保のための財政支援を行った。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 保小中高の各段階におけるキャリア教育の推進	R3	高校の授業において、町保健師や、仁寿会医療従事者が健康教育を行うなど、保健医療分野への関心を高めてもらう機会が提供されている。介護の入門的研修に参加いただいた。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	医療介護分野への関心を高めてもらう機会創出のため、医療機関や介護事業所等と連携しながら、引き続きキャリア教育の推進に努める。
	R4	高校の授業において、町保健師が健康教育を行うなど、保健医療分野への関心を高めてもらう機会が提供されている。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	地域医療教育の現状と課題を共有し、将来にわたる邑智地域の医療人材確保に向けた取り組みにつなげるため、来年度はシンポジウムを予定。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０３	コンパクトタウン弓市の魅力向上	P100～P103

主担当課
まちづくり推進課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
弓市地区の居住者数 （単位：人）	目標値	785	776	768	760	752
	実績値	717	747			
	達成率	91.3%	96.3%	%	%	%
弓市地区での起業・開業者数 （累計値） （単位：件）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	1	1			
	達成率	100.0%	50.0%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・令和4年度に弓市魅力化実施計画案を作成した。 ・計画で各項目ごとの実施計画やスケジュールを定めたため、目標達成に向け項目ごとに順次取り組みを進めていく。また、立地適正化計画との整合を図る。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
B	・川本堤防の完成堤防化後を見据えた、弓市地区の魅力化の取り組みを強化していくこと。 ・町内事業者の事業維持・継続に向け、第三者への事業承継についても注力し取り組むこと。

【外部評価】

・事業承継や空き店舗対策が進まない現状である。
・この店にはこういう人が入ってほしい等のターゲットを決めて対策を講じることが必要である。
・立地適正化計画の中で今後のまちづくりの明確化が必要となる。

評　価	【最終評価】（町長）
B	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０３	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	（１）	歩いて暮らせるコンパクトで安全なまちづくり	１／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 安全・便利で災害に強い道路整備	R3	・主要地方道川本波多線（川本工区）の早期事業化に対する県への要望活動 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和３年度において、川本工区として山側ルートが決定され、今後は事業の早期着手に対して要望活動を継続。
	R4	・主要地方道川本波多線（川本工区）の早期事業化に対する県への要望活動 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和３年度において、川本工区として山側ルートが決定され、今後は事業の早期着手に対して要望活動を継続。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 駐車場整備、公衆トイレ等の設置	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・今後、弓市地区を中心としたマスタープランの策定に併せて検討を継続。
	R4	・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した。 【予算】 1,903 千円 【決算】 1,903 千円	B	・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 弓市地内の移動手段の確保	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度に予定している地域公共交通計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した ・地域公共交通計画を策定した 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。 ・地域公共交通計画においても本項目について記載した。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０３	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	（２）	町の拠点エリアの魅力向上	２／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 空き店舗の活用、事業承継の支援	R3	・川本町商工会、西部県民センターと事業承継に関する協議、情報共有。 ・Webサイト「つながる、かわもと。」に空き店舗データベース公開。 【予算】 3,870 千円 【決算】 1,964 千円	B	・空き店舗の活用、事業承継について、川本町商工会と引き続き連携し、情報収集及び意向調査を行う。
	R4	・川本町商工会、西部県民センターと事業承継に関する協議、情報共有。 ・Webサイト「つながる、かわもと。」に空き店舗データベース公開。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・空き店舗の活用、事業承継について、川本町商工会と引き続き連携し、情報収集及び意向調査を行う。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 旧JR石見川本駅周辺の利活用	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度に予定している重点プロジェクト3実施計画策定の中で検討を進める。
	R4	・駅舎は島根中央信用金庫へ貸出とし、ホームや線路内は観光協会によるレールバイクイベント等で利用。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・レールバイクイベントには、中・高校生等もスタッフとして参加し、町内外から、飲食や物品の販売をしに個人店舗が集まっている。また、定期的に開催していることもあり、賑わいの創出につながっている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ まちの賑わい創出	R3	・川本町観光協会によるレールバイクイベントの開催(6回) ・弓市商店会と観光協会の共催によるテイクアウトフェア開催(2回) ・弓市ストア(13回) 【予算】 950 千円 【決算】 950 千円	B	・レールバイクイベントには高校生がスタッフとして参加している。 ・テイクアウトフェアはコロナ禍における飲食店活性化の一助となった。 ・休日における弓市地区の賑わい創出につながっており、継続的な実施が必要。
	R4	・レールバイク（10回） ・アウトドアイベント（笹遊里） ・イルミネーション点灯式（実行委員会） 【予算】 950 千円 【決算】 950 千円	B	・観光協会実施イベントへの高校生スタッフ（あそラボ）の参加。 ・イルミネーション点灯式（石見川本駅）の企画・運営。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０３	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	（３）	居住環境の整備	３／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 定住促進住宅、高齢者住宅等の整備促進	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度に予定している重点プロジェクト3実施計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 民間資産の活用による住宅整備	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度に予定している重点プロジェクト3実施計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０４	地域資源を活かした付加価値の創出	P104～P107

主担当課
産業振興課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
道の駅かわもとの売上高 （単位：百万円）	目標値	152.8	152.8	152.8	168.1	183.4
	実績値	139.3	151.4			
	達成率	91.1%	99.1%	%	%	%
町内の起業者数（累計値） （単位：件））	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1			
	達成率	100.0%	33.3%	%	%	%
電子決済導入事業者（店舗）数 【累計値】（単位：件）	目標値	20	60	70	75	80
	実績値	20	61			
	達成率	100%	101.7%	%	%	%
新規就農者数（累計値） （単位：人）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	0	2			
	達成率	0%	100%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・道の駅の売上は計画策定時の数値に近づいており、次年度以降も更なる増加を目指し、施設の魅力向上となる取り組みを行い来店者増を図る。 ・地域おこし協力隊制度を活用し、新規就農者及び起業者を発掘する。 ・電子決済の普及に取り組み、利用店舗及び利用者の増加を目指し地域内消費の拡大を図る。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
B	・地域おこし協力隊員の確保と卒業後の町内起業に向け、相談・支援に取り組むこと。 ・地域おこし協力隊制度を活用した事業承継の取り組みについても検討すること。 ・電子決済普及事業では、町外の方を対象としたポイント利用の普及についても検討すること。 ・お土産の新商品開発にむけた、具体的な計画をたてること。 ・誘致企業の雇用者増加にむけて広報等の支援を行うこと。 ・ＰＤＣＡサイクルを確立し、より良い取り組みを行うこと。

【外部評価】
・定住というとハードルが高いため、仕事も含め一時的に町へ滞在する関係人口の考え方に視点を置いた受け入れについても検討する必要がある。

評　価	【最終評価】（町長）
A	・道の駅を始めとする拠点施設を中心に、地域経済の循環性を一層高めることにより、定住・滞在・関係・交流人口を含む地域外から付加価値を呼び込み、地域内の付加価値の創出につながるような取り組みを検討すること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０４	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	（１）	農産物のブランド力の向上	１／５

主な取り組み	年度	具体的取組内容	事業進捗	評価の説明
① エゴマの更なる品質向上	R3	島根県農業技術ｾﾝﾀｰと連携した害虫対策協議 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	町内の圃場に、モンオビヒメヨトウが大量発生し、収穫ができない圃場が多く出たため、島根県農業技術センターと連携し、蛹の捕獲及び生態調査をおこなった。令和４年度において、モンオビヒメヨトウ対策の実証圃の設置をおこなっている。
	R4	・奨励作物拡大支援補助金の交付 ・エゴマ害虫防除実証ほ業務の実施 【予算】 12,720 千円　【決算】 7,741 千円	B	補助金はエゴマ生産者を支える重要な制度であり、継続は必須。 また実証ほ業務の実施により、害虫防除に関する一定の知見を得られた。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② エゴマ関連商品の開発支援	R3	６次産業化推進事業 【予算】 804 千円　【決算】 48 千円	B	地域おこし協力隊が製造する百貨店等に向けた、エゴマ油等の新規パッケージの開発をおこない、販売をおこなった。
	R4	・えごま鴨だしラーメンの販売(民間事業者により実施) 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	民間事業者を中心に新たな商品開発が実施された。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 水田農業の振興	R3	奨励作物拡大支援事業 担い手アクションサポート事業 【予算】 8,265 千円　【決算】 8,265 千円	B	水田を活用し、有害鳥獣被害に強いエゴマ・ピーマンの生産奨励をおこなった。ピーマンについては、JAと連携して拡大を広め、令和２年度と比較して、生産農家が３件から２３件に増加した。 また、ピーマンの栽培促進PR動画を、県・JA・町で作成し、まげなネットで放映をおこなった。
	R4	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,162 千円　【決算】 1,150 千円	B	取組が町内全体の水田活用状況の把握や、水田活用の支援等へとつながっており、水田農業の振興のために継続して実施する必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０４	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	（１）	農産物のブランド力の向上

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 地域ブランドの発信拠点としての道の駅の機能強化	R3	６次産業化推進事業 【予算】 804 千円　【決算】 58 千円	B	川本エゴマの会が、自社製品を道の駅で陳列する棚のリニューアルをおこない、エゴマ販売の促進を図った。
	R4	担い手アクションサポート事業補助金の交付 【予算】 130 千円　【決算】 130 千円	B	地域農業再生協議会が、コロナ過が終了し、今後は産直イベントの開催を行うための備品（音響設備）を整備した。今後は、道の駅の機能強化を推進していく必要がある。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円　【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０４	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	（２）	医療・福祉と異業種の連携促進	３／５

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 産業連関の把握	R3	・調査の実施方法等を検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実態調査を行い、状況把握・再整理を行う。
	R4	・調査方法等の検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 異業種連携・ビジネスマッチングの推進	R3	・町内調達の実施方法を検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実態調査を行い、状況把握及び対応策を検討する。
	R4	・調査方法等の検討 ・商工会との協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０４	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	（３）	企業との連携体制の構築

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 企業との連携体制の構築	R3	・(株)三協との情報共有 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・引き続き(株)三協との情報交換を行い、ニーズ把握及び支援を行う。
	R4	・三協との協議、情報共有（広報紙の発行） ・植樹イベントの実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・継続的な協議、効果的な支援策の検討が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０４	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	（４）	起業支援の充実と新しい人の流れづくり	５／５

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 起業家の育成・誘致	R3	・雇用型から起業型地域おこし協力隊への移行(1件) ・かわもと暮らしを窓口とした協力隊員の相談、支援を実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・新規の協力隊員の募集に至らなかった。 ・R4で任期満了となる協力隊員(5名うち農業1名)の定着を図る。
	R4	・起業型地域おこし協力隊員の支援 【予算】 13,966 千円 【決算】 13,966 千円	B	・任期満了隊員の定着(5名) ・新規協力隊員の募集、確保を図る
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② サテライトオフィス等受け入れ体制強化	R3	・かわもとテレワークスペースOto-LaVoへの新規入居(1件) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・引き続き受け入れ体制の整備、物件の選定等を行う。
	R4	・国や県による支援事業等の情報収集 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ターゲット業種の明確化、進出企業への支援策の検討。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 関係人口の確保	R3	・スタディツアーの実施方法を検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内事業者の課題等を抽出しツアー内容の検討を進める。 ・かわもと暮らし、県定住財団と連携した効果的な実施方法の検討。
	R4	・高校卒業生を対象とした「しまちゅうエール」(LINE、HP) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内事業者の課題等を把握し実施内容を検討する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０５	保小中高の連携による教育環境の充実	P108～P111

主担当課
教育課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した児童の割合（小学生）　（単位：%））	目標値	93.0	94.0	95.0	96.0	97.1
	実績値	88.0	93.0			
	達成率	94.6%	98.9%	%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（中学生）　（単位：%）	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.2
	実績値	72.0	90.0			
	達成率	85.7%	105.9%	%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（高校生）　（単位：%）	目標値	57.8	58.8	59.9	60.9	62.0
	実績値	66.0	68.3			
	達成率	114.2%	116.2%	%	%	%
情報を、勉強したことや知っていることと関連付けて理解していると回答した高校３年生の割合（単位：%）	目標値	83.0	85.0	88.0	90.0	95.0
	実績値	74.7	79.1			
	達成率	90.0%	93.1%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・学校においては、ふるさと教育として、地域の方と一緒に行う活動内容を教育委員会及び派遣社会主事を交え、工夫しながら取り組んでいる。 ・かわもとあそラボを中心に、地域活動にもボランティアとして加わり多世代の交流を図っている。今後も、地域と学校、教育委員会とが連携していくことが必要である。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
B	・学力育成会議で、学力向上に向けた取り組みを強化すること。 ・保小中高連携の取り組みについて、継続して推進すること。 ・学校運営協議会（コミュニティスクール）の導入に向けての取り組みを強化すること。

【外部評価】
・島根県の事業とリンクして行う事業については、保・小・中・高で一体的に取り組みを行っていけると思う。 ・町内に小中高１校ずつという特色を活かして、社会教育面だけでなく、学力向上についても一体的な取り組みを行っていければ良いと思う。

評　価	【最終評価】（町長）
B	・一次評価に加えて、先に打ち出された学校のあり方検討委員会の答申を受けて、保小中高の連携の中核をなす、小中学校の近接化を実現するための検討を進めること。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（１）	川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域との協働によるビジョンの実現	R3	・第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。 ・第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・保小中高、社会教育関係者と連携し、育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。 ・今年度の目的である連携体制が構築できたため、今後は関係機関の連携に向けて協議を進めていく必要がある。
	R4	・第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築 ・教育講演会の開催 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。 ・学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、島根大学教授と鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
② 一体型コンソーシアムの構築	R3	・コミュニティスクール制度説明（教育委員、校長会） ・R3.6月17日に設立総会及び第１回理事会を実施。 ・6月に第2回理事会を実施（規約改正　顧問・アドバイザー設置） ・R4.3月23日に第3回理事会を実施（活動報告など） 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・教育委員会、学校に対してコミュニティスクールの制度説明を実施し、今後検討していくことを共有したが、検討体制を構築するまでは至らなかった。 ・令和３年度は計画どおり新たな協働体制「教育創生コンソーシアム島根中央」の設立を実現できた。 現状は、高校の取り組みに対する協働体制だが、川本町全体の教育発展するための協働体制構築に向け、今後取り組みを進めていく。
	R4	【教育】 ・コミュニティスクール制度説明 ・川本町立学校のあり方検討委員会での協議 【まち】 ・コンソーシアム運営マネージャーの配置（1名） ・第1回理事会（5月30日）：事業報告・事業計画 ・第2回理事会（10月24日）：中間報告 ・第3回理事会（3月22日）：活動報告等 ・コンソーシアム拠点「Linkベース」の整備 【予算】 2,199 千円　【決算】 2,012 千円	B	【教育】 ・川本町立学校のあり方検討委員会としての方向性を答申するために、県内の学校視察を行い、学校運営協議会、地域学校協働本部について協議した。3回の検討委員会を実施したが、令和5年度に答申することになり、答申を基に今後の体制を検討していく。 【まち】 ・コンソーシアム運営マネージャーを中心に、高校の取り組みに対する協働体制の構築を進めた ・コンソーシアムの拠点「Linkベース」を校内に整備した。今後、生徒・教員が利用しやすい場所づくりや地域との橋渡しをこの拠点を中心に進める ・今後、後援会とコンソーシアムとの事業のすみ分けを明確化し、それぞれの立場から取り組みを進めていく。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		
③ 活動の推進に取り組む団体の育成	R3	・教育（高校魅力化）の活動推進に高校魅力化ＣＮ７名を配置 ・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中 【予算】 0 千円　【決算】 0 千円	B	・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中。 ・持続的で発展的に教育を通じた人づくりの取り組みを行う団体創出に向けた取り組みを継続実施。
	R4	・教育（高校魅力化）の活動推進に高校魅力化CN7名を配置 ・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体の在り方について継続検討中 【予算】 16,470 千円　【決算】 13,925 千円	B	・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中。 ・持続的で発展的に教育を通じた人づくりの取り組みを行う団体創出に向けた取り組みを継続実施。 ・来年度、吹奏楽部にCNを配置しより一層高校魅力化を推進する。
	R5	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円　【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円　【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（１）	川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 島根県立大学等、高大連携の推進	R3	・実施可能な大学との協働事業などについて検討中。 ・大学生の体験を聞きと高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施可能な大学との協働事業について検討中。 ・島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R4	・県立大生とバーチャル国際交流の参加（4回） ・上級学校（大学）訪問（島根大学、県大看護・栄養、出雲トリニティカレッジ保育） ・韓国語スピーチ動画コンテスト参加（3名） ・韓国語ハングル講座（6名） 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施可能な大学との協働事業について検討中。 ・島根中央高校の特色ある学びのとしてＰＲできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（２）	保小中高が連携した教育の推進	３／６

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 基礎学力の定着	R3	・派遣指導主事1名の配置による学校支援。 ・英検ジュニアチャレンジ会（3回） ・英語検定、英検jr検定費用助成。 【予算】 2,995 千円 【決算】 2,446 千円	A	・児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。 ・学び合い学習に伴う研修を3回実施する予定であったが、新型コロナ感染症拡大防止のため未実施となった。 ・英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数6名のうち3名は次のグレード（シルバー）の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。 ・次年度以降は、意欲ある子どもたちをさらに支援するために、幼児期から取り組める算数・数学検定や漢字検定を英語費用助成制度に加えることとし、支援を拡大する。
	R4	・「共に学び合う授業を目指して」校内研究会（学び合い研修」（3回） ・派遣指導主事1名の配置による学校支援 ・英検ジュニアチャレンジ会（3回） ・英語検定、算数・数学検定、漢字検定費用助成 ・算数・数学検定、漢字検定会場設置 ・英検jr検定費用助成 ・学力育成会議の設置・運営 【予算】 3,587 千円 【決算】 2,923 千円	B	・児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。 ・英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数15名のうち11名は次のグレード（シルバー）の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。 ・「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」21名、「漢字検定」39名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、学ぶ意欲のある町民に対して、事前学習や検定料助成を検討する必要がある。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② スポーツや文化活動(部活動)に取り組める環境の実現	R3	・スポーツ団体ヒアリングによる現状把握（一部） 2030島根国体に向けたジュニア育成事業（カヌー体験教室） ・川本中学校吹奏楽部との合同練習を実施（島根中央高校） 女子硬式野球部はオープンスクールとは別に近隣中学生向けに部活動体験会を実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・スポーツ団体の活動支援に向けてヒアリングを計画していたが、一部しか実施できなかった。次年度については、関係者へのアンケートを実施し、支援に向けて進めていく。 ・カヌー体験教室については、2回計画していたが、雨天のため1回は中止とした。町民プールを活用し開催した教室には沢山の子どもが参加し、引き続き育成に向けて事業を実施していく。 ・令和３年度の計画どおり中高生合同の練習会を実施。今後も中高生合同練習会の実施を継続し取り組む。
	R4	【教育】 ・KSCや川本町体育協会との連携 ・2030島根国体に向けたジュニア育成事業（カヌー体験教室） 【まち】 （島根中央高校） ・中国地区女子野球大会及び野球教室の運営を女子野球部がサポートし、高校生と中学生の交流機会を創出。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・KSC、川本町体育協会、学校を交え、「島根国体」、「部活動の地域移行」を含めて検討していく必要がある。 ・カヌー体験教室については、島根中央高等学校や美郷町と連携しながら、選手育成及び次世代の掘り起こしを含めて、継続的な取り組みにするよう検討する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番　号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（２）	保小中高が連携した教育の推進	４／６

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
③ 成長段階に応じた地域資源を活かした教育の推進	R3	・＜幼児＞K-POP（親子体験プログラム）の実施（全3回） ＜小学生＞かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名） ＜中高校生＞かわもとあそラボの取り組み支援 ＜その他＞川本町ふるさとカルタの作成（500セット） ・ふるさと学、探究学習で地域資源を用いた学習機会の場を実施。地域資源を活かした探究授業の発展に向け、授業プログラムの検討を継続 【予算】 3,899 千円 【決算】 3,638 千円	B	・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者通しで繋がり不安や疑問を解消する。 ・小学生を対象に、町内３カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や中高校生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。 ・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。 ・地域教材として、川本町の魅力（自然、文化・暮らし、歴史、観光）に関する事柄を集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見することができる。 ・令和３年度の計画どおり地域資源を用いた授業を実施。 ・小中高と学びの連続性や校種間のつながりを意識したプログラム構築に向けた取り組みが必要。
	R4	〈幼児〉K-POP（親子体験プログラム）の実施（全4回） 〈小学生〉かわもとサマーチャレンジウィークの実施 〈中高校生〉かわもとあそラボの取り組み支援 〈その他〉川本町ふるさとカルタの活用 〈学校〉ふるさと学、探求学習で地域資源を用いた授業を構成。その成果発表の場等活用を検討 【予算】 6,470 千円 【決算】 6,067 千円	B	・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者通しで繋がり不安や疑問を解消する機会を提供できた。また、新に計画したプログラムでは、新たな人材の出番を創出することができた。 ・小学生を対象に、町内４カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や大学生の方々と交流し、関係性づくりが図れた。 ・中高校生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。 ・川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動でも実施するなど普及活動に務めた。 ・ふるさと教育においても地域資源や人材を活用した授業が展開でき、今後は、成果発表等の活用の場の提供を検討することが必要とされる。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
④ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	R3	・小中学校長寿命化調査。・教育情報化推進計画策定、実施。 ・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（1回）。 【予算】 3,367 千円 【決算】 3,373 千円	B	・小中学校を今後10年間使用していくうえでの修繕内容について調査を実施し、調査結果に基づいて修繕を実施する。 ・学校でのICT活用を推進していくために、教育情報化推進計画を策定し、学校に対して説明を実施した。学校においては、取組レベル指標を基に、進捗状況を確認している。 ・学校施設の建て替えを含めた今後の学校のあり方を検討していくため、検討委員会を設置し、検討委員会を開催した。令和5年2月を目途に答申をまとめていく。
	R4	・川本町立学校改修事業 ・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（3回） ・教育情報化推進計画の推進 【予算】 41,250 千円 【決算】 41,250 千円	B	・学校改修事業は、物価の高騰により全項目の改修が完了しなかった。 ・学校施設の建て替えを含めた学校のあり方を検討するため、学校視察、地域公聴会を行い、検討委員会において審議を進め、令和5年5月を目途に答申をまとめる。 ・ICT機器の有効活用を図るため、教育委員会、学校担当者において、教育情報化推進計画の見直しに進め、活用促進を図っている。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（３）	キャリアプランニングの支援	５／６

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高校のカリキュラム編成	R3	・令和５年度入学生からの新たなカリキュラム編成及びコース再編に向け、コンソーシアム協働チームで内容を検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・コンソーシアム協働チームによるカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・令和５年度入学者からスタートする新たなカリキュラム及びコース実施に向け継続して取り組みを実施。
	R4	・令和５年度入学生からの新たなカリキュラム編成及びコース再編に向け、コンソーシアム協働チームで内容を検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・コンソーシアム協働チームによるカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・令和５年度入学者からスタートする新たなカリキュラム及びコース実施に向け継続して取り組みを実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 子どもの夢実現応援事業	R3	・夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業の実施 【予算】 1,219 千円 【決算】 1,179 千円	B	・令和3年度は既存の取組を継続。 ・令和4年度以降で対象の拡充や小中学生も交えた仕組みの検討などを進める。
	R4	・夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業の実施 自分計画書発表会9月・3月実施（8名） 定住助成金交付2件 【予算】 3,620 千円 【決算】 3,620 千円	B	・令和4年度は既存の取組を継続。 ・令和5年度以降で対象の拡充や小中学生も交えた仕組みの検討などを進める。（令和6年度開始を目指す）
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 奨学金プログラムの検討	R3	・かわもとあそラボの取り組み支援、地域活動参加証の発行（キャリアパスポート） 【予算】 2,231 千円 【決算】 2,231 千円	A	・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。 ・かわもとあそラボを通して、地域活動へボランティアスタッフとして参加した生徒に地域活動参加証であるキャリアパスポートを発行し、進学の際に活用してもらった。 ・今後、他の教育・定住関係事業や人材育成事業との連携、調整を図りながら、事業実施の可否等について検討する。
	R4	・かわもとあそラボの取り組み支援、地域活動参加証の発行（キャリアパスポート） 【予算】 5,450 千円 【決算】 5,450 千円	B	・中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。 ・かわもとあそラボを通して、地域活動へボランティアスタッフとして参加した生徒に地域活動参加証であるキャリアパスポートを発行し、進学の際に活用してもらった。 ・今後、他の教育・定住関係事業や人材育成事業との連携、調整を図りながら、事業実施の可否等について検討する。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０５	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	（４）	卒業も町と関わりを持ち続ける人材確保(関係人口)	６／６

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域との継続的な関わりづくりの推進【まちづくり】	R3	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」のＬＩＮＥ開設 ・各種SNS等での情報発信 ・県関係人口サイト「しまっち」の活用 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・かわもと暮らしによる公式ＬＩＮＥ登録促進や、SNSの活用による情報提供手段の確保を行った。 ・また、レールバイクイベントなどの関わり企画を県関係人口サイトに掲載。引き続き発信と関わりシロの提供を継続していく。
	R4	・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。 ・移住・定住・交流促進事業（（一財）地域活性化センター）を活用した大学生インターンシップモデル事業を実施 【予算】 6,220 千円 【決算】 5,970 千円	B	・高校生とのつながり創出モデル事業 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設　（登録者数：８７名） 県外でのイベントの実施（東京０名・広島１７名） 町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査 ・移住・定住・交流促進事業 2名の受け入れサポート＋R5年度1名の受入決定 PRのための動画作成
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

重点プロジェクト　施策評価シート

重点ＰＪ	プロジェクト名	記　載 ページ
０６	治水対策の推進	P112～P115

主担当課
地域整備課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
治水対策未実施地区数 （単位：地区）	目標値	3	3	3	3	2
	実績値	3	3			
	達成率	100.0%	100.0%	%	%	%
防災士の数（累計値） （単位：人）	目標値	4	6	8	9	10
	実績値	3	3			
	達成率	75.0%	50.0%	%	%	%
自主防災組織の訓練（研修）の 参加者数 （単位：人）	目標値	300	400	500	600	800
	実績値	302	403			
	達成率	100.7%	100.8%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評　価	【担当評価】
B	・治水対策については、工事着工前の用地取得、補償に入っており順調に進んでいる。 ・防災士、防災組織の訓練等については、概ね進んでいる。

評　価	【一次評価】（副町長、教育長、総務課長）
A	・谷地区、瀬尻・久料谷地区、谷戸地区の治水対策事業について、国・県と連携し早期完成に向け取り組むこと。 ・川本堤防の完成堤防化の早期事業化に向け、国・県への要望強化に取り組むこと。

【外部評価】
・社会福祉協議会のミニデイでは、防災研修を行っており、必要な防災備品の入手方法や入手場所等について関心を持っておられる方が多い。購入助成を検討してほしい。 ・情報伝達の仕組みづくりにデジタル技術を活用する等の工夫が必要である。

評　価	【最終評価】（町長）
A	・一次評価のとおりとする。

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０６	プロジェクト名	治水対策の推進	（１）	ハード対策	１／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 堤防整備の要望強化	R3	・国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・瀬尻・久料谷地区および谷地区における治水対策については事業化となったが、弓市地区における暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R4	・国、県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・瀬尻・久料谷地区、谷地区における治水対策については事業化、今後は弓市地区における川本暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 排水設備整備の要望強化	R3	・尾原地区へ緊急排水ポンプ１台の設置 【予算】 5,000 千円 【決算】 5,000 千円	A	・出水期前にポンプの購入及び設置を完了し、出水の際に稼働し、一定の成果はあった。しかし、降雨量に対し台数不足もあったため、拡充が必要である。
	R4	・尾原地区へ緊急排水ポンプ２台、因原地区へ緊急排水ポンプ１台、計３台の設置 【予算】 15,000 千円 【決算】 14,999 千円	B	・緊急排水ポンプの稼働がなかったため、台数が十分であるか検証ができていない。また、保管、管理場所の確保が必要。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０６	プロジェクト名	治水対策の推進	（２）	ソフト対策	２／３

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 情報伝達の仕組みづくり	R3	・情報伝達訓練の実施 ・避難訓練の実施 ・職員情報共有のためのエルガナの活用 【予算】 251 千円 【決算】 251 千円	B	・避難所職員との情報伝達及び他部署と連絡体制は迅速な対応ができていた。また、町民への伝達について、告知放送・防災無線・まげなＴＶなどを活用できた。まげなＴＶ等更なる活用方法の模索が必要。
	R4	・情報伝達訓練の実施 ・避難訓練の実施 ・職員情報共有のためのエルガナの活用 【予算】 251 千円 【決算】 251 千円	B	・情報伝達訓練及び避難訓練は計画通り実施。　・エルガナの更なる利活用について検討が必要
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② マイ・タイムラインの作成支援	R3	－ 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施に至らなかった。
	R4	・個別避難計画策定に併せ説明会の実施。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・実施に至らなかった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 防災教育の充実	R3	・小・中学校職員を対象とした講義を実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会を対象に防災に関する講習会を実施。また、保・小・中の職員を対象とした研修会を実施した。これらは住民からの希望により実施しており、意識の向上の表れと感じる。
	R4	・小学校への防災授業実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・小学校５年生を対象に防災授業を実施。授業のカリキュラムに併せ継続して実施が必要
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合

■重点プロジェクト　主な取り組み評価シート

重点ＰＪ番号	０６	プロジェクト名	治水対策の推進	（２）	ソフト対策

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 防災を自分事とするプロジェクトの実施	R3	ー 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・構想はあるが、実現に至らなかった。
	R4	ー 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・自主防災組織のリーダー育成につながる内容を検討しているが、実現に至らなかった。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合